

東京贈物化粧品商報

行發日曜日週毎	
料告廣	價一定
●●●●●	一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

レイト化粧品販賣店

各位の御盛運を祈り

併せて倍舊の御眷遇御引立

程伏して奉懇願候 敬白

大正二年一月元旦

元祖小町水本舗平尾替平商店

營業主 平尾替平

支店營業監督 平尾喜二郎

本店營業監督 平尾太郎

▼本店店員▲

鈴木 留吉
杉田 定之助
岩村 直次
山崎 光四
平島 綱四
鴻巣 光四
長谷川 正三
神谷 正三
片岡 正三
河野 正三
内田 正三
大橋 正三

▼支店店員▲

菊地 勇次郎
鈴木 七三郎
吉田 榮三郎
武井 紋次郎
諸石 國次郎
鈴木 精木
菊地 精木
鈴木 精木
菊地 精木

▼製造部▲

川田 宗一郎
高尾 一二郎
高尾 一二郎
高尾 一二郎
高尾 一二郎
高尾 一二郎
高尾 一二郎
高尾 一二郎

▼海外勤務▲

岩野 榮次郎
大野 正吉
大野 正吉
大野 正吉
大野 正吉
大野 正吉
大野 正吉
大野 正吉

本年の化粧品界を飾る洗粉

大正二年劈頭の産物



今回レイト各種化粧料の姉妹品として新製發賣仕候レイト洗粉は弊店製造部が多年の實驗と日進の學理を應用し始めて製出致し候ものに有之候へば品質の精良なる殊更茲に嘸々致さず候とも賢明なる御同業各位は直に弊店既製品に就き類推御判斷のことと存候何卒他のレイト化粧料と共に一層の御愛顧奉希上候
當分の内袋入一種を限り發賣仕候

レイト化粧料本舗

東京大阪 平尾替平

謹迎新年

昨年中は格別の御愛顧御引立に預り
難有厚御禮申上候尙本年も不相變御
引立の程偏に願上候 敬具
元旦

花天堂

田中吉共衛

東京市日本橋區馬喰町三丁目

電話 三三二番
浪花 三三三番
振替東京 三三四番

豫告と御注意

浮石鹼第三回大景品付發表は

次號紙上に

於て詳細發表仕候に付
御見落しなく御高覽御
注文被仰付度尙第二回
景品券に添付有之候拾
柄請求券は去月二十日
以後無効の規定に候へ
共更に有効とし第三回
と併用御引替可申に付
御請求相成度候

が堂天花中田

に頭初の年新

新記録 頗有利なる 四重!! (券拾拾 券拾拾) 景品に添付する

鹼石浮ソルネ

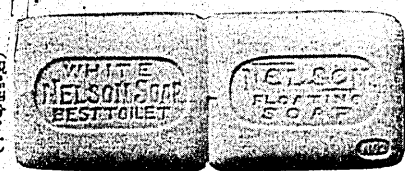
(入ッッ) の號三 (入ッッ) 號二



(二號中身)

品質の純良と云ひ 低廉の價格と云ひ

一點の非の打處なき



(二號中身)



(三號中身)

浮石鹼中の最優品なる

豊富なる大景品提供とは 賢明なる諸君よ!



(三號中身)

したり賜を命用御度一非是

大景品 入個拾四百柄壹



(現品三分一)

花天堂の 誠實なる方針 は既に知らるる如く斯かる 低廉にして良 石鹼の提供を 怠らず 幸ひに 御用命あれ

料送は向の用入御本見 れあ附送御錢拾券郵共

▲破格の低廉品質の優良は是非他製と比較を仰ぐ

▲必ず他に匹敵する品なき INUWA 浮石鹼

浮石鹼

優良の品質 廉なる價格と 湖に好評を博 しつゝある飽 くらまで品質を 本位とし石鹼 の効果を選感 最新理想の逸 品

小形發賣 御買打入 金八拾錢

は答解御

端書にて左記の處へ御發送下
期間は本月中
東京市日本橋區馬喰町三丁目十番地
東京小問物化粧品商報社宛



懸賞 繪さがし

元賣發 堂王花中田
地番六丁目三町喰馬區橋本日市京東
番四三三東替振 番二二三花浪路電



諒閣中に付新年の禮を缺き申候

舊年中は種々御厚情に預り誠に難有奉感謝
候尚ほ本年も相變らず倍舊の御愛顧を垂れ
給はん事を伏て奉願上候 謹白

登 録 東京市日本橋區橋町四丁目十一番地



商 標

東 京 市 日 本 橋 區 橋 町 四 丁 目 十 一 番 地
鈴 清 商 店

電 話 浪 花 二 三 八 四 番
振 替 東 京 二 八 九 四 番

優るもの

ありや?

ケーク

家庭用石鹼に

馥郁たる香氣

純良なる品質



經濟なる洗料

賣行よき石鹼

ケーク石鹼は一番より

二百番まで製造取揃申候

東京市日本橋區馬場町四丁目

金アーク香水輸入元
内外石鹼御商

龜阿龜王堂

電話浪花二三八四番
振替東京二八九四番

昨年中は

格別の御愛顧

御引立に

預り

難有御厚禮

申上候



尚ほ

本年は一層

勉強活動仕候に付

倍舊の御引立

御用命の程

奉願上候

ラ シー 純石鹼

内 外 石 鹼 化 粧 品 問 屋
山 田 篤 三 商 店

日 本 橋 區 橋 町 四 丁 目
電 話 浪 花 二 七 二 番

馬 首 ム ス ク
貴 公 子 石 鹼
高 價 ビ ア ス 化 粧 料
ラ ー シ ー 石 鹼
オ タ ル 石 鹼

會 我 ム ス ク 石 鹼
ロ ー ス 石 鹼
藍 の 肌 化 粧 料
銀 水 白
ミ ン ツ 石 鹼 粉

子賣くらへの
初めに冕す

昔、羅馬に一聖婦あり、コルネリヤといひ、質を以て稱せらる。其の夫早く死し、子二人あり、家敗れ、又よく道を知り、一日、富家の婦コルネリヤの家を訪ひ、一家として之に閉つて曰く、苦悶より多く奇貨を藏せり、夫人また必ず之をあらん、願はば一覽を許さば幸甚なりと、コルネリヤ答へず、願ひて訓蒙の事といふ、時にチベリウス、カユスの二兒、既に學んで歸るコルネリヤ二兒を指さし閉つて曰く、夫人善きに妾の質を問はる、妾の質は即ち是れなり、此の質は實に天下無双、其の輝く輝くに當りては、遠く四海の外を照し、東邦千百萬珠玉、亦恐らくは能はじと、後二兒果してその名を天下に播きにせりと、蓋し子孫の質たるは、其の血肉を分ち、其の事業を繼述し、二にして一にして二、以て家を興し、嗣を顯はし、一時の珍寶愛玩の其の限前に止まると運を異にするものあればなり、子賣の實き、天下また比すべき物あらんや。

新紙の上の花子賣

コルネリヤの故事、以て子賣の實たるを教へて餘蘊なく世の珍に趨り、奇を誇りて質を爲すものを戒むるに足れりと雖も、我が東京小間物化粧品商會が、大正二年の初頭に於て取て子賣くらを催し、同業者の愛護し教育する令息令嬢の質を蒐集したる所以のもの、亦實にコルネリヤの故事を本とし、同業界また此の珍寶に當るを誇らんとするの意に外ならざるなり、今その應募せられしものを見るに、長幼の二なるはあり、男女の體もあらざる



はあり、而も五人以上の子賣は、各其の光輝ある質を細く時あり、模刻らば、將に千萬里外を照破し、コルネリヤの二兒をして照若たらしむるものあらんとす、況んや一家五人以上なるに於てをや、世にたゞ一家二人の質たるに止まらんや、いはば子日く、律師の子澤山と正義勲、夜々として意をさるるも

之に報ゆるに子賣を以てするをいふなり、子賣の多きは、永遠の福利なり、時に益斯の章ある、また子孫繁榮、一家隆昌の吉事を祝願するの意なり、子賣に當るは、貸財に當るより富貴なり、況んや子賣に加ふるに貸財の富を以てする我が財に於てや、吾人子賣くら

質の持ち腐れたるのみならず、質としての質あるを見ざるなり、故に子賣の質たるは、子そのものみにあらずして、質たるべき子たるに於て始めて、子賣の誇るべきものあるなり、吾人は茲に蒐集したる子賣が、將來一家の質となり、業界の質となり、貴族の質となり、其の光輝を

業界の子賣を賣たらしむるに、必ず力を盡すあるを疑はず、是を以て子賣の質となりて、同業者がその質に當るを誇り、業界がその質を誇るの日は、決して遠きものあらざるを樂しむなり。

東京市日本橋區馬場一丁目六番地尾平養子の子賣
(氏平養) 君男四貴男四りより右列前
(子續八夫) 君六貴男六 君番貴男五
君二其男二 君郎三其男三 君輔之其男長りより右列後

廣告の力
「貴方は何をして生きていますか？」
「貴方は何をして生きていますか？」
「貴方は何をして生きていますか？」

入香麝粉白

製ごまた

新玉洗

商標 登錄

錢五錢 錢一葉

製堂盛玉井酒 甲研計粉膏馬

相變らず

御引立願上候

諒闇中に付

年賀缺禮仕候

謹賀新年

大野源七
 東京日本橋區本町三丁目
 電話一〇七二

大野源七
 東京日本橋區本町三丁目
 電話一〇七二

木綿漆糸
 本毛糸
 系組物
 其他糸物一式
 大野園三郎
 東京日本橋區本町三丁目
 電話一〇七二



諸金屬小間物
 專門卸商
 大野利助
 東京日本橋區本町三丁目
 電話一〇七二

和洋石鹼問屋
 并石鹼容器、眼鏡
 大野慶五郎
 東京日本橋區本町三丁目
 電話一〇七二

蒙々言

●年が改まつて、大正二年となつた。一年の終りに際して、憲政の危機を叫ばれるやうな不祥事が起つて、今年も老練も當年と歌ひ納められると、巨頭才徳公が憲政の美の政策と號して起ち、御用紙以外、閣族の走狗以外は、何れも唇を反して危機の念を懐いて居る間に、常ならは千里同風に御慶を申し納める新年となつて了つた。

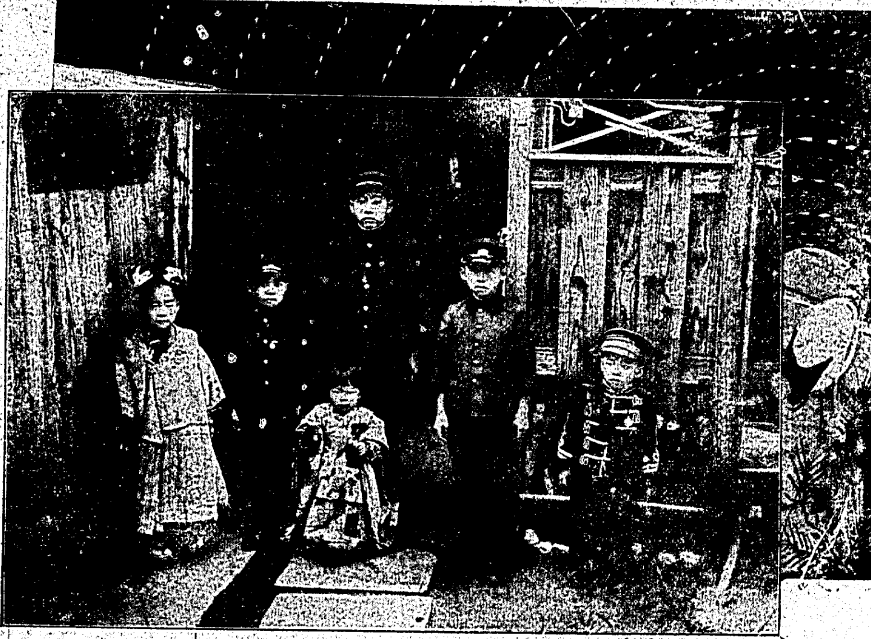
●春は来れども花さかずと歌はれた建武の昔ではないが、訪聞中の新年は、年賀の客もなく、宛然 國民は元老横暴の世事に憤激して居るやうに見え、何となく不豫の光景。去年の電車ストライキより、暗澹たる雲行に見え、若い者は生れて始めてといふ様子は實に、遺囑千萬であつて、大正の聖世下、何とも長れ多し話である。

●大正初年の掉尾ともいふべきものは、西園寺内閣の總辭職である。上は先帝陛下の御親任を受け、下は國民の輿論を荷つて、財政に、行政に整理を施して、國政の綱梅を調節しつゝあつたに拘はらず、俄然走狗の暴議演論に風波を起して、總辭職となつた事である。

●従来内閣の更迭は頻りに行はれたが、毎に風馬牛及ばずといふやうで、國民間には左まに影響を見なかつた。そして政變は對岸の火災にも當らなかつたのが、今次ばかりは一般に惜しまれ、元老や、官僚の關係を情願することが多くなつたことは、今までの事である。

●由來憲法政治には元老なるものがない、既んや官憲者様とやで

べらく寶子花の上紙年賀



ある、それが元老の差出口、官憲の奔走などいふ事が世上に傳へられるに至つては、憲政の危殆を憂へるものも尤も次第、憲法政治の擁護が唱へられるのも、無理のない話で、國民の呼號を見るに至るものも、處といはねばならぬ。

●元老は維新當時の功臣で、

の大業も、攘夷で幕府を強ひ、親王と名を換へた場合が、開港となつたので、西園寺に對してもまた同じ手段である。陸軍の擴張も出来ない相談を持ち出し、總辭職となつて了へば、増補延期となつて了ふ、何れが何やら、御用紙以外には、少とも理屈が立つて居ないのである。

新内閣と諸士

▲滋野男爵 財政に對する余の意見は、屢々宣明したるが如く人に依り何等の異なる處なし即ち昨年西園寺内閣を成し、將に選挙の編成に着手せんとするや余も財政の現状に對し安からざるものありたる爲め西侯に對して平

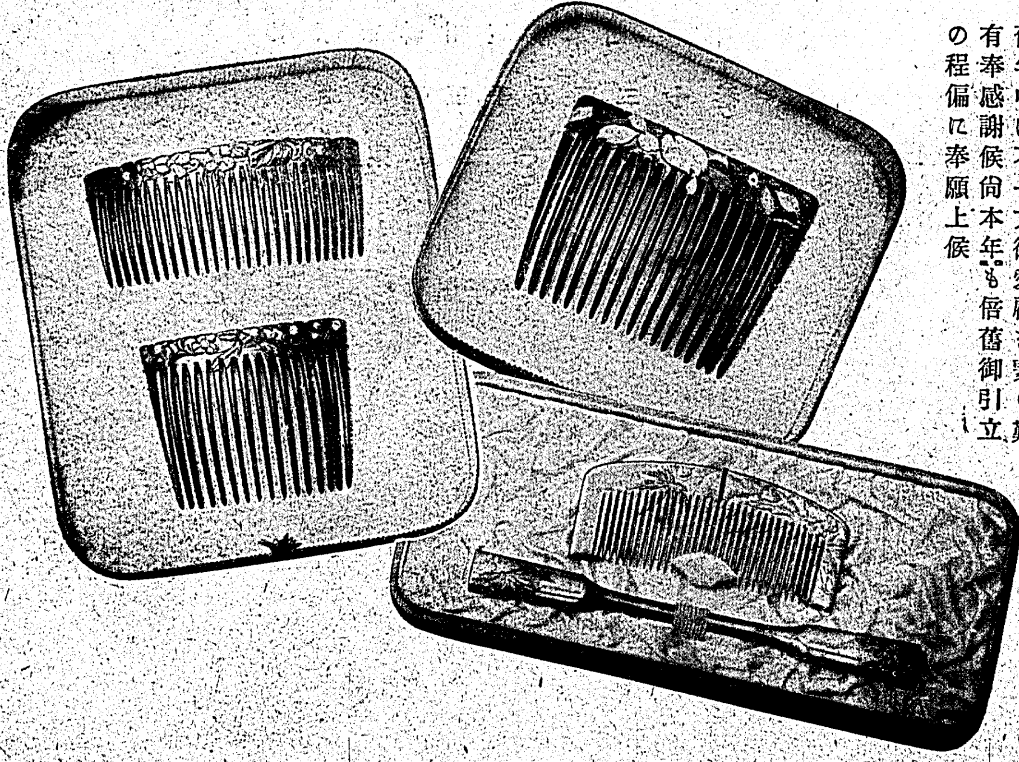
寶子の君七甚場的町工大南市島徳
子文 子ゲレ 君二號 君三三 君三二 君三一

▲中野武吉氏 我々は内閣を組織する人物の如何に關つて賛否を決する者に非ずして要するに政綱如何に依りて之を見るのみ桂公大命を拜し念内閣を組織せらるゝ、雖も其方針の未定の間は何とも評断はさうん唯吾々の希望を云へば今次の内閣に對しても西園寺内閣に對する同一の注文を發するの外なし、いかに關するのみ。

賣販造製物間小繪詩

謹
迎新年

舊年中は不一方御愛顧を蒙り難有奉感謝候向本年も倍舊御引立の程偏に奉願上候



今
千種稔商店

東京市淺草區向柳原町一丁目十七番地
電話下谷二八八五番

諒 閣 中 に 付
新 年 の 賀 辭 缺 禮 仕 候

相 變 ら ず

御 愛 顧

御 用 命



倍 舊 の

御 引 立

願 上 候

三景石鹸

クラブ石鹸

新 都 の 花 白 粉

内 外 石 鹼 化 粧 品 問 屋

松 井 號 支 店

東 京 市 神 田 區 橋 本 一 丁 目
電 話 花 三 千 五 百 二 十 番
振 替 東 京 二 〇 六 五 〇 番

丑の歳

生とし生けるもの、いづれか...

する産業を擁護し、外は外國製品と...

教へ、酒は在水、酔つては本性を...

元老の悪徳

新紙年の上花子寶



愛知縣一宮町光田大次郎君の子寶

サ、奇言

酒は百薬の長であり、百毒の長で...

の酒を飲むにはなるまい、毒命を...

合に成しては元老自ら降参して内閣...

帝都四大新聞

所載廣告行數比較

Table with columns for newspaper names (朝日, 報知, 時事, 國民) and months, showing circulation and ad counts.

日本電報通信社調査統計表

廣告の利く新聞には廣告依頼者が多い

Large advertisement for '改年の馬鹿度' (New Year's Foolishness) featuring a stylized illustration of a person and text including '東京日本橋區大門通' and '井屋 島田定七'.

國民新聞發行部の廣告部は天下の...

謹みて

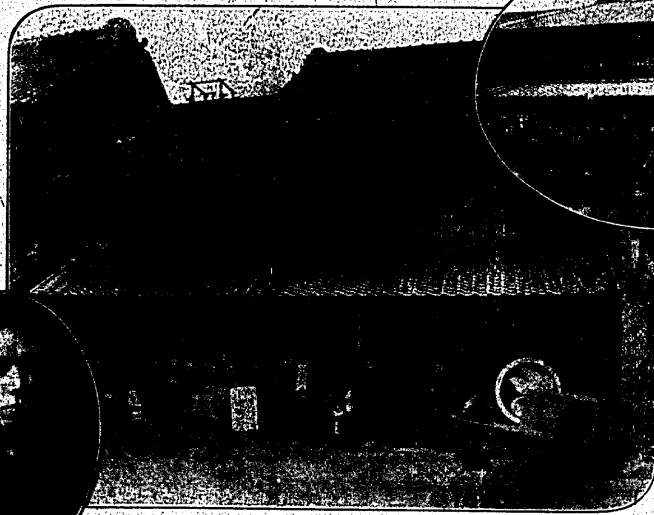
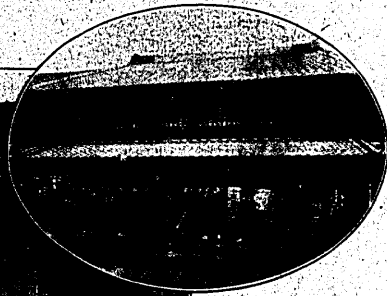
新年を迎へ

舊年の

御厚情を謝し

尙一層の

御愛顧を祈る



支店 電話 一九三六番
掛番 一〇六六四番

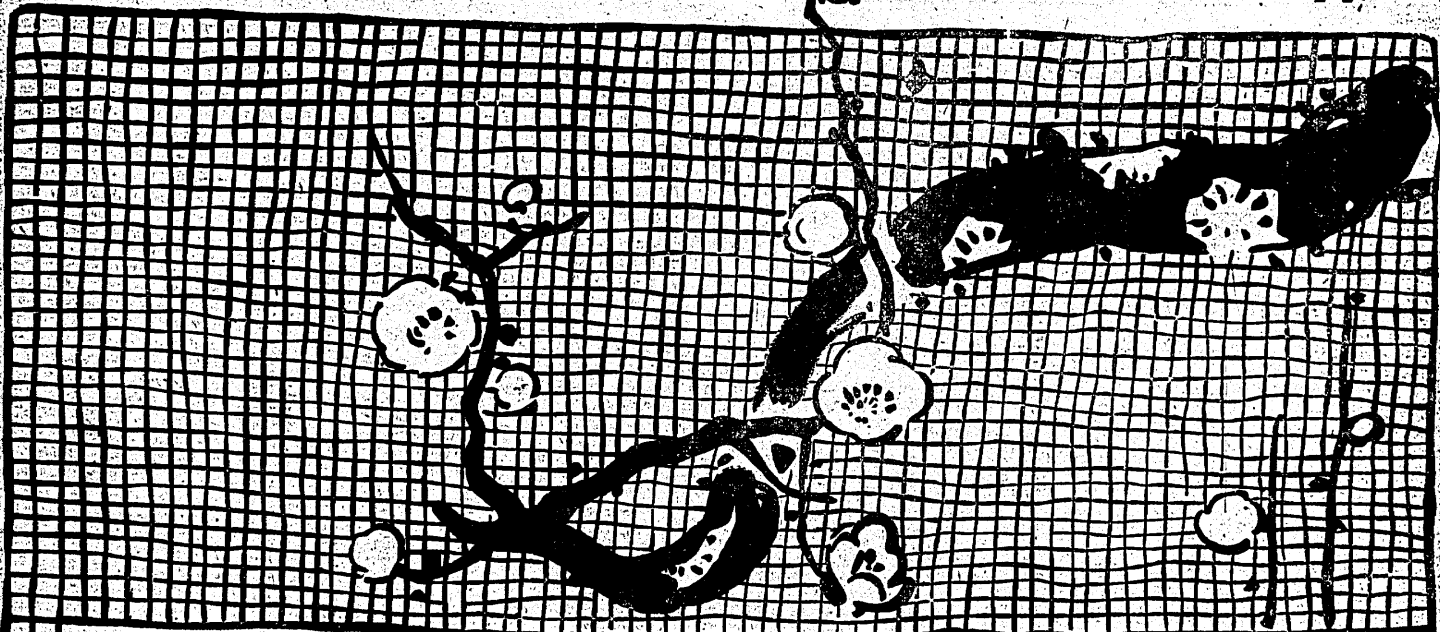
支店 人 室 三 郎

本店 電話 六十五番
掛番 一〇九六番



支店 鋪
東京 横山 町二丁目
森本支店

本店 鋪
名古屋 市 鐵砲町
森本本店



新ダイヤ 舶來石鹼 花造材料 銀モール 人絹紐類 各種

文房具類 雜貨問屋

須田新吉商店

東京 浅草 區 猿 屋 町 七
電 下 二 三 一 六 番

堤商店

東京 横山 町二丁目
掛 一 〇 九 七 八 番

支那貿易將來

支那貿易の優越
支那貿易の優越
支那貿易の優越

支那貿易の優越
支那貿易の優越
支那貿易の優越

支那貿易の優越
支那貿易の優越
支那貿易の優越



朝鮮京城本町四丁目河村辰三郎君の子女
朝鮮京城本町四丁目河村辰三郎君の子女
朝鮮京城本町四丁目河村辰三郎君の子女

鼻の形
鼻の形
鼻の形

支那貿易の優越
支那貿易の優越
支那貿易の優越

支那貿易の優越
支那貿易の優越
支那貿易の優越

支那貿易の優越
支那貿易の優越
支那貿易の優越

東光園本舗は
御同業者各位に
舊年中の
御引立を拜謝し
併せて
倍舊の
御後援を
祈る
Illustration of a woman holding a product box labeled 'Rose Toile Powder'.

喪中三付年賀缺禮仕候

東京市日本橋區通鹽町十二番地

萬小間物問屋

池田徳次郎



千代田香油

諒閣中に付年始
之禮を遠慮申上
候

客歲中は格別之御引立を蒙り難有奉謝候向本年も倍舊の御愛顧を賜はらん事を奉希上候 敬白

千代田香油 發賣元
スワン石鹼

東京市日本橋區馬喰町四ノ二
山岸三之助
電話花三三九三番
振替東京二〇五〇番

大阪市南區鹽町二ノ七
山岸出張所
電話南三九九四番
振替大阪一八四九〇番



ゴム梯問屋

僅倍の舊御引立新年を迎へる

東京市山一丁目 清水徳次郎商店

恭迎新年

御愛顧奉希上候

各種眼鏡類 卸
紙結類 卸
婦人小間物 商

尙本年モ不相變

飛川商店

東京市馬喰町三ノ三

謹迎大正二年新春

舊年中は格別の御愛顧御引立を蒙り御蔭を以て逐日隆盛に赴き候段奉感謝候就ては下記規定の通り景品附賣出仕候間何卒陸續御用命仰付被下度奉懇願候

五二三番石鹼大正二年第一回賣出

一發賣棚數

壹千棚

一壹棚之打數

大形 貳拾四打
小形 四拾八打
詰合 大形拾貳打
小形貳拾四打

壹棚景品

1	金貳拾圓也	貳本
2	金拾圓也	貳本
3	金五圓也	參本
4	金參圓也	拾本
5	金壹圓也	百本
6	郵便はがき參拾枚	八百八拾參本
合計	壹千本	一本もはづれなし

拾棚景品

1	金五拾圓也	貳本
2	金參拾圓也	貳本
3	金拾五圓也	五本
4	金五圓也	五本
5	金貳圓也	拾本
6	金壹圓也	七拾六本
合計	壹百本	一本もはづれなし

定規

但し景品送達を望むる方は景品券送附の際書留郵便金拾錢を切手にて御送附の事

一抽籤期日 大正二年六月上旬
一抽籤場所 日本橋區馬喰町東京小間物化粧品卸商同業組合事務所
一抽籤發表 大正二年六月下旬發行の東京小間物化粧品商報及石鹼商報發表
一景品引換期間 當籤發表の日より向式箇月以内とし期限後は一切無効とす

丸忠清水商店 製造 井村整興社
本舖 東京市本所區柳島梅森町
電話本所 五二二番
振替東京 三二二番

諒闇中に付年賀欵禮仕候

若	吳	菊	菊	ス	ス	ス	パ	パ
		の		ミ	ミ	ミ	ル	ル
松	竹	露	椿	レ	レ	レ	ル	ル
白	く	白	香	香	黒	香	ホ	煉
毛	せ	直			香		マ	香
染	し	粉	油	油	油	水	ー	油
							下	

東京市日本橋區横山町三丁目

發賣元

平尾銑也商店

電話浪花一一〇番
振替東京一一〇番

謹迎新年

本年は尙ほ一層の

御愛顧御用命の程願上候

内外化粧品問屋

柳下藤五郎商店

東京横山町三丁目

電話浪花二二〇番
振替東京八九九番



香料の今昔

●パオレットの、ローズだの、といつて、ハカカつた處で、別に新しい事でも何でも、佳香、新香といふ、爽快の感、人類の特性である。昔年の昔から使用されて居たといふ香料が、次第に進歩して、天然に人工を加へることが巧みになつて、今日今日の香水香、油などといふ立派なものになつたので、其の起原や古しといひつべきである。

●埃及の妙齡の婦女が、赤粉や白粉を顔に塗り、唇に赤粉、香油で頭髪を飾り出し、眉毛や睫毛に黒い繪の具を塗つて、眼に光を添へたと、いふ化粧術などは、古く、昔の事、埃及第一王妃の母公が、染毛術を行つたり、ヘナリウ、婦人が美顔術を施したなどは、人の知つて居ることである。化粧術の始めを成して居るのであるが、是よりも以前に、香の方は發達して居たのである。

●紀元五百六十五年、アテオカス王が敗北して、羅馬帝國の建設された後、時の政府が外國から香料を輸入する禁令を出したが、華奢を極めた國民は、盛に密輸入をしたといはれて居る。

●こんな古くから行はれたといふことは、現代の人は、現今の香に對するのと同じ感念から起つたのであらうかといふに、古今東西の人情自然は同じであつて、顔や體を美しく、器具を防がうとする所から盛になつた事は事實であるが、其の美しくならう、佳香を装はうとする念慮が、今のそれよりも單純であつたことは明かである。

べらく寶子花の上紙年新



寶子の君郎五條東地番九十町村田區芝市京東
君貞知男三君義雄男二子静女長子三右列後 君正恒男四子枝家女三子操女五子代千女四子枝女二子三右列前

身の方法として、動植物から香油を搾り出して、これを塗つて神に仕へ、その事、聖書にも見えて居る。埃及人が身體を木乃伊にするのに、いろいろの香料を用ひたといふ事が傳へられて居る位であつて、神に仕へる爲めに用ひた香料は、遂に其の快感を忘れる事が出来ない爲めに、これが香料愛好の源となつて

明するに至つたのである。それが進み進む間に、歐洲南部の諸國は國民の移住は激しく、異國の侵略に備へねばならぬといふ状態から、香や化粧などの穿鑿に暇のない處から、一時は衰へたやうになつたものの、戦終つて、國民が安堵をする、今までの反動は、忽ち華美の風を興して、ラセスの著書

●希臘の拳闘士が競技の前に香油を身體に塗つたことや、アゼンスの士女などが香油を身體に種痘したと、や、家庭で香料を用ひないと、夫婦が別居したといふ程であつて、デウスコクデスが香油を製造するに必要動物の油脂を製造する方法を著

●香料の調合術をへ載するに至つたのである。それから十六世紀に至ると、當時歐洲藝術の中心として知られたイタリアに、貴婦人の化粧術と、いふ著書が羅馬に出来、首を清める爲めに首飾粉を使用するに至り、イタリヤのガリ、マダラ、ト

●貴婦人は、香料化粧術を佛國に傳へ、佛國に隆盛を極めたことはお話しならぬ程であつた。それが佛國皇室などでは、日々種々の異つた香化粧をする風になり、自然香料の調合術も進歩して來たのであるから、モントペリユー香水製造の中心であつたものが、佛國に佛國ばかりでなく、世間香水の中心となつて、毎年五千萬フランの輸出をして居る。

●英國では香料の製造は微々たるものであつたが、エリザベス女皇が位に即かれてから、香料に對する趣味が深く、嗅官が非常に發達して居られた爲めに、自然の中や貴婦人間に香料化粧の術が流行して、今日の如き盛況を見るに至つたので、別に新しいの、ハイカラといふばかりでなく、香料化粧といふものは、實に人類天賦の特性から起つたもので、その根原は深く且つ遠いことを忘れてはならぬ。

●以上は單に西洋に於ける話であるが、東洋諸國に於ける香料の感念も、決して之に劣つて居なかつたことは、禮記その他の諸書を見ても推知することが出来るのである。

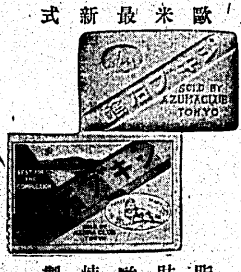
郵便局税金

●小切手と現金との併用
郵便局にて税金取扱方開始以來既に東京外十數市に於て之を實施し納税上多大の利便となれる所なるが尙郵政局にては市の希望に依り小切手又は郵便爲替書、郵便取立金取立書、通知書、振替書、金封書、中央金庫の什物等金封書に依る納入をも受入る。

敢テ斯業界各位ニ告ケ

●日本帝國石鹼界ノ名譽
●東洋未曾有ノ脂肪酸煉石鹼
●專門博士各大家ノ大賞讚

在來の日本製石鹼は不熟製造の粗悪品多く爲め衛生化粧の上に將九輸出入の上の頗る國家の損益に關すること大なるを以て其が改良提勵の目的にて昨年農商務省は獨逸より最新式の脂肪分解機及附屬機械一式を買上げ熟練誠なるライオン石鹼工場を選定して之を貸與し爾來幾多の研究を重ねて製出せしもの即ち此シキブ石鹼なり蓋し石鹼に於て脂肪酸煉製は東洋未曾有の事に屬して完全無缺なる純良石鹼たる敢て多言の要なし乞ふ御愛用の光榮を賜はらんことを



シキブ石鹼

東俱樂部

發賣元 東京
電話 本局三二八番 本局一八八番 浪花四四四番
芝 二九八番 芝 五九四番 新橋一九七番
馬喰町三ノ六番 田中花王堂 東京小間物化粧品
東京日本橋區電話二二〇番 柳下 商店 大 卸商同業組合各店
東京三ノ三番 電話二二〇番 柳下 商店 大 卸商同業組合各店
東京日本橋區電話二二〇番 柳下 商店 大 卸商同業組合各店
東京三ノ三番 電話二二〇番 柳下 商店 大 卸商同業組合各店
東京日本橋區電話二二〇番 柳下 商店 大 卸商同業組合各店

諒閣中新年之賀詞御遠慮申上候

昨年中は格別の御厚情を賜り難有奉深謝候
尙本年も彌増御愛顧之程奉懇願候 謹言
各化粧品製造舖
伊勢吉本店
寶香齒磨本舖
齋藤吉次郎
東京東兩國橋町
電話本所三九八番

大正二年一月

恭迎新年



三河屋勇三郎
千歳元結本舖
電話二五五〇番
電信略號(255)

謹迎新年

護謨櫛笄簪製
造販賣婦人小
間物各種卸商

昨年中は特別御愛顧御引立を蒙り難有深
奉謝候は本年も不相變御引立を願上候

水野彌吉商店

電話花子三六八七番
東京市日本橋區橫山町一丁目八番地

謹迎新年

萬小間物問屋
謹三味絲屬附一品式

恭迎新年
雛人形玩具商

東京市淺草茅町二丁目

池田屋利兵衛

電話下谷六百八十六番
振替口座五百拾貳番

新方女

謹迎新年



化粧品問屋 汐見商店

靴革具類 卸商

日本橋區橋本四ノ八
住庄商店

電話三三九三番 東京東區橋本一三九番

謹迎

昨年中の御引立を深く拜謝し尚
御引立を願ふ

室内電話及電氣呼
鈴附品各種懐中
電燈探見電燈

日本橋區橋本三丁目
石渡金物店
電話浪花三八六九番



前川忠兵衛

電話一四一六番
振替一三五九六番

東京市日本橋區橫山町一丁目

鹿ノ子
紋ノ柄
手ノ柄

卸商

三浦萬次郎支店

三浦萬次郎仕入店



東家澤井商店

●木櫛の話

●黄楊の櫛はだてには挿さぬと誇つたのも、蒲酒で挿すに價値があるのも、築枯盛衰は何物にも免かれない数ではあるが、木櫛の現状を見て、その昔を振り返り見ると、なかく面白い味がある。

●この木櫛の産地は、こゝに穿鑿の必要もないが、二百年あまりも前に用ひられたものは、今のから見ると、野暮に大きいもので、七八寸位あつて木地には紫檀だの、黒檀だの、柞だの、縞黒檀だのを用ひたものである。

●形は大體に於て、今の荒櫛や中櫛のやうなものであつたが、身分に應じ、年頃に從つて、相當な差異はあつたもの、七八寸の大物が主として喜ばれたものである。

●それに今のそれとは違ひ普通いづれの櫛も、その櫛に山水の風景だの、歌舞伎様といつたやうな、梶原の鹿の梅などを彫つたものであるとか、總て肉彫にしたもので、花紙には蝶貝を嵌め入れたものも間々あつたといふ風で、其の櫛のそれとは、大分違つたものであつた。

●けれど大名や旗本の武家の婦人になると、黄楊の櫛を絶對に用ひなかつたもので、黄楊は鳥生の木で作るものであるから、流人のやうに不吉なものである、それを婦人の頭に頂くのは、好まぬ事ではなからいふ理由から、木櫛の流行はあつても、黄楊の櫛は武家に用ひられなかつたのである。

●黄楊が現今になつては、そんな理由は時代後れとなつて、櫛を語る櫛ともなり、髪上ともなり、いろいろの形もあれば、用途もあるといふやうになつて、一方には金銀、貝の飾められた華美の櫛が流行する向ふに、木櫛の蒲酒なものが好まれるといふ風で、木地も黄楊であつてこそ、木櫛の粹といふものであるとまことに認められて来た。

●そこで黄楊は伊豆産を本場として、従来には黄色い色附をしたものであるが、今では黄楊の生地そのまふやうになつて、一方には金銀、貝の飾められた華美の櫛が流行する向ふに、木櫛の蒲酒なものが好まれるといふ風で、木地も黄楊であつてこそ、木櫛の粹といふものであるとまことに認められて来た。

●けれど、毛筋を挿す櫛として、従来には黄色い色附をしたものであるが、今では黄楊の生地そのまふやうになつて、一方には金銀、貝の飾められた華美の櫛が流行する向ふに、木櫛の蒲酒なものが好まれるといふ風で、木地も黄楊であつてこそ、木櫛の粹といふものであるとまことに認められて来た。

●けれど、毛筋を挿す櫛として、従来には黄色い色附をしたものであるが、今では黄楊の生地そのまふやうになつて、一方には金銀、貝の飾められた華美の櫛が流行する向ふに、木櫛の蒲酒なものが好まれるといふ風で、木地も黄楊であつてこそ、木櫛の粹といふものであるとまことに認められて来た。

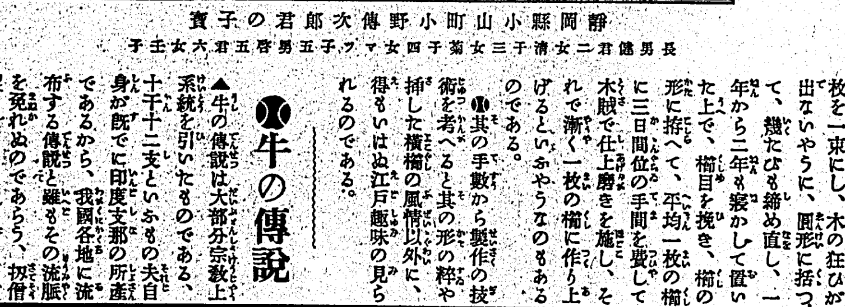
●けれど、毛筋を挿す櫛として、従来には黄色い色附をしたものであるが、今では黄楊の生地そのまふやうになつて、一方には金銀、貝の飾められた華美の櫛が流行する向ふに、木櫛の蒲酒なものが好まれるといふ風で、木地も黄楊であつてこそ、木櫛の粹といふものであるとまことに認められて来た。



●けれど、毛筋を挿す櫛として、従来には黄色い色附をしたものであるが、今では黄楊の生地そのまふやうになつて、一方には金銀、貝の飾められた華美の櫛が流行する向ふに、木櫛の蒲酒なものが好まれるといふ風で、木地も黄楊であつてこそ、木櫛の粹といふものであるとまことに認められて来た。

●けれど、毛筋を挿す櫛として、従来には黄色い色附をしたものであるが、今では黄楊の生地そのまふやうになつて、一方には金銀、貝の飾められた華美の櫛が流行する向ふに、木櫛の蒲酒なものが好まれるといふ風で、木地も黄楊であつてこそ、木櫛の粹といふものであるとまことに認められて来た。

へらく寶子花の上紙年新



寶子の君郎次傳野小町山小縣岡靜
子主女六君五啓男五子ヲ女四子菊女三子清女二君總男長

●牛の傳説は大部分宗教上の系統を引いたものである、十十二支といふもの夫自身が既に印度支那の所産であるから、我國各地に流布する傳説と雖もその流脈を免れぬのであらう、初僧侶が死ぬると牛と爲ると云ふ傳説は支那にも我國にも澤山ある梁の武帝の時石城と云處で入定の僧を齎した事がある、齎して見ると僧は目を瞑て土中にあつたが忽として眼を睜き「ノコ」と土中から匍ひ出したと見る間に二頭の牛と化つて那處へか逃げ去つて了つたといふことが書物に見えて居るやうな類である。

●牛の傳説

謹 迎 新 年



特約店は市内小間物化粧品問屋各店

相變らず御注文の程切に願上候

會 商 陽 東 京 東

謹 迎 新 年

謹みて年來の御厚情を拜謝し各位の御清福を祝すると共に尙將來一層の御眷顧御引立の程奉懇願候敬白

東京市日本橋區馬喰町壹丁目

美術時繪 卸 商 木村悦三郎
電浪花五三〇八番

謹迎新

昨年中は格別
の御愛顧
を蒙り難有
奉謝候

婦人頭飾品
甲小間物
東馬喰
後藤源治郎
東京馬喰町二丁目

電話浪花四六一番 振替貯金口座五九六番

尚本年も不
相變倍舊御
引立の程伏
して奉願上
候

●花の贈り方

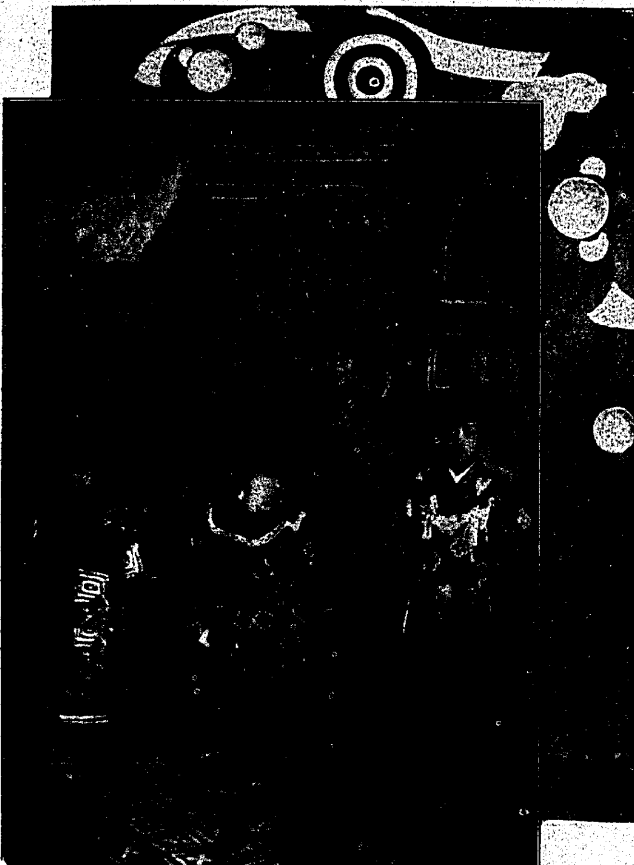
西暦に於て来たので、物の贈答を致すに際して、ハイカットの花を贈りたが、華美に風雅に、花を贈つたり、取つたりする事が流行るやうになつて来ました。

●花の贈り方には、大形の花籠や、大形の花環でも、木札や大きな紙札などを付けることはないので、かといひますと、旅をする人に贈りますには、籠花が花束で、何れも新鮮な物ばかりで、祝ふといふ意を籠めてあるのですが、それを日本とは、造花を盛つた花籠などを贈る人もありますが、西洋の意味には合はぬ事であり、又鉢植のものも贈ることもあり、そのと

●花の贈り方には、大形の花籠や、大形の花環でも、木札や大きな紙札などを付けることはないので、かといひますと、旅をする人に贈りますには、籠花が花束で、何れも新鮮な物ばかりで、祝ふといふ意を籠めてあるのですが、それを日本とは、造花を盛つた花籠などを贈る人もありますが、西洋の意味には合はぬ事であり、又鉢植のものも贈ることもあり、そのと

●丑歳に因だ玩具

●丑歳に因だ玩具
●丑歳に因だ玩具
●丑歳に因だ玩具



山形東馬喰町小郡松左衛門安太郎の寶子
右より長女、千代、次女、三男、三男、長男、二女、二女

●花の贈り方には、大形の花籠や、大形の花環でも、木札や大きな紙札などを付けることはないので、かといひますと、旅をする人に贈りますには、籠花が花束で、何れも新鮮な物ばかりで、祝ふといふ意を籠めてあるのですが、それを日本とは、造花を盛つた花籠などを贈る人もありますが、西洋の意味には合はぬ事であり、又鉢植のものも贈ることもあり、そのと

敷島スルクス發賣十週年紀念品附發御披露

發賣相數及方法

一敷島スルクス石鹼 五百相

但し壹相の打數は左の通り

大形は 二十四打入

小形は 四十八打入

大形詰合は 大形十二打入

小形詰合は 小形二十四打入

○景品

大形 半打に對し郵便葉書壹枚

小形 壹打に對し同 壹枚

即ち壹相に對し同 四十八枚

右の外壹相毎に 景品引換抽籤番號券貳枚

右抽籤番號券は抽籤の結果により左の景品を贈呈可仕候

第一等 金拾圓券商品切手壹枚宛 五〇口

第二等 金七圓券 同 拾口

第三等 金五圓券 同 拾口

第四等 金三圓券 同 拾口

第五等 金一圓券 同 拾口

第六等 金三圓券 同 九百口

抽籤期日 大正二年五月二十五日

抽籤場所 東京市日本橋區馬喰町

當籤發表 大正二年六月一日發行

景品引換期限 大正二年六月一日

發賣期日 大正元年十二月十日

東京市京橋區新富町七丁目六番地
相馬帝國社

電話東京八九七番
振替口座東京三三六番

つげ櫛すき櫛
木櫛筋立塗櫛
各種製造卸商櫛
大阪東區南入道寺町三丁目
かみなめや 要彌三郎
電話大原千二百三十三番

恭迎新年
東京市日本橋區横山町貳丁目
美濃屋號

恭迎新年
扇紙 大西奈良吉
電話浪花三千二百七十七番

恭迎新年
芝原
きんぎょ
電話五五

此各種化粧品は皆々様の御引立に近き方々に名産品
相成り有仕合に事々御引立に近き方々に名産品
相成り有仕合に事々御引立に近き方々に名産品
相成り有仕合に事々御引立に近き方々に名産品
相成り有仕合に事々御引立に近き方々に名産品
相成り有仕合に事々御引立に近き方々に名産品

謹迎新年
日本エス石鹸賣元
アムボ下石鹸特約店

田中定七商店
東京市日本橋區
福町四丁目十二番地



カルネギー氏の傳言
(承前)

神學博士 井深槐之助君
第二十二回啓成會に於て
所が茲に二大變事なことが出来
た、其機械を持つて居る所の人
段事業が伸びて来る、從つて書
要るやうになつて来て、カルネ
氏を大變可愛がつて呉れてお前
になれと言つた、此人は十二歳
きから斯ういふ
ことをして居つ
たが、字をばつ
きりと書くこと
が出来た、それ
と日本で言へば
加減乗除位の
ことは覚えて居
つたので、前
字は鉛筆に書け
る、算盤も出来
るから書記にし
てやらうといふ
ので、十二歳
の書記と言へば
怪しいものであ
るけれど、之
を自分の事務所
に置いて書記を
手傳ひさせるこ
とになつたので
あります、それ
で又カルネギーといふ人が自分の考
を述べて居るのですが、世の中には
金持といふこと程宜いことにはな
り、貧乏といふこと程恐いことには
なり、考へて居る人があるけれど
是は大變間違ひだ、自分は金持だ
は程不幸なものはないと思ふ、我々
の考から見て、金持の子供程不
仕合な者はない、金持の子供程幸
々な者はない、子供の中から御覽
みると、召使も多し、使つて居る
に、召使も多し、使つて居るに、
召使も多し、使つて居るに、



新紙の上の花子寶へら
島縣山都町岡崎川芳子君の寶子
右列前ニ女子四人ヲ女子三人ヲ
左列後ニ男子三人ヲ男子二人ヲ
列後ニ女子一人ヲ男子一人ヲ

である、ピツポルケの町を充分に
知らぬ、其處に持つて往つて配
をしなければならぬけれど、町を
らぬ、それを一生懸命夜寝が時
ても寶子に記して仕舞つた、例へ
給を致しやうになつた、即ち一年
に三百冊の月給を取る、大した月
になつたといふ言つて居る、さう
でせう、一週間に一冊二千仙の賃
を買つた時から見れば大した立
身でありませう、それから段々と立
身して色々のことに好機會が向つ
て来てそれを利用して往つて、遂に自
分が或人の勤めに依
つて運輸會社のアマ
ムエクスプレスコン
グレートといふ、亞米
利加之右の
運輸會社で
すが其運輸
會社の株主
となつて五
百冊程の金
を才助しま
して或人の
勤めに依つ
て之を買ひ
それから後
に段々と進
んで往つて
今度には亞米利加之
て初めて電車とい
ふものを發明された
時分に夫に關係をし
て又其株主になつた
大變に金が儲つて来た、又さうして
居る中に初めには米利加之鐵道
造つたものである、所が木ではい
ぬといふので鐵道を造り始めた、そ
れに直ぐ自分も進入つて、峠度今に
木の橋は駄目になつて仕舞つて鐵
になるに違ひないといふもので、鐵
橋製造會社を起した、それが非常に
又儲かつたので鐵橋をやつて居る中
に今度は鐵ではいかぬ、鋼鐵でな
ればいかぬといふので、そこで鐵
會社を起した(未完)

いふ中で本當の親の情或は人情とい
ふものが其處で初めて現はる、もの
だといふことを申して居ります、そ
れから又其のことを申しますが、さ
うして居る中に又一つ運が向いて來
た、今度はどういふことになつて來
たかといふと、ピツポルケといふ
所に住きました、其ピツポルケの
町に電信局があります、其電信局の
配達の小僧になつた、仕事は餘程楽
になつた、蒸氣の釜を焚いたり、掃
除するより餘程楽になつて大變喜
居る、さういふ人が、幸のやうに思
ふけれど、カルネギー氏はさうい
ふ中で本當の親の情或は人情とい
ふものが其處で初めて現はる、もの
だといふことを申して居ります、そ
れから又其のことを申しますが、さ
うして居る中に又一つ運が向いて來
た、今度はどういふことになつて來
たかといふと、ピツポルケといふ
所に住きました、其ピツポルケの
町に電信局があります、其電信局の
配達の小僧になつた、仕事は餘程楽
になつた、蒸氣の釜を焚いたり、掃
除するより餘程楽になつて大變喜
居る、さういふ人が、幸のやうに思
ふけれど、カルネギー氏はさうい
ふ中で本當の親の情或は人情とい
ふものが其處で初めて現はる、もの
だといふことを申して居ります、そ
れから又其のことを申しますが、さ
うして居る中に又一つ運が向いて來
た、今度はどういふことになつて來
たかといふと、ピツポルケといふ
所に住きました、其ピツポルケの
町に電信局があります、其電信局の
配達の小僧になつた、仕事は餘程楽
になつた、蒸氣の釜を焚いたり、掃
除するより餘程楽になつて大變喜
居る、さういふ人が、幸のやうに思
ふけれど、カルネギー氏はさうい

謹迎新年
前年不仕合御引立の程備に願上候
信 鈴 木 國 藏
東京市日本橋區馬喰町一丁目拾四番地
電話浪花三五八四番
振替東京三三八八番

謹迎新年
一月元旦
芳香藥品貿易商 堀池徳兵衛
東京市日本橋區本町四丁目六番地

謹迎新年
イークラス化粧石鹼
品質確實 價格低廉
右本品ノ特長ニ有之驗ヨリ將據多
年市場ニ非常ノ信用ヲ博シ需要ノ第
一ナル點ニ於テハ常ニ舶來石鹼中
一位ヲ占メ居候ニテモ明白ニ御座候
按ニ掲ゲル品ノ外種類十數口有之候
和洋小間物屋方へ大販賣委託有之候
間御取引ノ店へ向テ御注文奉希上候
イークラス化粧代理店
東京市日本橋區銀座三丁目
合資社 辻屋商店
電話新橋百五十五番
電話新橋百五十五番

謹迎新年
舊年中は格別の御愛顧御引立を蒙り難有紙上を
以て厚く御禮申上候
日本橋區通 町
内外石鹼化粧品問屋
清見商店
向本年は一層勉強任候間倍舊御用命の程願上
候

謹 迎 新 春
万新商店曲形部
 東 京 市 馬 喰 町 三
 電 話 東 京 三 五 七 三
 電 話 花 浪 二 八 五 五

- 大 正 紀 念 形
- 大 正 じ ま ん 形
- 若 竹 形
- 小 萩 形
- 菊 重 形

右之外
 高尙なる奥様向
 粹なる花柳向
 堅牢なる實用向

等御指定御注文に
 依り御送可申候



見本御入用の向は
 金五拾錢
 御送附被下候へ以上五
 種類取御送附申可候

東京流行!
 代表的曲形
 新らしき
 曲形の
 御ひろめ

Ladies, Fancy Goods
MANSHIN SHOTEN
 No. 12-3 chome
 Bakuro-cho. Nihon-Bashi. ku
 Tokyo, Japan.

謹 迎 新 春
万新商店
 美 術 小 問 物 問 屋
 東 京 市 馬 喰 町 三
 電 話 東 京 三 五 七 三
 電 話 花 浪 二 八 五 五

努力の花は
 如何なる實を結ぶ?
日く満天下の御愛顧!!!

- し ま ら あ の 品 業 營
- 毒 給 櫛 筭
 - 貴 金 屬 製 品
 - 東 髮 頭 飾 品
 - 實 石 入 指 輪
 - ゴ ム く し る ゐ
 - 洋 銀 製 簪 差
 - 髮 掛 用 品
 - 流 行 花 簪 差
 - か の こ り ボ ン
 - 鏡 類 一 式
 - 流 行 の 盃 形
 - ハ ガ ネ 田 保 止

流行界の花は
 春を迎へて開く
万新の店頭に!!!

努力の義

万新商店の本領
 新春に際し更に一層の
 努力を以て
 製造品の改良
 仕入品の精選
 獨創品の考案
 流行品の先驅
 等百事努力主義を以て
 御用命相待申居候

通信販賣部
 代金引替御注文は特に御便宜相計可
 申候但し此際御注文御見税金額の
 約二割前金御送付被下度候

万新商店

謹 迎 新 春

セルロイド生地各種

網干日本セルロイド株式会社
堺セルロイド株式会社

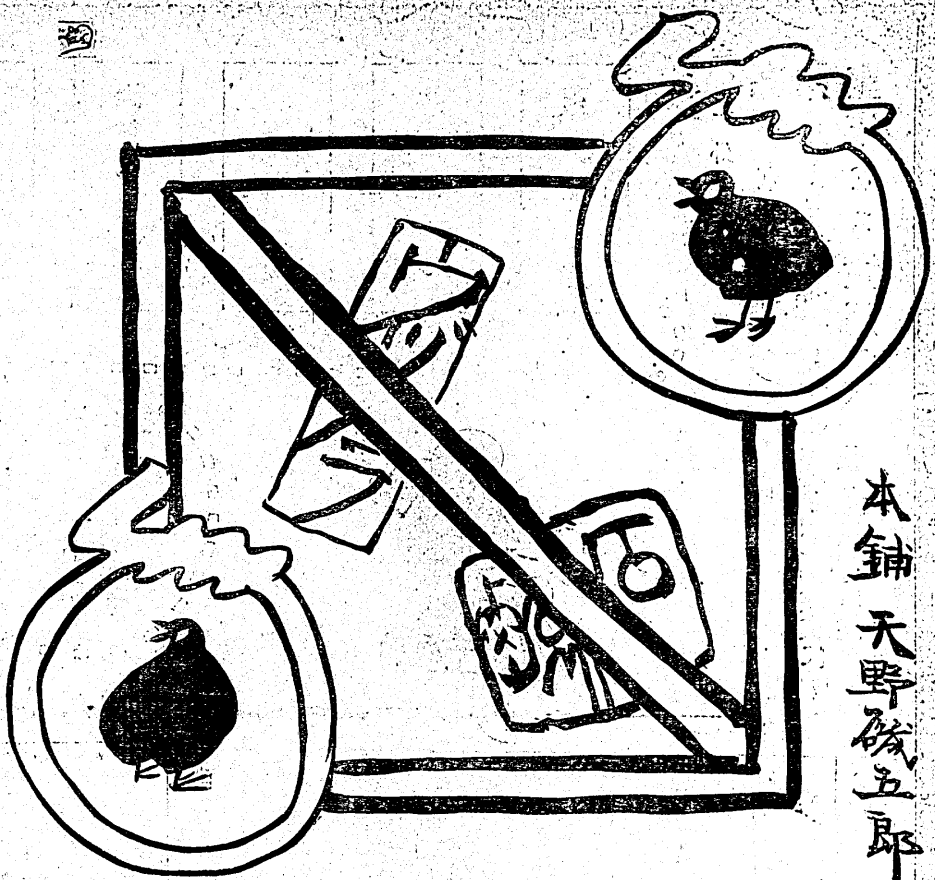
關東特約販賣店

寺本商店

日本橋區濱町三丁目十四番地

電話浪花三三八七四

振替口座二二〇一三



本鋪 天野敏五郎



謹 迎 新 年

舊年中は格別の御愛顧御引立を蒙り御蔭を以て逐日隆業に赴き候段難有御禮申上候尚本年も不相變御厚情の程奉懇願候 敬白



美 術

造 花

各博覽會展覽會
名譽協贊賞銀牌褒狀等受領
尚今回姫路共進會に於て銀牌受領



高 等 ヘアパッド

關西特約店
大阪南久寶寺町四丁目 西岡本店
名古屋 矢場町 西岡支店
神戸市元町通四丁目 鶴田屋商店

市内特約店

日本橋區横山町一丁目 近源商店
日本橋區馬喰町三丁目 萬新商店
電話八六三番
電話二八五番

元祖歐米風美術寫生造花製造卸

東京市淺草區三好町(橋橋横)

萬 家 號

田中勤之介商店

同毛髮製作用部

電話下谷三一八番振警東京九六五番

東京新聞の歯品商報

謹んで新年を迎へ奉り候

舊年は一方ならぬ御引立を蒙り感謝罷在候隨て熱誠貴意に酬ひたく期し居り候得ば本年も不相變御最負の程奉冀候尚ほ諒闇中に屬し候間敬虔の精神を以て拜趨の禮御遠慮申上度右御挨拶迄如斯に御座候

稽首

大正貳年一月元旦

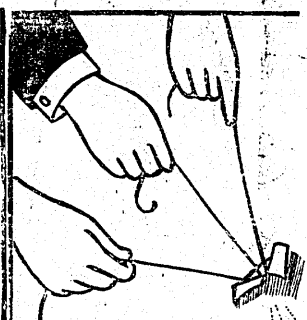
ライオン歯磨本舗 小林富次郎

支鋪 大坂市東區博愛町三丁目
名古屋市西區傳馬町四丁目
清國天津、漢口、上海

ライオン歯磨

新年のお慰み

若し福引に之が中つたら
「健康」と「幸福」を
引き當てたとして



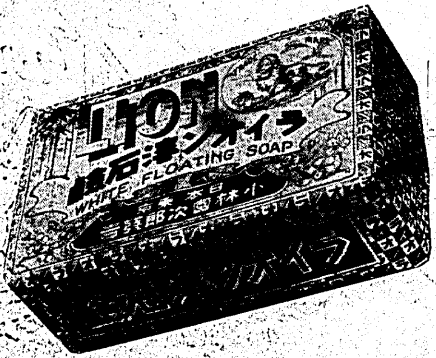
眞珠は眞珠のやうな歯を出して、玉のやうなお子様達と御一所に屹度お喜び遊ばすに違ひありません。

發賣元 東京大坂 小林富次郎

ライオン浮石鹼

が出来ました

- 一 眞つ白い氣持の快
- 一 堅くて然かも肩觸りの軟かい
- 一 化粧石鹼でういます
- 一 さつぱりとした佳い香のする
- 一 浴場用石鹼でういます
- 一 少して泡立がよく垢が落ちて
- 一 減りの少ない石鹼でういます
- 一 ひ弱い御婦人子供衆の肌でも決して荒れない石鹼でういます



ライオン浮石鹼 本舗 東京 小林富次郎
支鋪 大坂名古屋天津漢口上海



發賣本鋪東京淺井支店

諒闇中に付年賀缺禮仕候

小間物卸商

キング白粉本舗
浅井本店

東京市日本橋區橋町三丁目一番地

電話浪花一四五七番
振替東京六一四七番



東京小間物化粧品名鑑

第二輯發行豫告

此際本紙購讀料一箇年分拂込の讀者に無代進呈

一昨年本紙新築館とし發行の東京小間物化粧品名鑑は始めての編纂と云ひ之が材料の供給側に於ても諸君盡くしりしものありし等不十分ながら讀者諸君に頼もたるに意外の好評を以て向業者間に歓迎せられ出版と同時に直に買切れとなりたるにも拘はらず今日に至るも續々として照會に接し殆んど應接に遑なき有難なるは弊社の最も光榮とする所なり因て弊社は改元紀念として更に第二輯東京小間物化粧品名鑑を編纂して購讀者諸君に無代進呈し之に依りて第一輯を有せざる向は勿論第一輯を得ざる向及び第二輯編纂希望の向をして満足せしむると同時に一般購讀者諸君の手帳の御愛顧に酬ゆる所あらんとす若し夫れ其の内容に至りては此處に事新らしく云ふ迄もなく我國流行の源泉地として東京に存在する數萬の小間物化粧品は漏らさず網羅して之を以て分類して索引を附し之に一々小賣價格及び一箱一箱の内容、發賣又は製造元等と詳細に別に營業の種類別人名を記し別紙を添付して分送す

本紙購讀料壹箇年分(金壹圓)此際御拂込の讀者には右名鑑進呈の外下記寄贈の副用品を分送す

大正二年一月一日

東京小間物化粧品商報社

東京一八五七一七番

第二輯東京小間物化粧品名鑑進呈副景品

- 第二輯東京小間物化粧品名鑑編纂の學を賛し購讀料壹ヶ年拂込の讀者に右名鑑と共に分送すべく寄贈の申込ありたるもの左の如し
- 一 レート化粧箱 二十個
 - 一 花王石鹼 十打
 - 一 ホーサン石鹼 十打
 - 一 エンプレス水白粉 五打
 - 一 一三二人小供石鹼 五打
 - 一 パール浮石鹼 十打
 - 一 菊椿香油 三打
 - 一 パールボマード二打
 - 一 美津保洗粉大袋一千袋
 - 一 一三二人小供石鹼 五打
 - 一 エンプレス水白粉 五打
 - 一 ホーサン石鹼 十打
 - 一 パール浮石鹼 十打
 - 一 菊椿香油 三打
 - 一 パールボマード二打
 - 一 美津保洗粉大袋一千袋

諒閣中に付年賀缺禮仕候

舊年中は格別の御愛顧御引立を蒙り難有奉深謝候尙本年も不相變御引立の程奉懇願候 敬具

大正二年一月一日

花王石鹼本舗 長瀬商會

代表者 長瀬祐三郎

- ウヅラ石鹼 十打
- ウツマキ石鹼 十打
- アルモンド化粧水 十打
- ミツワ純石鹼 百二十個
- ミツワ印浮石鹼 百二十個
- 丸見屋商店君
- 一 花王石鹼 十打
- 一 ホーサン石鹼 十打
- 一 エンプレス水白粉 五打
- 一 一三二人小供石鹼 五打
- 一 パール浮石鹼 十打
- 一 菊椿香油 三打
- 一 パールボマード二打
- 一 美津保洗粉大袋一千袋
- 一 一三二人小供石鹼 五打
- 一 エンプレス水白粉 五打
- 一 ホーサン石鹼 十打
- 一 パール浮石鹼 十打
- 一 菊椿香油 三打
- 一 パールボマード二打
- 一 美津保洗粉大袋一千袋

衛生十一則

向二口實價五圓以上のもの陸續御寄贈御申込を乞ふ

一 水晶石鹼 五打

一 アイス洗粉埋入 五打

一 エンプレス水白粉 五打

一 ホーサン石鹼 十打

一 パール浮石鹼 十打

一 菊椿香油 三打

一 パールボマード二打

一 美津保洗粉大袋一千袋

一 一三二人小供石鹼 五打

一 エンプレス水白粉 五打

一 ホーサン石鹼 十打

一 パール浮石鹼 十打

一 菊椿香油 三打

一 パールボマード二打

一 美津保洗粉大袋一千袋

- 一 タレモスク洗髮料 五打
- 一 髪形 四十個
- 一 一三二人小供石鹼 五打
- 一 エンプレス水白粉 五打
- 一 ホーサン石鹼 十打
- 一 パール浮石鹼 十打
- 一 菊椿香油 三打
- 一 パールボマード二打
- 一 美津保洗粉大袋一千袋
- 一 一三二人小供石鹼 五打
- 一 エンプレス水白粉 五打
- 一 ホーサン石鹼 十打
- 一 パール浮石鹼 十打
- 一 菊椿香油 三打
- 一 パールボマード二打
- 一 美津保洗粉大袋一千袋



内外石鹼化粧品問屋

脇田盛真堂

東京横山町二
 電浪 四二番
 振東 四四七番



勅語降る

天皇陛下には二十一日午前十時、齋藤海相を同十時三十分西園寺侯爵を同十二時伏見宮親王殿下を御前に召させられ左の勅語を下し給へり

▲齋藤海相へ
朕惟フニ卿久ク海軍軍政ノ局ニ膺レリ方今機務多端ナリ卿ヲ須ツコト殊ニ多シ宜ク疾ヲ力メテ寒々ノ節ヲ効スヘシ

▲西園寺侯へ
朕大統ヲ承ケシヨリ日向淺シ卿多年先帝ニ奉事シテ親ク聖旨ヲ受ク將來臣輔ニ須ツモノ多シ宜ク朕カ意ヲ體シテ克ク其力ヲ致シ贊襄スル所アルベシ

▲伏見宮殿下へ
朕大統ヲ承ケシヨリ未タ幾ナラス左右ノ輔弼モ闕クヘカラス親王ハ懿親ノ年長ニシテ望望並ニ隆シ宜ク内大臣府ニ出仕シテ事ヲ視ルベシ

▲各大臣親任式
天皇陛下には二十一日午前十時、卅分宮城表御所に出御、左の如く親任式を行はせられた

- 任内閣總理大臣(兼外務大臣) 公卿 桂 太郎
- 任内務大臣 子爵 大浦 兼武
- 任陸軍大臣 男爵 木越 安綱
- 任逓信大臣 男爵 後藤 新平

べらく寶子花の上紙年新

次官其他更迭

廿一日左の通り任免更迭ありたり
任内務次官 島野善次郎 押川 則吉
任大藏次官 理財局長 勝田 主計
任司法次官 刑事局長 小山 温
任農商務次官 農務局長 平沼騏一郎
任陸軍次官 參謀局長 下岡 忠治



内大臣府出任

伏見宮親王殿下は軍事參議官の現職のまゝ内大臣府に御出任ありて内大臣の事務を執らせらるること、二十一日左の辭令書を受けさせられたり
陸軍大將大勳位功二級 貞愛親王

侍從長任命

侍從長の後任は、念鷹司公爵の陞進と決し二十一日左の通り任命ありたり
侍從長 敘高(一等) 照通
侍從 叙高(一等) 米田 虎雄
侍從 叙高(一等) 米田 虎雄
侍從 叙高(一等) 米田 虎雄

皇族の内大臣

▲古にも例多し
▲萩野博士の談
伏見宮殿下が内大臣府出任仰つけらるゝについては聊か異様の感を抱くものなきにあらざるべけれど萩野博士は語つて曰く「皇族の内大臣又は太政大臣等の任に就かるゝは日本の歴史上一向珍らしきものにあらざ殊に奈良朝、平安朝の如き天皇と臣下の間に寧ろ成るべく皇族と立たしむるを便として此種の任に當らせられたり、勿論昔の内大臣は現時の如く宮中府中の別なければ直接政治に關與するものにて今の内大臣とは自ら其任を異にせり當時は常侍輔弼として大納言あり、御璽を拜するは中納言ありき、されば今の内大臣は大納言と中納言の兩職を併せたるが如きものと見て可ならんか」

前官の禮遇を賜ふ

西園寺侯及び松田正久、原敬兩氏に對し特に前官の禮遇を賜ふ旨二十一日御沙汰相成りたり

御大喪期中二付

缺新年之賀儀候

大正二年一月元旦

歐米化粧品 御園商店
御化粧用品小賣部 同支店
美術小間物 同支店
東京市牛込區袋町二十六番地
東京市神田區表神保町一番地
ツヤ洗粉 製造本舗
石丸東洋堂
東京市神田區表神保町一番地

スム香油
本品は高貴な香料を配合し、精製した、木那、唯一完全無類の極純香油、續々採用命とせり

東京市神田區表神保町一番地
石丸東洋堂

諒闇中に付
新年の禮を
缺き申候

京東
目丁二町山横
門衛右金川江
物間小珠珊瑚錦葛甲監
屋問

謹迎新年

舊年中は格別の御愛顧御引立を蒙り御蔭を以て逐日隆業に赴き候段難有御禮申上候向本年も不相變御厚情の程奉懇願候 敬白



各種
西村多宮商店
東京市神田區通區石町五番地
電話本局六九番

謹迎新年

菊ムスク石鹼本舖大和屋本店
和洋石鹼 問屋 中井藤右衛門
東京市日本橋區馬喰町三丁目三番地
電話本局三三〇九番



元賣發油香茨・ムレク代千八
店商井武東京

謹迎新

セルロイド
人造ニゴム
和洋牛角
つり角
監甲生地
吉田梅吉
京屋號
東京市日本橋區馬喰町三丁目二番地
電話本局一八九八番

謹迎新年

東京市本所區線町四丁目二十三番地
虎印石鹼製造元
羽車石鹼
芳 誠 舍
電話本所 五六〇番

謹迎新年

開花スルク石鹼
西國石鹼
本品は純良ナル麻香ト愛シキスミレラ配合シ精製シタル石鹼ナレバ平素御用アルトキハ身體頗ル清白滑澤ナラシメ芳香顔面トシテ為ニ精神ヲ爽快ナラシムルノ特長アリ
最新流行
貴婦人用
開花香油
毛髮ノ發育を助け匂ひよくさらさらとしてよき艶を出す
東京市本所區線町四丁目二十三番地
電話本所六〇六番
振替口座一三五四八番



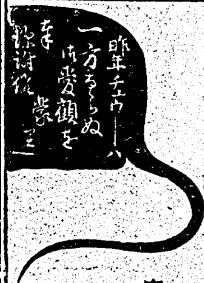
岡崎屋市太郎
電話本所六〇六番
振替口座一三五四八番

謹迎新年

東京市神田區三崎町三丁目一
内外石鹼問屋 山口 豐永堂
電話本局八七一番

扇子小間物
文具石鹼
問屋

平谷合資會社



東京市日本橋區堀江町三丁目
電話本局一五〇八番
振替東京五五八二番

謹迎新年

舊年中は格別之御厚情御引立を蒙り難有御禮申上候向本年も不相變御引立の程願上候
東京市日本橋區馬喰町三丁目二十二番地
トクトル水齒磨本舖 浅井國太郎

恭迎新年

向本年も不相變御愛顧御引立奉願上候



東京市小川瀬田
カスガ
御引立奉願上候



はげ脱毛薄毛
本製は即一毛をばやしめ毛を止め髪を毛はへぎは用毛髪等の除き毛を止し髪を
る所毛尤も用て毛はへる時都合
本製
東京市本所區線町四丁目二十三番地
電話本局六九番
振替口座一三五四八番

プレスト洗粉

日用化粧
石鹼にて

アルボース

の始く消毒天下人の為
防臭便益無類の便利
東京市本所區線町四丁目二十三番地

諒閣中子付き
年始の禮を缺く
本年もふねあま
中子付きを希小

石鹼化粧品御商

笠井啓藏
東京市神田區和泉町一番地

年頭所感

田中作

人生は到底繰り返すに免れないものである。生れて死に、死んだ後から生れるものがある。死生が繰り返される一方に、朝から晩まで、日々が積つて二月、一月が積つて一年、一年が積つて一生、いつとも同じ事を繰り返して、起るとか死なるとか、一つ事を繰り返して死んでからまた、一つ事を繰り返して死んでからまた、人生といふものは終焉を告げて了ふ。

●之を通じていへば、人生は一つの綱を引いて居ると同じに、始めから終りまで、一つ生といふことの爲めに、極めて単純な生活といふものを繰り返して居るに過ぎないものであつて、繰り返すことの多いのを毒といひ、短いのを天といふのである。露天車が繰り返しの多少に過ぎない。

●門松を真土の旅の一里塚と云つた坊主も、一年を劃す元日に際しての悟りを了つたまでである。年頭に際して祝ふべきは其日までの繰り返して得られた感謝と、以後の繰り返して希ふ祝福との、極めて頼りない氣息めのお祝儀に過ぎないのである。年が改まつて新年と名を附けたものが来たとして、その繰り返して居るは、何の變易もないのである。

●人は單調な事に飽きる。然るに生き飽きたといふ人のないのは、人生といふ單純な繰り返しのには、容易に飽きないといへる。いや、人生を以て謂ふ單純なものを得ないのである。同じ事を二六時中繰り返しながらも、繰り返すことには想到しないので、繰り返しの爲めに彩られる社會の事に氣を取られて、さうも味のあるものがある。

新紙年の上の花子寶



●死に損ねても生を食はることになるのである。
●繰り返す人生から、新しい年といふものを観ても、一向に新しい味はない、新年といふ事と意識を得るだけ、吾々は古くやつて行く、繰り返しの度數も加はつたことを説明して行くものである。而して生れて以來、幾

●死に損ねても生を食はることになるのである。
●繰り返す人生から、新しい年といふものを観ても、一向に新しい味はない、新年といふ事と意識を得るだけ、吾々は古くやつて行く、繰り返しの度數も加はつたことを説明して行くものである。而して生れて以來、幾

●死に損ねても生を食はることになるのである。
●繰り返す人生から、新しい年といふものを観ても、一向に新しい味はない、新年といふ事と意識を得るだけ、吾々は古くやつて行く、繰り返しの度數も加はつたことを説明して行くものである。而して生れて以來、幾

市前土手町池長之君の寶子
子々女長 君清男長 子ル女二 君時敏男二 君三三男三 子々女三子り右

●目出度もあり、目出度もなしといった坊主も、なかく内股背樂式の甘いことをいつたものと感心されるのである。繰り返しの人生、幾たび新年を繰り返しても、繰り返しのよつて得る所は何であらうか、老年となるに過ぎないのではなから、人生の終焉に足を進めるに過ぎないのではなから、新年を迎へ、年頭に臨んで、人生の無意識なる繰り返しの思つたならば、實に社會は無意味なものになつて了ふ。

●目出度もあり、目出度もなしといった坊主も、なかく内股背樂式の甘いことをいつたものと感心されるのである。繰り返しの人生、幾たび新年を繰り返しても、繰り返しのよつて得る所は何であらうか、老年となるに過ぎないのではなから、人生の終焉に足を進めるに過ぎないのではなから、新年を迎へ、年頭に臨んで、人生の無意識なる繰り返しの思つたならば、實に社會は無意味なものになつて了ふ。

●目出度もあり、目出度もなしといった坊主も、なかく内股背樂式の甘いことをいつたものと感心されるのである。繰り返しの人生、幾たび新年を繰り返しても、繰り返しのよつて得る所は何であらうか、老年となるに過ぎないのではなから、人生の終焉に足を進めるに過ぎないのではなから、新年を迎へ、年頭に臨んで、人生の無意識なる繰り返しの思つたならば、實に社會は無意味なものになつて了ふ。

桂公へ勅語

十七日各元老列席の上陛下より内閣組織に關し桂公に下し給ひたる勅語
朕登極の初に當り卿が多年の忠亮に倚きし常時輔弼の任に膺らしむるに今や時局の重任に就かしめん事を惟朕が意を體し奨励の誠を盡せ

誰がお好きな
お正月が来ました
タレモスク
髪洗料が出来ました
毛髪を美しく毛を損めずに
綺麗に汚れを落して
艶々しき黒い毛にする

最新最良の
洗髮洗身料は
美しくはするが少しも損める事のない
毛髪を洗つても、身體を洗つても
洗髮料!
タレモスク
洗髮料!
仕入れて顧客に感心させ彼の店へ行けば良い品ばかり賣るよと誰れも好化粧品店には
洗髮料!
タレモスク
洗髮料!
發賣元 東京日本實業商會
日本橋區馬場町三
田中花王堂
日本橋區山崎三
柳下商店
京橋區銀座一
佐々木商店
日本橋區横山町
近源商店

謹みて新年の

御挨拶申述候

華客各位の御隆盛を祈り
併而倍舊の御愛顧を乞ふ

美顔水

年玉景品附特賣

締切近し

美顔水發賣元

大坂市西區南通二丁目

桃谷順天館支店

豫て發賣中の年玉附荷物華客各位
の深甚なる御援助により意想外の
好成绩にて賣行飛ぶが如く今や該
景品附も締切近く相成候間此機を
逸せず至急多額の御注文奉希上候

敬具



高香等煉油 久耐香芳

一リヤ橋一リヤ

高橋初次郎 鋪本ルイオーリエチ
香三一四局本電長 目丁二町本區橋本日京東

謹 迎 新 年

本 年 不 變 勉 強 仕 候 間 倍 舊 御 引 立 の 程 願 上 候

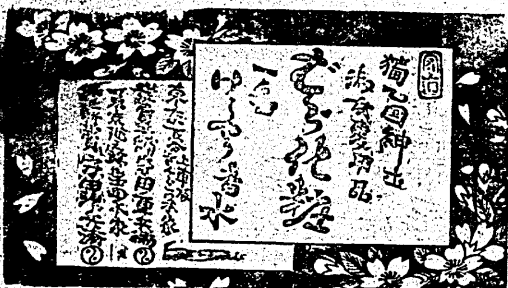
内 外 化 粧 品 問 屋

杉 山 商 店

振替貯金
口座東京
一七四七〇

東京市日
本橋區馬
喰町四

謹 迎 新 年



白毛染
無毒白髮染君は代は今や高麗國のた
り買最安全
なり三十分で
染まる

因 商 卸 樹 髮 萬 因

リホン 鹿の子 糸手柄 丈長 花根樹 紙鹿の子 水引 元結

大坂寺 南久寺 寶久寺 三町寺 目丁三町寺 衛兵覺澤

電話南 一八五三 振替西 九六三

白毛染



本舖東京橋區馬喰町三丁目三番地
支店大坂寺南久寺寶久寺三町寺
●發賣市內有名賣場化粧品卸商各店

○發賣樹數及方法

ミヤコ石 鹼 十五打入 貳百 榎
ダリヤ石 鹼 十五打入 貳百 榎
鳳凰ムスク石 鹼 大形二十四打入 貳百 榎
小形十二打入
小形廿四打合

壹等	金五圓券	貳拾本
貳等	金貳圓券	參拾本
參等	金貳圓券	四拾本
四等	金壹圓券	六拾本
五等	金五拾錢券	貳百五拾本
六等	金參拾錢券	六百元

○景品

ミヤコ石 鹼 一榎三付 景品引換番號券 壹 枚
ダリヤ石 鹼 同 壹 枚
鳳凰ムスク石 鹼 同 參 枚

○抽籤 期 日 大正二年五月二十五日東京市日
本橋區馬喰町東京小間物化粧品卸
商同業組合事務所に於て抽籤す

○當籤 發表 大正二年六月一日發行東京小間
物化粧品商報にて發表す

○景品引換期間 大正二年六月一日より同月三十
一日迄期限後は無効のものとなす

○發賣 期 日 大正元年十二月一日より
大正二年一月

東京日本橋區橫山町三丁目三番地
柳下藤五郎商店
電話 花三〇番一六〇番
振替口座東京四四九八〇番

● 思なる廣告説

● 近頃のやうに廣告が盛になつて来て、而して廣告が巧になつたにも拘はらず、廣告の批判が愚劣になつて来たことはあるまい。

● 何商賣に限らず、廣告なしに成功をしない處から、神や佛を賣り物の宗教界にすら、何やら教會の一大の廣告のへも見るやうになつた、此の上に廣告の盛といふことを見るのはひつきしと思はれる。

● 何廣告に限らず、新しい形式や、奇抜の意匠や、突飛の文句や、人の注目をおこして、自家の効能や、手前味略やを、注入して居る努力と耐忍とは、確に巧な廣告たるを失はなすのである。

● 廣告は何の爲めに血眼にであるか、何の爲めに血眼になつて、腦漿を絞つて、彼か此か苦心するのであるか、いふまでもない、因つて以て成功を得やう、廣告がそれだけ以上の効果を得られるやうにと望むからではないか。

● 廣告から其の効果といふものを除外したならば、そこに廣告の目的は去つて了ふではないか、効果なき廣告は廣告といひ得られないといつても敢て不倫の言ではあるまい。

● 夫れ既に効果を期するの廣告であるから、廣告は實用的、實際的の仕事であつて、其の効果を確實にし、其の効果を擴大する點に於て技術を要するのである。

● 廣告の一の技術とするのも、同一の分量を以てして、より以上の効果を収めるか否かに巧拙が存するのであつて、道楽や、不生産な仕事でないだけに、いかにせよ能く見る人を引き付け、讀む人を納得させて、其の商品なり、事業なりに向つて、信用し愛用するかのといふ幾多の考慮を要するのである、即ち効果に向つて、廣告はいろくも考案もされ、苦心もされるのであつて、効果を除外しての廣告術に、何等の術もなければ、巧拙を定むべき標準もある筈がない。

● 然るに世の憤々者流が、徒らに

新紙の上の花子寶



● 果なき廣告を廣告とする以上は、繪双紙屋の店頭にも、立派な意匠廣告がある筈である。

● 飯を食を求むるに當つて、腹の満つるを第二としての食物の可否を論ずるは思である、効果を第一として論ずるは、それ以上の思といはねばならぬのである。

● 突飛で、奇抜で、新しいといふだけなら、實に進んだ、巧な、而して立派な廣告であるが、果してその効果が、期待するだけを持ち來るかといふことに向つては、容易に許し得たくはないかと思ふ。

● 王子一年間の廣告が、辛亥一年間よりも進みつゝ、あつたことは勿論であるが、新しい、奇抜、突飛といふことが、單に西洋の生嚼り、鷓呑であつて少しも消化されて居ないもの、多かつたといふことも争ふべからざるものである。

● かの思なる廣告説の如きも、實に西洋雜誌の生嚼りから來たものであつて、自家の腦漿より出たものでないことは、其前提に於て明かに證せられて居る。

● 効果を廣告の間所にあらずしたならば、廣告といふ仕事は何であらうか論者の如き無用の廢物と同視するのであるか。

● 意匠や文章や、單に新聞や雜誌の地紋を作るの消樂であらうか、形式の新しい意匠の奇抜な、文句の突飛な、何れも人の目を惹き、耳を傾けさせざるを前意に過ぎないのである。

● 前意で人の耳目を集めてこそ本意によつて購買心を堅くさせるのであるから、意匠といひ文章といひ、形式といひ、すべては廣告の前提に過ぎないのである。

● 前意のみを見て本意を忘るやうでは未だ廣告の具を論ずるには足ぬのである。

● 廣告説では實に前意を論じて本意を忘れて居るのである。

● 廣告から効果を論じて、そして廣告の巧拙を論ずるのは根本から誤つて居る、根本から誤つた論は畢竟空論である、廣告主たるものは空論から遠ざかつて實際的の効果を収ることに近よるのが急務である。

● 併しながら、現今の廣告は、廣告としての立場主眼からいへば、いづれもその効果を期待しつゝあるに相違はないのであるが、其の期待した効果を具に收め得べしと確信し得るもの、は、安んずるものである。

● 突飛な文句はある、奇抜な意匠はある、新しい形式はある、けれど論から遠ざかつて實際的の効果を収ることに近よるのが急務である。

● 併しながら、現今の廣告は、廣告としての立場主眼からいへば、いづれもその効果を期待しつゝあるに相違はないのであるが、其の期待した効果を具に收め得べしと確信し得るもの、は、安んずるものである。

● 突飛な文句はある、奇抜な意匠はある、新しい形式はある、けれど論から遠ざかつて實際的の効果を収ることに近よるのが急務である。

東京市麹町區有樂町一丁目五番地 敏之君の寶子
市長女長子(敏之) 女二子(敏之) 男一子(敏之) 三男(敏之) 二女(敏之)

● 併しながら、現今の廣告は、廣告としての立場主眼からいへば、いづれもその効果を期待しつゝあるに相違はないのであるが、其の期待した効果を具に收め得べしと確信し得るもの、は、安んずるものである。

● 突飛な文句はある、奇抜な意匠はある、新しい形式はある、けれど論から遠ざかつて實際的の効果を収ることに近よるのが急務である。

諒閣中に付 年賀缺禮

舊年中は多大の御援助に預り難有御禮申上候向は本年も不相變勉強厚き御愛顧に酬い可申候間倍舊御引立ての程奉願上候

宮内省御買上の光榮ある

香入 みやけ油

其他スキ油及ピン付等好評噴々たり

謹迎新年

支那カバン問屋

日本橋區馬喰町三丁目

坪内廣喜堂

諒閣中に付 年賀缺禮仕候

不相變御愛顧御引立の程願上候

千代ぬれ羽本舗

東京通町 服部松榮堂

外理髮道具

安全剃刀 卸問屋

各種破格之出精仕候 寫眞入目録御送呈

東京市横山町二百十七 電話浪花三千八百八十番

平野久次郎商店

小間紙製造問屋

東京市日本橋區田所町 電話浪花一三六三番

振替東京九八〇九番

東山堂商店

二啓舊年は種々御厚意を蒙り難有御禮申上候 向本年も不相變御愛顧御引立の程伏而奉願上候

安全ナル
志が染



THE NICE
オオス

染髮元 秋丹平商會藥房

染髮元 秋丹平商會藥房

謹 迎 新 年

香油製造業 福田源次郎商店

大坂市新町通三丁目

東京市日本橋區馬喰町三丁目二十二番地

振替口座東京六〇八番

福 田 支 店

髮洗粉少壯之勇者
牡丹色圖案限定



最新原材の入り
製造元
東京市本所區柳町四丁目六番地

柏嶺堂商店

謹 迎 新 年

洗粉代本舖 茂木龜三郎

東市神田今川橋
電話本局四二九六九三番

萬小間物問屋

謹 迎 新 年

本年も不相變御引立
御用命の程願上候

ゴム櫛笄類製造販賣

東京市日本橋區本石町一丁目

合 山 口 喜 太 郎 商 店

電話浪花千六百九十九番
振替口座東京一九四四〇番

大坂市南區寺町四丁目

西岡貞次郎

歯ブラシ	石鹼箱	丸鬚形	妻楊枝	まゆはけ	無代進呈
------	-----	-----	-----	------	------

電話南區一七六一番
振替口座一三一四番

諒闇中に付年頭御祝詞
御遠慮申上候

尚本年も不相變御引立の程願上候

石鹼化粧品問屋

松林商店

東京淺草區向柳原町壹丁目
振替口座一八八六一番

形製問屋

勝本鬚形店

神田區橋本町
電話五九〇二番

本年も不相變御引立の程願上候

石鹼



THE CAMEL
MUSK SOAP

本舖 井上太兵衛

東京市日本橋區本石町三

本年初頭の御仕入れは
出荷も早く品安く便利な

内外化粧品石鹼問屋

東京横山町二丁目

桑原花生堂商店

電話浪花四七〇八番
振替口座一八九八三番

米國大統領

在米 吉田公重

米國の大統領選挙問題は、彼の、
ルガン半島問題と共に、正しく世界
に於ける近時の大問題であつて、獨
り米國人のみならず、世界各國人共
に、其成行きを如何と、多大の注意
を以て觀望した事と信する、されど
選挙期日前までは、全く其結果を
豫定することが出来なかつた、各
新聞は、其機關々々に應じて、その
主人公の提燈を
持つと云ふ次第
であるが爲めに
共和黨の機關新
聞を見れば、一
も二も無く、タ
フト氏の當選疑
ひ無き如くある
し、また更に
進歩黨の機關紙
を一覽すれば、
一ズグエルト氏
の當選なるが如
く報じてあるし
また一方民主黨
の機關新聞は、
イルソン氏の當
選確実なりと報
ずるあり、選挙
數日前に於て、
當事者は勿論觀
測者の如き、其
結果に就て全く五里霧中にあるは、
何れの選挙界に於ても常に見る所
にして、敢て怪むに足らざる事とな
ら、米國の如き大國にして、而も普
通選挙に依る大統領の選挙となりて
は、假令複選挙法とは云ひながら、
其結果を豫め知る能はざるは當然
のことである、されば米國人の如き
嗜好の國民は、これをよき事にして
盛んに賭けが行はれたのである、其
結果に就て日本内地の觀測の如きは
却つて圖目八目にして、四方八方か
らの報告と材料としての判断なれば

正論に處置かつた様である、尤も云
ふ迄も無く、イルソン氏は彼の下
層民の信任に頗る厚かつた様であつ
た、到る所の労働者及下層人民の其
結果の如何と及何人に當選するかの
懸念は、殆んど一致した様にイル
ソンと答ふるものであつた、亦一方に
はタフト氏もさるもの、をめぐると
はルーズヴェルト氏があるまじ、されど
はルーズヴェルト氏が最下級の地位
にあるにあらざるかと何人も豫想
する所であつたのである、

べらく寶子花の上紙年新



寶子の君郎三勝田依町住福西町宮大郡士富縣岡靜

念々當日となると、何時の大統領の
選挙と其機構に於て大差はない、更
らに日本の東京に於ける、代議士な
らば一種の示威運動をやつて居る
民主國とは云ひながら、如何にも此
の選挙當日と云ふ様なことは熱心
で、且つ非常に民意を重んずるので
ある、此の民意を重んずると云つても
米國の様に極端(但し外國人から見
るから極端にも見えやうが、米國人
から見れば當然のこと)、想ふだ
らうに走るの考、もので、日本の
んが爲めに、夜間になると、各新聞
に於て、

タフトならばタフト、イルソンな
らばイルソンと一目して判る様に
して、一種の示威運動をやつて居る
民主國とは云ひながら、如何にも此
の選挙當日と云ふ様なことは熱心
で、且つ非常に民意を重んずるので
ある、此の民意を重んずると云つても
米國の様に極端(但し外國人から見
るから極端にも見えやうが、米國人
から見れば當然のこと)、想ふだ
らうに走るの考、もので、日本の
んが爲めに、夜間になると、各新聞
に於て、

賣特念紀賣發油香ツピ

ビツク香油

近時香油と命名して店舗を飾
るもの實に百千を數ふ、稀に
稍可なるもの無しとは斷じ難
きも多くは粗質製造却て頭髮
傷け皮膚を害す就中其香氣に
至つては不快な云々可
す、頭髮に艶美を加へ心氣に
快感を得んと欲して用ふる香
油此の如し、世に心せざるを
得んや弊館最近見所ありて
現在香油の改善研究を企圖
し、専心して久しく、備々
應用化學用にして多量、備々
に精製し一意香油製造を研究
せし専門家に相知り、其の滋
養せる學理と實驗とによりて
理想的香油を製出せんと共に
苦心の未最新の學理と多年の
研究とに依り始めて完全なる
香油を製出するに至り「ピ
ツク」香油と名けて茲に新に
發賣せん」と「ピツク」は實に
香油界のレコードを破りたる
逸品たるを失はざるを信す
そは在來香油の缺所を補ひ長
所を採り、加ふるに高貴にし
て優雅なる香料數種を以てす
ればなり、サラサラとして粘
氣なく毛髪に接せし可なるは
勿論毛脂を除去し頭痛を防
ぎ、黒髪はしき艶美を加へ
後郁雅なる香氣を留せば使
用後の快感は勿論頭髪を洗
て遺濁なく發輝せしむ、近代
また宜なり希ふらくは特別の
寵愛と一層の保護に依りて該
品の擴展に一臂の力を賜は
んことを茲に發賣の趣旨と弊
館の希望を吐露して江湖の同
情諸君に冀ふ

品名	数量	金額
一 景品券	1000	1000
二 景品券	500	500
三 景品券	200	200
四 景品券	100	100
五 景品券	50	50
六 景品券	20	20
七 景品券	10	10
八 景品券	5	5
九 景品券	2	2
十 景品券	1	1

本 舖 榮久保屋商店
東京市神田區美空河原
東部代理店 木屋芳兵衛
東京市神田區美空河原
一八八六

第五回大黒三景品當籤番號發表

●景品引換期限
大正元年十二月二十日ヨリ
正貳年三月末日締切

1623	27756	25200	22227	20228	17512	15211	12142	9686	7657	5044	2925	56	29194	18160	9025	24	1045
2407	27757	25201	22228	20229	17513	15212	12143	9687	7658	5045	2926	57	29309	18443	9068	300	4472
2456	27758	25202	22229	20230	17514	15213	12144	9688	7659	5046	2927	58	29318	18477	9123	411	5409
3662	27759	25203	22230	20231	17515	15214	12145	9689	7660	5047	2928	59	29603	18742	9184	517	9158
4021	27760	25204	22231	20232	17516	15215	12146	9690	7661	5048	2929	60	29649	18787	9220	567	13600
4661	27761	25205	22232	20233	17517	15216	12147	9691	7662	5049	2930	61	29665	18870	9260	590	17855
5245	27762	25206	22233	20234	17518	15217	12148	9692	7663	5050	2931	62	29776	19396	9899	656	21253
5432	27763	25207	22234	20235	17519	15218	12149	9693	7664	5051	2932	63	29939	19988	10104	800	24568
5608	27764	25208	22235	20236	17520	15219	12150	9694	7665	5052	2933	64					25889
6022	27765	25209	22236	20237	17521	15220	12151	9695	7666	5053	2934	65					28086
9759	27766	25210	22237	20238	17522	15221	12152	9696	7667	5054	2935	66					
10998	27767	25211	22238	20239	17523	15222	12153	9697	7668	5055	2936	67					
12788	27768	25212	22239	20240	17524	15223	12154	9698	7669	5056	2937	68					
13246	27769	25213	22240	20241	17525	15224	12155	9699	7670	5057	2938	69					
13987	27770	25214	22241	20242	17526	15225	12156	9700	7671	5058	2939	70					
16916	27771	25215	22242	20243	17527	15226	12157	9701	7672	5059	2940	71					
19570	27772	25216	22243	20244	17528	15227	12158	9702	7673	5060	2941	72					
20825	27773	25217	22244	20245	17529	15228	12159	9703	7674	5061	2942	73					
22474	27774	25218	22245	20246	17530	15229	12160	9704	7675	5062	2943	74					
23444	27775	25219	22246	20247	17531	15230	12161	9705	7676	5063	2944	75					
23958	27776	25220	22247	20248	17532	15231	12162	9706	7677	5064	2945	76					
24926	27777	25221	22248	20249	17533	15232	12163	9707	7678	5065	2946	77					
25177	27778	25222	22249	20250	17534	15233	12164	9708	7679	5066	2947	78					
25514	27779	25223	22250	20251	17535	15234	12165	9709	7680	5067	2948	79					
26189	27780	25224	22251	20252	17536	15235	12166	9710	7681	5068	2949	80					
26984	27781	25225	22252	20253	17537	15236	12167	9711	7682	5069	2950	81					
27502	27782	25226	22253	20254	17538	15237	12168	9712	7683	5070	2951	82					
29552	27783	25227	22254	20255	17539	15238	12169	9713	7684	5071	2952	83					

●以上番號に洩れたる番號全部の景品券壹枚に對して郵便切手(參錢)壹枚とす但し郵券は送料と差引送附可仕候

丁 (一口金貳圓宛、外に本番號當籤の景品券) (御所有の御店員へ懐中時計寄附進呈)

參 拾口

丙 (一口金壹圓宛)

壹千口

乙 (一口口價拾七圓五匁)

貳百口

甲 (一口口價拾七圓五匁)

拾口

御註文金額拾六圓毎に壹枚宛進呈したる景品券當籤番號

クラフ化粧品 大阪南御堂前 中山太陽堂

747	596	444	316	241	19	575	5	462	76	12	壹等	12	壹等
748	606	450	327	244	21	5	15	530	78	276	貳等	276	貳等
756	610	468	337	247	38	21	21	762	173	721	參等	721	參等
769	626	471	338	253	40	86	86						
	632	481	346	254	74	166	166						
	643	487	347	256	75	257	257						
	666	488	358	260	100	275	275						
	684	499	359	265	116	302	302						
	687	506	372	270	118	406	406						
	688	513	374	273	121	418	418						
	700	516	381	277	145	480	480						
	706	531	393	278	160	525	525						
	707	550	403	285	189	536	536						
	719	555	405	287	198	579	579						
	723	570	413	294	201	589	589						
	725	574	417	300	213	603	603						
	731	575	422	301	214	627	627						
	737	578	427	303	230	633	633						
	746	589	442	315	240	668	668						

46	23	1	六等	13	五等	21	四等	6	參等	50	貳等	58	壹等
47	24	2	金五圓宛	29	金拾圓宛	41	金五拾圓	48	金壹百圓宛	53	金貳百圓宛	8	金八百圓
49	25	3		33				51		56		10	
52	26	4		42								11	
54	27	5		43								12	
55	28	6		44								13	
59	30	7		45								14	
60	31	8		46								15	
64	32	9		47								16	
66	33	10		48								17	
67	34	11		49								18	
68	35	12		50								19	
69	36	13		51								20	
70	37	14		52								21	
71	38	15		53								22	

クラフ化粧品 特別券 拾圓毎に進呈したる景品券當籤番號

クラフ化粧品 最大券 壹百圓毎に進呈したる最大景品券當籤番號

謹 迎 新 年

本年は一向勉強仕候御間立の願上候

菊園化粧本品舖内化粧品問屋

酒井喜市商店

東京横山町

壹丁目

門松と注連

門毎に建てる門松、張る注連繩に就ては、和訓栞に「正月門毎に松竹などを立て祝ふを門松と稱せり、門神の記なるべし、徒然草に大路に松立をたしと見えたり、全浙兵制、我邦正月の事に、松栢を以て門に挿じ、乃ち長春の好を取るといへり、爲尹の歌に「今朝はまた都の手より引かへし、千色の始めしづか門松」歳華紀麗に、松枝千戸に繋ぐとも、風俗記に正旦楚人松栢頌を上げるともいへり、其の意、近今福問の間、正月門毎に松竹を飾り立てるは、國姓爺より始まるよし西川氏の書に見えたり、禁中并に堂上には、門松を飾る事なし、御家中に注連を引く事あり、かつらめや新枕する夜なくはとられし、越のこよひとられぬ、御女命の故事にて圖を見れば、頭を包みて高く纏物したる異形の女館を賣るなり、館は所附かつらめ也」とある、注連の事は、歳事記に「注連はシラ、メナハの略にして、シラハ、メナハといひ、略してシメといひ、シメは本の意にして、メは籠(コメ)なり、籠の本を断ち去らずしてコメたる意なり、去れば籠出之繩とも記せり、或は後方眼目の義なりといひ、神事に引き延べて、内外を限り不浄を入らざるの意ならんか其の製、葉にて左になむたる繩にて、八寸ばかり毎に葉の出して垂ること七條又は五條又三條なり、故に七五三とも記せり、之に紙四手を挿みて垂るものなり、新年には皆葉、葉等をも挿じものあり、右事肥天箱戸の條に、布刀玉命尻久米繩を以て云々、此より以内還か入るを得ずとあり、之より出でたるるべし」とあるので、祖先の崇

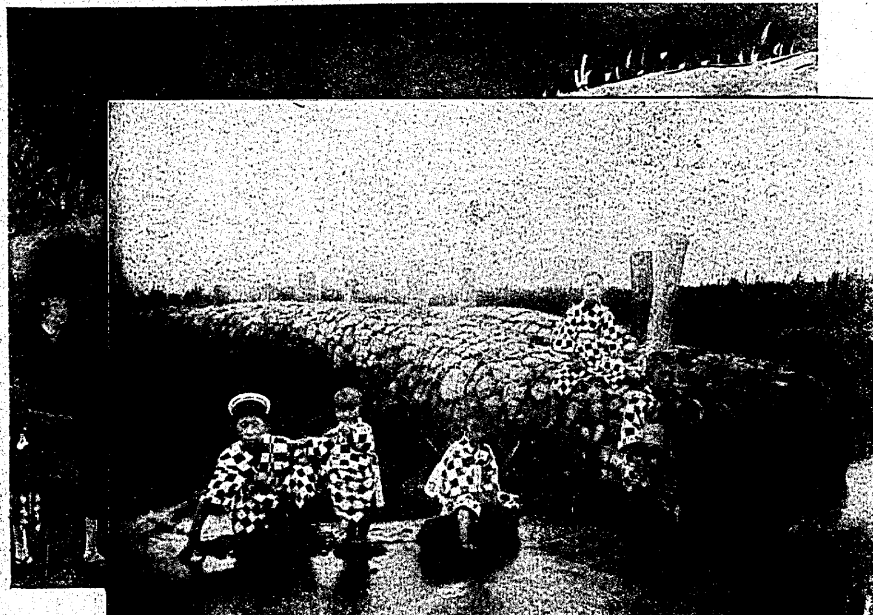
蓬萊と鏡餅

拜を本として、年の始め、其の本を忘れないといふ意が含まれて居るのである。

正月の飾りとして、三方蓬萊、鏡餅、昆布、海老などを置いて、年籠の賀客に供して新年を祝ふのを蓬萊

といふ事があつて、その第一に壽といふ處から取つたもので、搗栗は勝といふ義から取つたのであらう。鏡餅の事も、諸書に見えて居るが、ちひといふのは、望飯で、望月から出た名であらうといふことである、本朝食鑑には「本邦古より餅を以て鏡の形に搦す、故に餅を呼んで鏡と稱す、是れ八咫鏡に擬するが、正月朔旦必ず餅を以て諸神に供し、及び一家の長幼團圓して、同じく鏡餅をすゝめて新歳を賀す云々」とあつて、江次郎には、鏡餅に近江の火切のものを用ひた由を説き、世諺問答には、正月の鏡に向ふときは、古今集に入つて「あふみのや鏡の山を立たればかねてを覚ゆる君が千年は」といふ歌を誦するのだといひ、照朝樂事には八月十五夜に、民間に月餅を以て相贈る、團圓の義を取るといふ意に同じ、又正月朔旦に、黍を食する由五節篇に見えれば、西土も亦同じ風なりとある、程は、其の實が、春になると色濃く、久しきに耐へ、夏になると色を變じて、新舊が辨じないといふので、代々と名づけて嘉祝の果とするといふ事も、月令廣義に見えて居る、月令廣義に見えて居る、棧は、讓り葉で、新らしい葉が生ひのびると舊い葉が落つるといふので子孫連綿の意に取るのであらう、齒菜は、葉白とも瓜尾とも、種長ともいふて、四時枯れない、齒はよはひで、菜はえだで、延長の義である、此の外に數の子は子の多義、五萬米又は田作は、其の名を愛で、豆は健康の義に取つたのであらう、たゞ餅をかちんといふ事は、歌枕だとも歌賀だともいふが、傳會の誤らし

新紙の上の花子寶へら



北海道十勝國本別市街齋藤榮吉の寶子
右より三男三郎君、二男英君、男四芳君、男五三男君、男長一君

其の製、葉にて左になむたる繩にて、八寸ばかり毎に葉の出して垂ること七條又は五條又三條なり、故に七五三とも記せり、之に紙四手を挿みて垂るものなり、新年には皆葉、葉等をも挿じものあり、右事肥天箱戸の條に、布刀玉命尻久米繩を以て云々、此より以内還か入るを得ずとあり、之より出でたるるべし」とあるので、祖先の崇

といふ事があつて、その第一に壽といふ處から取つたもので、搗栗は勝といふ義から取つたのであらう。鏡餅の事も、諸書に見えて居るが、ちひといふのは、望飯で、望月から出た名であらうといふことである、本朝食鑑には「本邦古より餅を以て鏡の形に搦す、故に餅を呼んで鏡と稱す、是れ八咫鏡に擬するが、正月朔旦必ず餅を以て諸神に供し、及び一家の長幼團圓して、同じく鏡餅をすゝめて新歳を賀す云々」とあつて、江次郎には、鏡餅に近江の火切のものを用ひた由を説き、世諺問答には、正月の鏡に向ふときは、古今集に入つて「あふみのや鏡の山を立たればかねてを覚ゆる君が千年は」といふ歌を誦するのだといひ、照朝樂事には八月十五夜に、民間に月餅を以て相贈る、團圓の義を取るといふ意に同じ、又正月朔旦に、黍を食する由五節篇に見えれば、西土も亦同じ風なりとある、程は、其の實が、春になると色濃く、久しきに耐へ、夏になると色を變じて、新舊が辨じないといふので、代々と名づけて嘉祝の果とするといふ事も、月令廣義に見えて居る、月令廣義に見えて居る、棧は、讓り葉で、新らしい葉が生ひのびると舊い葉が落つるといふので子孫連綿の意に取るのであらう、齒菜は、葉白とも瓜尾とも、種長ともいふて、四時枯れない、齒はよはひで、菜はえだで、延長の義である、此の外に數の子は子の多義、五萬米又は田作は、其の名を愛で、豆は健康の義に取つたのであらう、たゞ餅をかちんといふ事は、歌枕だとも歌賀だともいふが、傳會の誤らし

有名形 小づち形 小きよ形 小鳥形 大正紀念形 立花形

既に定評ある 弊店製鬘形の優美 斬新なる形状

不相變御引立 御販賣の程 奉願上候

伊勢幸鬘部形

電話三五〇五 東京 電話一〇三三

私儀今般規定の年限を終へ店主の承諾を得て退店自家の營業に従事仕候間倍舊の御引立を給はり度謹告仕候

上州沼田中町

伊勢幸商店 大貫幸吉

小間物商 中山金助 電話沼田四〇番

永年勤続致居候處今般退店自家營業に従事仕候間御引立に預り度右申添へ申候

諒閣中年賀 欠礼仕候 依舊り春願希す

謹迎新新年

東京市日本橋區
馬喰町三丁目三番地
金銀洋飾 小間物卸商
指輪各種 播米商店
兩大中さし 玉足玉飾
各品共二大勉強發賣仕候

謹迎新新年

人造絹糸各種
東京市日本橋區馬喰町三丁目
志向金糸半

西田商店

長壽源流光三三三三三
東京市日本橋區馬喰町三丁目
志向金糸半

西田嘉三衛

長壽源流光三三三三三
東京市日本橋區馬喰町三丁目
志向金糸半

謹迎新新年



深川區 本所
石本局 五二五番
福政 五二五番
住町 五二五番
町木 五二五番
正木 五二五番
六六番 五二五番
番二八六三東

耻づべ十二指病

○トナホムに次ぐ目下問題とな
る十二指病は最初埃及で發
見されたもので、埃及貧血病とも云
はれて居る。
○伊太利のコンパアの隣道を穿
ち際に工夫が非常に之れに罹つ
た。ウオトルローでは礦山
の礦夫も罹つた。つまり
うい下等社會に多い病氣で
上流社會には少ない。要す
るに文明國としては恥づべき
野蠻病である。

○日本には全國到處に
あるが、殊に東京附近では千葉
埼玉、山梨、静岡縣等の百姓
に多い。都會の人にも随分あ
る。上流社會にもある。

○病原は其名の示す通り、
十二指病に一種の寄生蟲が生
ずるので其蟲は肉眼でも見ら
れる。即ち雌は褐色を呈して
長十乃至十八ミリメートル
(約二分位)、雄は黄白色で長
七乃至十二ミリメートル(一
約一分五厘)。頭の方に六本の
歯があつて、しつかりと腸壁
に噛りついて居る。そして腸
から種々の營養分を吸収する
のである。

○故に此病氣に罹れば、第
一貧血する。これは蟲が血を
吸ふからばかりでなく、蟲其
者より毒物を出すからである
次に胸がやけたり、嘔吐を催
したり、耳鳴、目痛、頭痛等
を起し、且つ上腹部が常に痛
んで便溺する。動悸もする。段々身
體が倦怠なつて仕事が出来なくな
る。尚ほしくなれば心臓にも變化を起す
○十二指病患者は顔色が貧血し
て、顔が黄褐色を呈し、爪などに
線が出来るから、熱病を癒すならば
顔を見ただけでも判るが、輕症者は
其便を検査すれば判る。

へらく寶子花の上紙年新



○一體寄生蟲には必ず宿主があつ
て、人間も其宿主ではあるが、今一
つ動物の宿主がある。そして子孫を
繁殖せしむる爲に一匹の寄生蟲は幾
億といふ多數の卵を生む。
○其卵は肥料の中に混つて、野菜
にかける。其野菜を生で喰ふと、
卵は體內に侵入して繁殖する。又往
往皮膚から侵入する。故に豫防し

しては生の野菜を食はぬ事(サラダ
は危險)土ほじりをしない事、手を
よく洗ふ事である。
○此病氣の治療は容易で、昔は松
櫚の根を煎じて飲めば癒つたので、
それから松櫚根皮といふ藥が、今は
出来て居る。其他線馬越羅斯、チモ
ール等も効がある。

寒心すべ十二指

北米シヤトル移民局園部日本醫官の
報告に依れば同局に於ける十二指病
患病検査方法は頗る嚴密を極めたる
ものにして採取に方りては被検査
者の不正手段を防止する爲め上回
際し一々看護婦を附して他人の物と
接觸せしむることを禁じて居る。

米國の貿易額

▲未曾有の多額に達す
米合衆國昨年の貿易總額は
恐らく四十億弗以上に超過
するが如し從來の最高貿易
額一昨年の三十六億二千六
百萬弗なりしに昨年は倍ほ
此以上に出づること疑無し
この年は一九〇六年に二十
億弗の額に達せし最初の年
は一九〇九年也▲十月を以
て終る十ヶ月間の輸入額は
總計十五億一千萬弗にして
これは昨年中に十八億弗に
なるべく又昨年十ヶ月間の
輸出は十八億七千萬弗に
しては昨年中に二十三億
弗となること疑なし▲輸
入は一九〇一年以來正に倍
加し輸出は一九〇四年以來
倍加したる輸入額の増加した
るは食料品、製造品及製造原料の
増したるが爲めに輸出額の此くも
増加せるは主として製造品の増した
る爲めならんべからず

信州高野高町見澤和子市子の寶子
右ニ女子子千つせ 夫男君 男男君 男男君 女女君 女女君 女女君
右ニ女子子千つせ 夫男君 男男君 男男君 女女君 女女君 女女君

▲未嘗有の多額に達す
米合衆國昨年の貿易總額は
恐らく四十億弗以上に超過
するが如し從來の最高貿易
額一昨年の三十六億二千六
百萬弗なりしに昨年は倍ほ
此以上に出づること疑無し
この年は一九〇六年に二十
億弗の額に達せし最初の年
は一九〇九年也▲十月を以
て終る十ヶ月間の輸入額は
總計十五億一千萬弗にして
これは昨年中に十八億弗に
なるべく又昨年十ヶ月間の
輸出は十八億七千萬弗に
しては昨年中に二十三億
弗となること疑なし▲輸
入は一九〇一年以來正に倍
加し輸出は一九〇四年以來
倍加したる輸入額の増加した
るは食料品、製造品及製造原料の
増したるが爲めに輸出額の此くも
増加せるは主として製造品の増した
る爲めならんべからず

謹迎新新年

美術時繪 羽根繁次郎
小間物卸商
東京市神田區東松町二十二番地
長電話 本局 三百七十三番

謹迎新新年

美術時繪 羽根繁次郎
小間物卸商
東京市神田區東松町十五番地
長電話 浪花 二五四八番

謹迎新新年

美術時繪 羽根繁次郎
小間物卸商
東京市神田區東松町十五番地
長電話 浪花 二五四八番

謹迎新新年

美術時繪 羽根繁次郎
小間物卸商
東京市神田區東松町十五番地
長電話 浪花 二五四八番



恭迎新年

東京市
代理店
(原はろい)

日田山 山口町 山口町 山口町
日田山 山口町 山口町 山口町
日田山 山口町 山口町 山口町
日田山 山口町 山口町 山口町

田中花王堂
柳下藤五郎
松井號支店
天野源七
佐々木玄兵衛
上州屋分店
廣田商店

許特膏專

油香水花王

●高松博士會監證明
●三山至博士會監證明

縮れ毛髪 自然の毛髪 自然の毛髪
縮れ毛髪 自然の毛髪 自然の毛髪
縮れ毛髪 自然の毛髪 自然の毛髪

上州屋分店 廣田商店

●立志訓 官田公憲

二 亞米利加は亞米利加人の

是れに於ては、彼は再び讀書のみに
なりて、法律を研究するに到れり、
然れども彼は暫の間に此の法律學
を學修し、別に此れを應用す
るの機會を得ずして苦しみ、
併しなから故龍のつかは池の
ものも非ず、遂に一千七百
八十二年と云ふに彼れモン
ローは僅かに二十三歳にして
アリゾニア州の人民より推さ
れて州の議員となれり、亦
以て異數の拔擢と云はざる可
からず、次いで其翌年には更
らに昇つて、亞米利加の大
會議員にまで選舉されたり
此れと相前後して彼の大偉人
たる華盛頓は亞米利加獨立軍
の大元帥を辭職せるなり、か
かる一偉人の辭職して其地
位を去ると、兎角國內は亂れ
かちものを見えて、問も無
く亞米利加は、其結合を解き
て遂に分離せんとするの傾向
を生じ、之れが爲めには或は戰
闘の再び開始するやも測られ
ざるの形勢とはなれり、若し
ざるこのあらんか、米國の
不幸は伸々に大なるものなり
き、されば彼れモンロー等は
其事を大に憂ひ、何とかして
其事の無からんことを欲し、
極力到る所の有力者を説き
亦世論を動かして、幸ひにも
其事無して済むを得たり、
縣知事の次第を略述すれば、亞米利
加は遂に外難たる英國の唐政を排す
るまでは、よく一致したれども、兎
角外難の去ると共に内に相排し兄弟
鬩に閭々の現象を生ずるものにして
漸く彼等此の排りを免れず、圓和
統一を得ずして國內は實に紛々たる
ものなりき、一千七百八十一年制定

べらく寶子花の上紙年新

せられたる亞米利加之憲法に依れば
大統領も無く只議會を有せしのみ、
而も其議會たるや法律を制定し得る
も之れを執行するを得ず、租稅等を
課するも之れを徵收するを得ずと云
ふ、實に公權力の發動とは見る可
らざるの状態なるに、之れに加ふる
に永年の戰爭とて、之れが爲めに總
ての商工業は廢滅に歸し、平和後と
加永年の爲めを念ひ、遂に一千七百
八十九年と云ふに新憲法を制定して
全く事無きを得たる也、
間もあらず、彼の私生活上に
變化を來たす可きことは生じたり、
則ち彼れモンローの結婚問題はれ
當時ニューヨークに住居しける英國
陸軍大尉コートライトなるものあり
き、コートライトは亞米利加獨立戰



加永年の爲めを念ひ、遂に一千七百
八十九年と云ふに新憲法を制定して
全く事無きを得たる也、
間もあらず、彼の私生活上に
變化を來たす可きことは生じたり、
則ち彼れモンローの結婚問題はれ
當時ニューヨークに住居しける英國
陸軍大尉コートライトなるものあり
き、コートライトは亞米利加獨立戰

争の濟みたる後は最も亞米利加を愛
し、遂に亞米利加に籍を移して亞米
利加人となりたる人也、此の人に芳
紀十八歳頃の艶麗なる令嬢あり、名
をササと云ふ、モンローが會
つたは愛する所を得ざる所
也と云にあり斯く彼れモンロー等の一
派はパトリック、ヘンリー等と相結
んで亞米利加憲法の一部に反對の意思
を發表して其改正を促せり、

は擧げられたり、而も相携へてアリ
ゾニアに歸郷するや、彼の女子リ
ササの艶麗なるは、アリゾニア
中にも多く其比を見ざりしと云ふ
話しは更らに變れども、何れの國に
ありても、其時期に應じたる法令を
作製せざる可からざるは云ふ迄も無
きことにして、例へば百年以前の我
今日の法律を施行せんとは云へ
不可能也、去りてまた百
年以前の法令を今日の御世
に施行せんとて其不可能な
ことは言を俟たざる事
也、總じて法令の如きは其
時の人情と風俗とを參酌し
ての事なれば也、彼の亞米
利加之憲法制定の際にあり
て、彼れモンローよりすれ
ば、聊か不服ありたるが
如し、是れ其憲法なるもの
に依れば、餘りに中央政府
即ち大統領に一國の權力を
持たせ過ぎると云ふにあり
此等のことは元より日本の
國法等とは性質を全く異
にするものなれば、日本の
國法を解したる頃にては理
解し克はざる所なり、然れ
ども所變れば品變るにて、
當時の米國にありては、か
かる見解が相當の理由あり
しならん、然れども今日に
到りては流石の米國にあり
てもその見解は漸く不適の
論とならんとするに似たり
當時彼れモンロー等の思考
よりすれば、かく大統領即
ち中央政府に集權しては、
恰も大統領は一種の帝王に均し我等
は帝王政治に反對して遂に共和政體
を作りに再び帝王政治に復らん、
するは我等の反對せざるを得ざる所
也と云にあり斯く彼れモンロー等の一
派はパトリック、ヘンリー等と相結
んで亞米利加憲法の一部に反對の意思
を發表して其改正を促せり、

は擧げられたり、而も相携へてアリ
ゾニアに歸郷するや、彼の女子リ
ササの艶麗なるは、アリゾニア
中にも多く其比を見ざりしと云ふ
話しは更らに變れども、何れの國に
ありても、其時期に應じたる法令を
作製せざる可からざるは云ふ迄も無
きことにして、例へば百年以前の我
今日の法律を施行せんとは云へ
不可能也、去りてまた百
年以前の法令を今日の御世
に施行せんとて其不可能な
ことは言を俟たざる事
也、總じて法令の如きは其
時の人情と風俗とを參酌し
ての事なれば也、彼の亞米
利加之憲法制定の際にあり
て、彼れモンローよりすれ
ば、聊か不服ありたるが
如し、是れ其憲法なるもの
に依れば、餘りに中央政府
即ち大統領に一國の權力を
持たせ過ぎると云ふにあり
此等のことは元より日本の
國法等とは性質を全く異
にするものなれば、日本の
國法を解したる頃にては理
解し克はざる所なり、然れ
ども所變れば品變るにて、
當時の米國にありては、か
かる見解が相當の理由あり
しならん、然れども今日に
到りては流石の米國にあり
てもその見解は漸く不適の
論とならんとするに似たり
當時彼れモンロー等の思考
よりすれば、かく大統領即
ち中央政府に集權しては、
恰も大統領は一種の帝王に均し我等
は帝王政治に反對して遂に共和政體
を作りに再び帝王政治に復らん、
するは我等の反對せざるを得ざる所
也と云にあり斯く彼れモンロー等の一
派はパトリック、ヘンリー等と相結
んで亞米利加憲法の一部に反對の意思
を發表して其改正を促せり、

元祖 花札

花札遊び仕込箱(道具製造)

道具一式上方屋片岡

東京市人形町通住吉町上方屋片岡

電話二九六番 電話九六六番

良精質品

鏡臺 鏡箱

額縁 針箱

類類

製造製鏡種各

郎五民木鈴

町町馬傳小區橋本日市京東

番二九國花漢百區四

番七四二三一東京東

謹謝

内外化粧品問屋 上州屋分店 赤坂

歐米化粧品直輸入 上州屋本店 品川

アイヌ洗粉本舗

兩店共益々隆昌發展仕り之れ偏に各位御眷顧之賜と奉感謝候尚本年も倍舊御引立之程奉懇願候 敬具

大正二年一月元旦

神保文太郎

恭迎新年

光正味 東京向島寺島

吐紅各種 三河屋號

製造本舖 羽根田作兵衛

電話本所六〇二六

謹迎新年

昨年中は格別の御愛顧御引立を蒙り謹有御禮申上候尙ほ本年も不相變御引立の程願上候

龜印丈長製造本舗

滋野日盛堂

淺草區福井町一ノ二十二

謹迎新新年

於内外各博覽會受牌預

三味線

附屬小同、


其他諸樂器

附屬品

木屋路

茶岡野

勳兵衛



謹迎新新年


謹迎新新年

●油斷大敵、風邪は萬病の本風邪たんせき、婦人の道、逆上腰冷寒さ暑さあたり、頭痛めまひ、氣のふさぐには守妙に頼る

●摸偽物多し御求の節は必ず守妙即ち守田妙振り出しと御名指を乞ふ

定価二帖入 金五拾錢
三帖入 金七拾錢
五帖入 金一拾五錢

東京上野池之端町廿七番地
寶丹舖 守田治兵衛
●全國各藥店にて販賣す



謹迎新新年

●今昔の髪

昔は髪を二つにして、幅の廣い櫛の櫛を挿へ、髪を通します。

●奥女中、大名の奥勤めの女中などの結つたもので、長い弁へ鹿の子を巻いて置き、其の上を根の毛で、櫛のゆるいやうな格好に結び、脚の長い玉の櫛を差します。

●さげした、若衆頭の人に似合ひ

●今昔の髪

一のやうなものを大きく作り、髪つた毛を二つにして、幅の廣い櫛の櫛を挿へ、髪を通します。

●奥女中、大名の奥勤めの女中などの結つたもので、長い弁へ鹿の子を巻いて置き、其の上を根の毛で、櫛のゆるいやうな格好に結び、脚の長い玉の櫛を差します。

●さげした、若衆頭の人に似合ひ

●今昔の髪

一のやうなものを大きく作り、髪つた毛を二つにして、幅の廣い櫛の櫛を挿へ、髪を通します。

●奥女中、大名の奥勤めの女中などの結つたもので、長い弁へ鹿の子を巻いて置き、其の上を根の毛で、櫛のゆるいやうな格好に結び、脚の長い玉の櫛を差します。

●さげした、若衆頭の人に似合ひ

●女髪結お直

芝居島森町二女髪結師岡本屋(二)は山形縣南村山郡上の山藩士岡田彌平の長女にして三弟あり父は家祿奉還の役種々の事業に關係したるが、悉く失敗に終り家運衰へたるより同女は十六歳の時東京に出て某貴族院議員の許に奉公せしが、如何もして故郷の三弟を勉めさせ一家再興を計らんと決心し京橋區南町三丁目三番地須屋の弟子となり三年期を勉め上げ明治四十年中獨立して他家の二階を借りつけ日夜勉勵業務に従事したれば技術も漸次上達し現今の場所一戸を構へ弟子三人を抱へて新橋南地の藝妓屋待合、料理屋等に出入して擲なからぬ収入を得る身となりたひ早速三弟を故郷より呼び寄せ長弟隆次は府立中學校を卒業させ今職藝學校に三弟六郎は正則英語學校に入學せしめ三弟の成功する迄は獨身にて顧客大事と務めんと決心の願を遂げて後居る事與風會の知る處となり之れが篤行を表すべく賞状に美事なる朱槓一箱と添へて之長の手を経て同人に交附したりと



●女髪結お直

芝居島森町二女髪結師岡本屋(二)は山形縣南村山郡上の山藩士岡田彌平の長女にして三弟あり父は家祿奉還の役種々の事業に關係したるが、悉く失敗に終り家運衰へたるより同女は十六歳の時東京に出て某貴族院議員の許に奉公せしが、如何もして故郷の三弟を勉めさせ一家再興を計らんと決心し京橋區南町三丁目三番地須屋の弟子となり三年期を勉め上げ明治四十年中獨立して他家の二階を借りつけ日夜勉勵業務に従事したれば技術も漸次上達し現今の場所一戸を構へ弟子三人を抱へて新橋南地の藝妓屋待合、料理屋等に出入して擲なからぬ収入を得る身となりたひ早速三弟を故郷より呼び寄せ長弟隆次は府立中學校を卒業させ今職藝學校に三弟六郎は正則英語學校に入學せしめ三弟の成功する迄は獨身にて顧客大事と務めんと決心の願を遂げて後居る事與風會の知る處となり之れが篤行を表すべく賞状に美事なる朱槓一箱と添へて之長の手を経て同人に交附したりと

●女髪結お直

芝居島森町二女髪結師岡本屋(二)は山形縣南村山郡上の山藩士岡田彌平の長女にして三弟あり父は家祿奉還の役種々の事業に關係したるが、悉く失敗に終り家運衰へたるより同女は十六歳の時東京に出て某貴族院議員の許に奉公せしが、如何もして故郷の三弟を勉めさせ一家再興を計らんと決心し京橋區南町三丁目三番地須屋の弟子となり三年期を勉め上げ明治四十年中獨立して他家の二階を借りつけ日夜勉勵業務に従事したれば技術も漸次上達し現今の場所一戸を構へ弟子三人を抱へて新橋南地の藝妓屋待合、料理屋等に出入して擲なからぬ収入を得る身となりたひ早速三弟を故郷より呼び寄せ長弟隆次は府立中學校を卒業させ今職藝學校に三弟六郎は正則英語學校に入學せしめ三弟の成功する迄は獨身にて顧客大事と務めんと決心の願を遂げて後居る事與風會の知る處となり之れが篤行を表すべく賞状に美事なる朱槓一箱と添へて之長の手を経て同人に交附したりと

●女髪結お直

芝居島森町二女髪結師岡本屋(二)は山形縣南村山郡上の山藩士岡田彌平の長女にして三弟あり父は家祿奉還の役種々の事業に關係したるが、悉く失敗に終り家運衰へたるより同女は十六歳の時東京に出て某貴族院議員の許に奉公せしが、如何もして故郷の三弟を勉めさせ一家再興を計らんと決心し京橋區南町三丁目三番地須屋の弟子となり三年期を勉め上げ明治四十年中獨立して他家の二階を借りつけ日夜勉勵業務に従事したれば技術も漸次上達し現今の場所一戸を構へ弟子三人を抱へて新橋南地の藝妓屋待合、料理屋等に出入して擲なからぬ収入を得る身となりたひ早速三弟を故郷より呼び寄せ長弟隆次は府立中學校を卒業させ今職藝學校に三弟六郎は正則英語學校に入學せしめ三弟の成功する迄は獨身にて顧客大事と務めんと決心の願を遂げて後居る事與風會の知る處となり之れが篤行を表すべく賞状に美事なる朱槓一箱と添へて之長の手を経て同人に交附したりと

●女髪結お直

芝居島森町二女髪結師岡本屋(二)は山形縣南村山郡上の山藩士岡田彌平の長女にして三弟あり父は家祿奉還の役種々の事業に關係したるが、悉く失敗に終り家運衰へたるより同女は十六歳の時東京に出て某貴族院議員の許に奉公せしが、如何もして故郷の三弟を勉めさせ一家再興を計らんと決心し京橋區南町三丁目三番地須屋の弟子となり三年期を勉め上げ明治四十年中獨立して他家の二階を借りつけ日夜勉勵業務に従事したれば技術も漸次上達し現今の場所一戸を構へ弟子三人を抱へて新橋南地の藝妓屋待合、料理屋等に出入して擲なからぬ収入を得る身となりたひ早速三弟を故郷より呼び寄せ長弟隆次は府立中學校を卒業させ今職藝學校に三弟六郎は正則英語學校に入學せしめ三弟の成功する迄は獨身にて顧客大事と務めんと決心の願を遂げて後居る事與風會の知る處となり之れが篤行を表すべく賞状に美事なる朱槓一箱と添へて之長の手を経て同人に交附したりと

謹迎新新年

舊年中は格別の御愛顧を蒙り難有御禮申上候尙本年も不相變御引立の程希上候

中外化粧品石鹼問屋
雜貨諸油香料問屋
本舖今林磯八商店

東京本所北二葉町十五
北橋區本所南三丁目八
電話東京本所三〇〇八
東京東區東二葉町九

謹迎新新年

山山郷商店

帽子問屋

東京日本橋區馬喰町二丁目
電話浪花四〇〇

謹迎新新年

大阪南區安堂寺町一丁目
電話南四一九七八

香料輸入業 永廣堂



謹迎新年

吾妻たばこ かんざし新程

舊年中は格別御愛顧御引立に預り難有
向本年も倍舊御引立の程願上候

日本橋區馬喰町一丁目
日下部直次郎
電話浪花五四四九番

謹迎新年

直輸入 商料原香芳 部料香澤松

御試用には御立上小分け販賣仕候
品日時表共御申越次新送仕候

り蒙を顧愛御の別格は中年昨
相不も年本尚候上申禮御有難
候上願奉に偏程の立引御變

謹迎新年

本年も不相變
御愛顧御引立を
願上候

小間物卸商
金子次郎吉



謹迎新年

昨年中は格別の御愛顧御引立に預り
難有御厚禮申上候
向本年も不相變御引立願上候

日本橋區馬喰町四丁目
金ブーケ香水發賣元
龜岡瀧司商店

店員一同

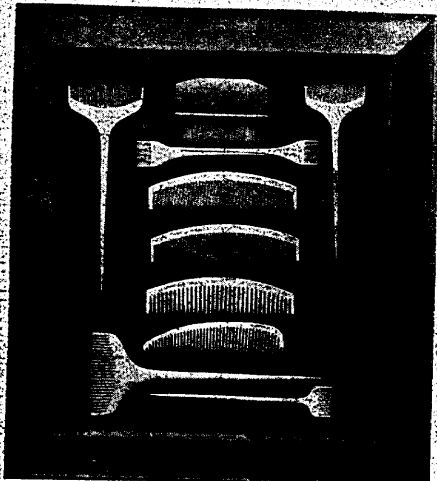
本年も花のやうに美しく香をりも品も總て宜い

芙蓉石鹸

の御愛顧を祈ります

都の北白粉神楽町
柳下藤五郎商店
東京 新山町

謹迎新年



單に日用
石鹼にして
アルボース

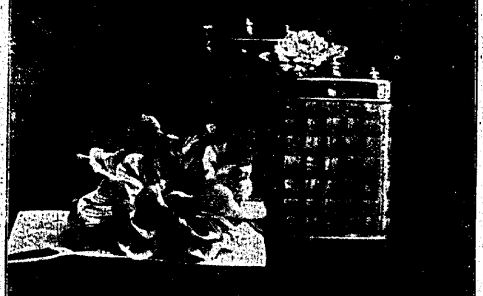
小間物 時給 製木 中津屋本店
中津屋賣場
電話 浪花二二六九番

謹迎新年

舊年中は格別の御愛顧御引立に預り難有御厚禮
申上候向本年も不相變御引立の程願上候

謹迎新年

倍舊の御愛顧御引立願上候



西川式ノ眞價ハ
保険ヲ以テ表シ
製品目録及明細書
御申込次第贈呈ス

特約店一市一店		大御ハ一種拾打以上ニ限リ五分引	
定備品	一個ニ付	替電池	
一號探見	二十七錢	九	錢
二號同	二十二錢	七	錢
三號同	十八錢	五	錢
一號懐中	二十二錢	七	錢
二號同	十八錢	五	錢
紐付同	四十錢	七	錢
大頭同	二十八錢	七	錢
總レンズ同	二十八錢	七	錢
プローチ電燈	四十錢	七	錢
花カンザン同	四十錢	七	錢
自轉車用同	一圓二十錢	九	錢
御注文ハ前金代金引換ハ二割以上手附金ヲ要ス			
色模	白銀	電球	ニケ川
入	タンタラム	三ケ用	
同	同上オスラム	五錢	
一	ゴード付	八錢	
段直	成可一打以上		
文注御	成可一打以上		
荷	成可一打以上		
費造	成可一打以上		
箱代費	成可一打以上		
拾圓以上	成可一打以上		
不	成可一打以上		

西川電機工場販賣部
電話 浪花二二六九番

謹迎新年 眼鏡各種 ナイフ小刀鉄類 時計指輪類 磁石類 扇類 金銀小間物類 強勉別特

東京市横山町三丁目十番地 杉山與兵衛 振替東京九番六番

袋物問屋 栗谷商店 乙番三十六百六千一花浪話電

化粧品製造業 香花園 東京市本所區小泉町六番地

女流向贈答品

▲時節向の半襟、襟掛ける細い切れにも随分馬鹿に出来たり位高いものもある、同類でも四五番目の細い織つた半襟程安いのもある、不潔から不得已で小買も安くして買らうといふ考へ、蓋が安い割に見栄のよい品を作り出した女中衆への心附けに相當した三四十銭から五圓位まで段々幾何でもある、刺繍模様のは二圓位から上、総しぼりが三圓以上

▲其他の附屬品、ズボン、ハイカラな物を専門の店でも求めになるには五圓以上十圓のスカート(絹織、駱駝織、シホンベルベット等)から、手袋、ヘイピン、指輪、香水、石鹸、白粉、クリーム、化粧水、紅、化粧箱、ハンケチと色々値段に從つて

贈答には二圓から五圓、同じ石入りが三圓位から十圓、ピンは石入り一圓から五圓、目立たない爲には石入りでない黒のピンがある

▲化粧品の一束、前に挙げた化粧品の中で香水は二圓から十五圓、石鹸一箱三圓入六十圓から七圓迄、其他の小物は一圓十圓から上は希望みに隨

新一年紙の上の花子寶



山形縣置郡小松山岸孝助の君子 右より女二子、女四子、女三子、女五子、(孝助)男二君

謹迎新年 本島産 肥前産 壹岐産 肥後産 薩摩産 其他各種 右の外油類各種販賣仕居候間多少に不拘伺 幸御用命仰付られ度奉願上候 東京市日本橋區本町三丁目二十一番地 大阪屋 松澤孫八商店 電話長本局百五十四番 振替口座東京四六五番

謹迎新年



東京市京橋區 南小田原町 製造元 石黒尚天堂 電話長本局一七〇七番 電話東京二五〇五番 東京市日本橋區 丸見屋商店 電話長本局四四四八番 電話東京七二〇番

謹迎新年

美術花簪造花 一切製造御商 杉山房吉商店 東京市浅草區瓦町二十八番地

謹迎新年

白髪 赤毛 赤毛染の 井上健太郎 東京市本所區本町三丁目二十七番地 電話長本局二七〇番

▲伊太利の理髪業、理髪業は、流行の變化し易いので、方法の分権なるとの爲めに、莫慮してあつて、

▲伊太利の理髪業、理髪業は、流行の變化し易いので、方法の分権なるとの爲めに、莫慮してあつて、

▲紙入と煙草入、何れも召に纏模様のしつかり更紗の織りの織いもので七十銭か一圓五十銭、商人が「あんころ」といふ手提袋も召か大島も召で一圓八十銭位から三圓煙草入が七八十銭から二圓五十銭が

▲挿桶とピン、我が第三期に入つて以来御遠慮申姿を隠した石入りが續續出る様になつて、桶はゴム無地物一枚一圓前後、藍甲又は藍ひ藍甲の

▲挿桶とピン、我が第三期に入つて以来御遠慮申姿を隠した石入りが續續出る様になつて、桶はゴム無地物一枚一圓前後、藍甲又は藍ひ藍甲の

▲挿桶とピン、我が第三期に入つて以来御遠慮申姿を隠した石入りが續續出る様になつて、桶はゴム無地物一枚一圓前後、藍甲又は藍ひ藍甲の

相變らず

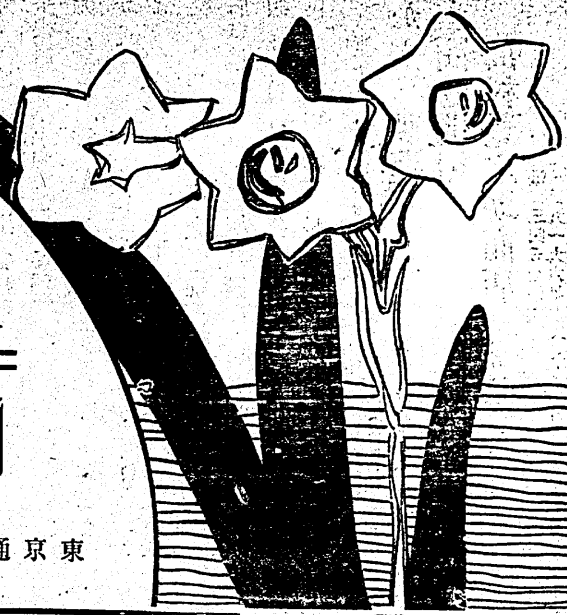
水品晶白粉 水品晶石鹼

御愛顧御引立の程上候

電浪八〇七番

大和屋商店

東京通鹽町



謹而迎新年

御諒闇中賀詞御遠慮致候

昨年中ハ種々御引立ヲ蒙リ難有御厚禮申上候
尚ホ本年モ不相變御愛顧ノ程伏而奉願上候 敬白

東京市日本橋區橫山町一丁目三番地

龜甲問屋

上總屋

加木原傳兵衛

電話浪花三五七五番 電話キハラ
支店 東京市日本橋區橫山町一丁目四番地

小問物卸商

支店 満田要吉

鹽甲瑠璃珠
藤繪類張物
ゴム類各種
御筭管類

都合に依り一時中止致し居り候千代ぬれ羽儀各位の
御希冀に依り其の筋の手紙を了し販賣開始致し候間何
卒不拘多少御購求の榮を賜り度紙上を以て謹告仕候

元祿市松形箱入

千代ぬれ羽を

販賣致しますから不相變

何卒御愛用を願ひます

●賣捌店は全國到處にあり

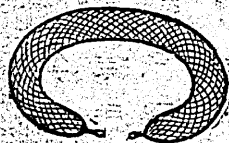


東京市日本橋區橫山町一丁目四番地
松榮堂重部右衛門
電話三七八七・三七八七
電話一八二六五



謹迎新年

ハカイラ前髪眞



金網製
ヘーヤロール

東京府八王子町新町
豊泉戸七商店

電話三三二六番
電話東京一〇八九番

謹迎新年
舊年中ハ格別ノ御愛顧ヲ蒙リ難有御禮申上候
尚本年モ不相變御引立ノ程偏ニ奉願上候 敬白
吾妻留本舗
東京市雨國矢之倉町十四番地

町田駒吉

どなたに伺つても

- 顔が荒れてこまる
- 手先がガサ／＼する
- 白粉が附らない
- 色艶が悪くなる

然し御安心下さい

ライラック

エメラ化粧水

美顔術實驗有効!!

さへお用ひになれば

- お顔は何時でも艶々
- 手先や肌は玉のやうに
- 思ふ儘のお化粧できて

何時でも若々しい

お姿で居られます

▼三種始めの處に販賣す

謹迎新年

昨年中は格別の御引立を蒙り難有御禮申上候
尚は本年も不相變御引立の程願上候

營業品目録

- 木櫛類 お六竹唐櫛類
- 束髮櫛及び輪櫛類 各種
- コムピン鐵ピン夜會ピン 各種
- 時繪櫛 并組物 各種
- コム櫛横櫛田保櫛 各種
- 夜會かん元結止お下止 各種
- 鋼田保金前髮止 各種
- 洋銀 かん 各種
- 指輪七々子指皮 各種
- 正田絞りの手から類 各種
- 花かん類 花根掛 各種
- 丸くけ細物根掛 各種
- 玉根掛コム玉石玉根掛 各種
- 元結香油練油 各種
- かもヒスギ毛附類 各種
- まげ 形類
- 紅おしろい 齒磨 各種
- 眉はけ齒ブラシ及楊枝類
- 額縁 鏡 懷中鏡 各種
- 葛引類 丈長 各種

小間物問屋

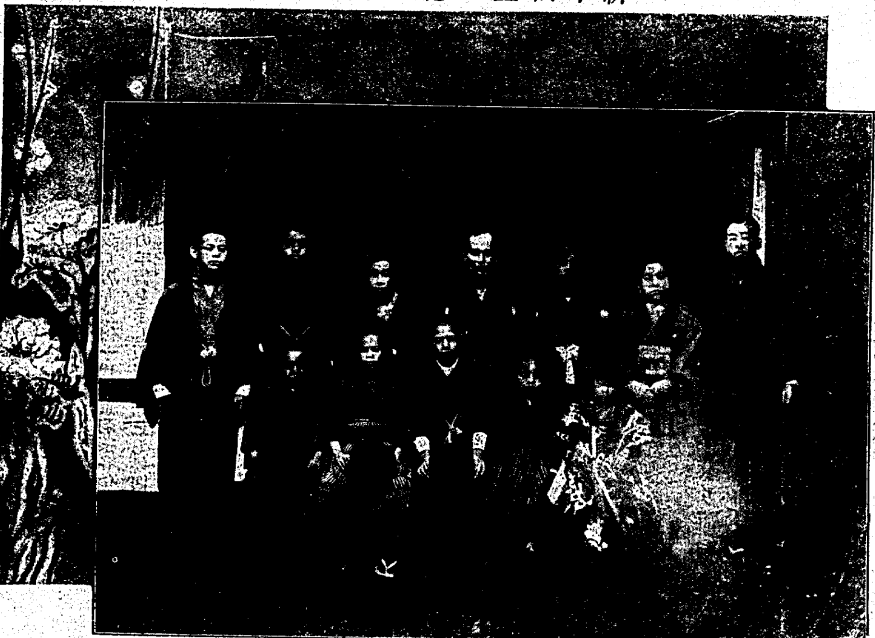
島村覺之助商店

電話三四五七番
振替九一九六番

雷電爲牛の車

今村 次郎連記
雷電爲牛の車
雲州島根郡松江十八萬六千石、松平出羽守様のお抱え雷電爲牛の車、寛政の時分には雷電といふが東西にあつた、雷電爲牛の車は幕の内にあつて、西の十兩下を取つて居りましたのが雷電爲牛の車と申しました、此の爲牛の車といふ人は信州小諸の在千代田村といふ處の生れで、幼名を爲五郎といつて、十九の時に方量が勝れて居りますので村内で角力でもありまると誰も爲五郎の對手になる者がなない位、夫から追々角力になりたいといふ念を起して、親父に相談をすると、親父は水呑百姓で、此方に居ても仕方がないから、江戸へ行つて角力になれるなら、なるが宜いと淡泊したものでございまして全體なら年寄の處へ便つて行くとか、行司の處へ手紙でも持つて行つて、夫から角力になるのでございまして、そんな事は構はない、江戸へ行つたら直ぐに角力になれるものだと思ふから、少々の路銀を持って、爲五郎は江戸へ出て来る途中、悪奴に居けられ、元々深山の金も持ちませんけれど、ポン引に引掛つたものと見えて、持つて居たものも何も皆奪はれて終つた

新紙の上の花子寶



稱へた、坊ちゃん方は牧野が海賊でも働いたかと、思召しなさいませうが、眞正は具足橋といふのを其の字を見と誤つて、具足橋といふ傳へたので、海の賊と書く「カイナク」と讀ませましたのは間違ひの又間違ひでございます、當人も仕方がないから、殿様の登城する時に、大きな體をして、下馬札などを擔いで供に立つて

かの處で止まつて居るモウ少して堀の中へ片輪落ちて終つ、さうすれば牛諸共にお堀へ飲らなければならん、牛方が大騒ぎやつて、牛の鼻面を引いて掘丁の方へ引出さうとするが、中々動かない、スル／＼片輪がお堀の方へ入つて行くから、ワ／＼いつて騒いで居る、爲五郎を見て、爲ア、可哀想に、モウ些と行かう

氣を注いで曳いて行かねえ、無暗なことをするから牛が怒つて、斯んな處へ飛込んだのだ、此の儘堀へ飲り込んだらどうすることも出来ねえ、飛んだことをする、氣を注いで曳いて行かねえ、牛にやア限らねえ、生て居る者を扱ふにやア、能く勞はつてやらなかりやア往かねえ、馬鹿野郎め」と小言をいはれたが、牛方も立つて見て居る者も驚ろいた、どうだいな驚ろいた方だな、一寸して那の位だから本氣になつたらとの位だからあるか知れねえ、中々五人力や八人力のものぢやアない」と噂をいたして居る其の様子を遠くから見て居りましたのは、其の頃には神田三河町に居た六尺の頭で、三河屋政五郎といふ人頭が少し大ききから人呼んで頼朝の政五郎といふ紳名を取つた、先づ江戸で幾人といふ親方でございませう、其の政五郎が見て居りましたが子分の勘繰といふものに向つて、政とどうだい勘繰那の大きな奴の方は、助とうも恐ろしい方ぢやな、親方、其那やア何處の若い者だ、勘ナニ那ア白銀町の太兵衛の家の若い者でございませう、政、ブーン、銀町の太兵衛の野郎、剛エものを見付けたナ、今見えたぢやアねえか、ア、那處に居る、呼んで来い

行くので、牧野の大男といふ評判に成りました、或一日爲五郎供に加はつて、お堀端まで参りますと、一ばいの人立でワ／＼といふ聲がする、何だらうと思つて様子を見ると、牛が何か腹を立つたか、荷の積んである車を眺めて馳出した途端に、車の片輪がお堀の方へ落掛つて、誠に値

ものなら牛諸共に荷車はお堀の中へ落ちて終つ、牛方も鈍智なことをするぢやアないか、俺が一つ助けてやらう」と突然大へ飛込んで来て、車の腕の處へ兩手を掛け、ヤツといつて力を入れたが、今堀へ奥込まうとした牛車を、ガラ／＼ガラと傍へ引上げ、塵打揚つて、オ、牛方さん、

親方には少と氣極が悪いことがあるんだ、此間留守へ行つて、姉御から無理に金を五兩借りて来て、まだ返さねえんだ、どうかして錢が出来たら持つて行かうと思つてるんだが、今此の下馬先で親方に金を取られた

謹迎新年

髻形製造問屋 茂木仁四郎
東京馬喰町二丁目

謹迎新年

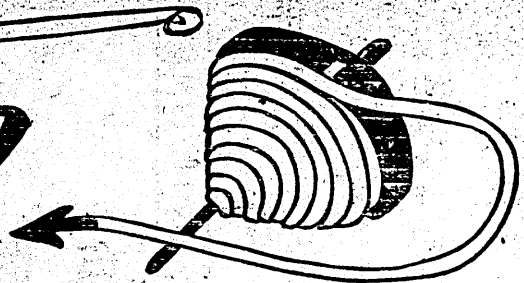
舊年中は種々御厚情を辱ふし千萬難有奉深謝候本年も倍舊の御引立を奉希上候先は年始御挨拶申述度斯の如くに御座候 恐惶謹言
東京日本橋區藥研堀町一番地
萬小間物卸商
信長 鹽瀬 商店

ま巾
かんだ
びみの色本舗とんぼや

郎五磯野天 鋪本

鹼石キマツウ

ノ代ノ格タラ識ヲ實
品良的現安ルレセ認價



日にやア仕方がねえ、手前能くいつて呉んな、尊をんなことやアねえんだ、外に用があるから一寸来て呉んな、又そんなことがあるなら、乃公が何とか親方に話をするから、夫此奴はとうも弱つたな、此處で愚圖愚圖いつたつて仕方がねえから早く行きねえ、尊エ、親分連れて来まして、其太兵衛、何を家の野郎を提まへて話をして居るんだ、其の暇に早く来たなら宜いぢやアねえか、丁度宜い處で逢つたから、手前に一寸話をしやうと思つて呼んだんだ、去と、か親分、一ツ其處の所を御勘辨なすつてお呉んなせエ、ツヒと、もう國が高くなつて終つたんで、全體其のどうも濟みませんけれど、其處をどうか御勘辨なすつて、モウどうか四五日お待ちなすつて、...

べらく寶子花の上紙年新

何の役に立、ません、何でエ名だ、去、五郎といひます、尊、う、ボニヒキに引つ掛るやうな馬鹿でございませうから、相撲にしてやつて下されば奴の方でも有難いので、やア親分、早速連れて来ませうか、尊、う、引張つて来ねえ、ソコで供方の中から爲五郎を連れて参りました、爲五郎は小袖の三枚重ね、銀造りの脇差を一本打込み、大層立派な姿を



實子の店商井武地番五十目丁三町喰馬區橋本日市京東

子孫知 子季 子治 子博 子徳 子芳 子富 子右

うかね、ア、其處に居るお前が爲五郎かい、キコレ、其太兵衛、何を小言をいつてるんだ、去、だつて親分の名前を呼ばにしたり何かしちやア許されえ、尊、宜いから打掛つて、今此處で見て居たが、お堀へ牛車を片輪送らうとした處を、人引上げたが、とうも恐ろしい方だ、ナ、爲五郎にとうも面目ねえだ、尊、二面目ねえことはねえ、大層力があるぢやアねえか、尊、力がありますよ、是までとんや物を持つても、重いと申つたことはねえ、那んな牛車位何でもありません、尊、ウ、今太兵衛と相談をしたが乃公の家へ連れて行かうと思ふが行かねえか、尊、アお前さんと此の太兵衛の奴と何方が剛エ男かね、去、ア、親分を提まへて、奴とは何だ、尊、ア、何、何方が剛エといふ程のことねえか、太兵衛は乃公の子分だから些たア俺の方が宜からうよ、尊、そんならどうかさうしてお買ひ申して、モウ太兵衛の家に居ると毎日、米を少とづ、買ふんで、去、此ん畜生大きな聲をするな、爲、だが昨日まであつたと思ふ筈が失なつたり、佛機が失なつたり、化物屋敷見たやうな家だ、去、此奴口の悪い野郎だ、尊、お前、白い奴だ、爲、私は追従願ひは大嫌ひだ、見た處かお前さんの處ぢやア、米の一升買ひさうもねえから、お前さんの處へ行かう、尊、お前を角力にしてやらうと思ふがどうだ、爲、其ア有難エ、私は信州の在を出る時に、角力になりて、エと思つて出て来た處が、途中でボニヒキといふものに引掛つて、剛エ目に逢つて、發々體にされて、今更

東家堂 消毒濟 高 兔印 本舖 阿部商店

謹迎新年 大倉廣吉

原料販賣 加工販賣

セルロイド板 ゴム 糊

東京市日本橋區馬喰町四丁目三番地

長電話花三三五六番 振東武幸〇七七番

革提 袋物類一式

新宮崎新三郎 山登屋号

東京市日本橋區橋山町三丁目番地

浪花三二一八番 振替口座一四八〇番

謹迎新年 於内國共産品博覽會金牌受領

製造本舖 山崎屋油店

東京上野廣小路

電話下谷千七百三十五番 振替口座東京一八五〇三番

謹 迎 新 年

屋問品粧化驗石外内
鋪木鱸石浮ルナヨシナ

清 水 開 花 堂 商 店

電話三二六七番

謹みて

弊店は茲に
平素各位の御愛顧
深きを拜謝仕り

併て
向本年も倍舊の
御引立を奉願上

振東四一三〇番

やア三河町の政五郎といふ人は剛直
者だ、汝も宜え處へ行つて仕合せだ
と、斯う言ふが、いかから、私も宜い
親分の處へ来て有難くと思つて居
た處が、どうも此方の様子を見ると
お前さんは剛直で、どうも少し
待たねえ、外の事なら黙つて居るが
嘔吐といはれる、黙つて居られねえ
百人でも三百人でも子分を持つて居
る政五郎が、嘔吐を吐いてやア、何
えが、何ぞ乃公が嘔吐を吐いた、何
ぞつて眞正に剛直で嘔吐を吐いた、何
ぞ吐きた、何處といつて分らない



實子の君誠重田前町關縣卓岐
君公保(右) 子秀(左上) 子利 君誠元 君誠一 (氏誠直)

仕方がねえ、角力になることも出来
ねえかと思つて居た處を、お前さん
が角力にして呉れるといふなら、此
んな嬉しいことはない、どうか一
お願ひ申してエ、といふので政五郎
が家へ連れて來ましたが、其の頃
ひ政五郎親分といつては大したもの
で始居候の十八や十五人は居る、
鬼のやうな奴がゴロくして居る中
へ入つて、爲五郎世話になつて居た
が、何處へも連れて出ない、只旨い
物を取つては食はせる、酒も好きな
様子だから、外
の者には飲せな
い、爲五郎に
は、はい、い、飲
まして呉れる、
爲五郎喜とびさ
うなものだが喜
こばない、或一
日不満足な顔を
して、ソソリク
二階から下りて
來た、眞爲、と
うした身でも
悪いが、溜息を
吐いて、別に
身體は悪くはね
えがね、私はど
うもガツカリし
て終つた、其何
ぞガツカリした
身、人の話しか

女辛い修行でもするから、角力にな
りてエと思つて圖から出て來たんだ
夫を角力にしてやるといひながら、
して呉れねえから嘔吐といふのだ
ア、ハ、ハ、話さねえから手前
がさう悪くはない、無理はねえ、
かまきや、先刻大丸から持つて來た
物を爲に見せてやんな、女房おまき
がニコク、笑ながら出て來て、爲
や、何だつてお前さんにそんなこと
をいふのだ、爲、そんなことをいふ
たつて、分らないからいふんだ、思
ひながら、お前さんに惚れてるね、馬鹿

なことをいひで、親方はモ
ウ疾からお前を角力にしてやるとい
つて居るんだが、浦風の處へ連れ
て行くにしても、そんな扮装やア
親方の顔汚しになる、お前さん、扮
装から作らへなければならぬ、お
近所の古着屋へ行つて買ふといつた
處、お前さんのやうな大きな身體の者
に合ふ着物はなし、夫から大丸へ新
らしいのを眺らへて、着物から帯か
ら羽織まで、ソツクリ出來て來た處
だ、是からお前に之を着せて、家の
類が出來たやア、ないか、眞成程是
やア剛氣な物を造れえと呉れた、有
難うことだ、是なら別に差かしい
ともなからうさ、差かしいところか
立派なものだ、爲、お前さん、苦
しい處を氣の毒だね、眞氣の毒
で宜いや、苦しいだけ計だ、爲、夫
やア直ぐに之を着て出掛けやうか
ア、ア、ア、今下駄が出來て來る
爲、ハ、ア、ア、い、お前のやうな
大きな足の者の履く下駄は出來や
ア、ええから、想々眺らへたのだ、爲、夫
は、どうも何か
ら何まで有難
う存じます、
今に私が大圓
になった時に
思返しするの
から、どうか夫
を、おまき、
買ひて、
爲、ハ、ア、ア、
聞て乃公ア、
し、い、い、
とが面白いや
大圓になつた
ら思返しす
ると、其の了
簡でなけりや
ア、良い角力取
りにはなれ
エ、と之から
政五郎が萬事
を、之が寛政無比類の力士に相
成る、雷電爲右衛門出世の櫓、牛車
引止めといふ一席

親方が一緒に附て、本郷の浦風の
處へ行く心算で、其れをお前が
嘔吐だなどといふから、親方も怒
るんやア、ないか、爲、ハ、ア、夫や
ア、何か、斯うな扮装をして行く、
家の政五郎さんの顔に拘はるから、
着物を作らへて呉れたのかい、
う、爲、夫は氣の毒なことだ、そん
なことを知らねえで、今のやうなこ
とをいふたが、どうぞ辨して、お
んなせ、おんな着物だか、ママ見
せて買ひて、女房のおまき、
お前さんに惚れてるね、馬鹿

謹 賀 新 年

日本五石 鹼
シブホ浮石 鹼
實用三石 鹼
ハリー洗粉

店約特
五十ノ二十町麹區谷四市京東
號屋出の日
郎五鐵上井
番五二町番話電
番九七九二一東業儲

謹 迎 新 年

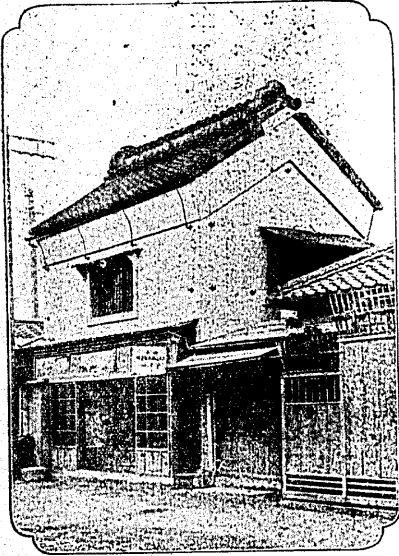
恭迎新年
昨年中は格別の御引立を蒙り難有御厚禮
申上候向は本年も不相變御引立願上候

弊店は常に有名化粧品を揃へ顧客に
忠實に薄利多賣を主として御用命に
應ず

洗濯石鹼
船來四本針全部取揃申候
羊印メリケン針
長短共三人荷致し候二付御用命チ乞
東京市横山町二丁目
本國特約店 **岡島新太郎**
電話口七七一七
電話花四六二六番

皇 泉 堂 製 造 販 賣
御用の向は多少に不拘御報次第直に御
仕候
考備快泉堂製造販賣
中田區三河町一丁目十三番
電話本番三三三三

● 學理的 高等美髮料 コクリコ ちくせ毛直し



部業營店商平三 舖本
八ノ二町盤常川深京東

本料は醫學士五名が合議の上優等材料を精選して調へた高等美髮料でございます。從來御在する毛髮料には、直ぐ毛が赤くなりまして、それ許りでなく終ひには、毛が折れてしまふやうな無責任な一時的敷しものが脚くございませぬ。そこで弊店で眞實の良品を調へたいと思ひまして、佛國巴里で最近流行の美髮料を研究参酌いたし本

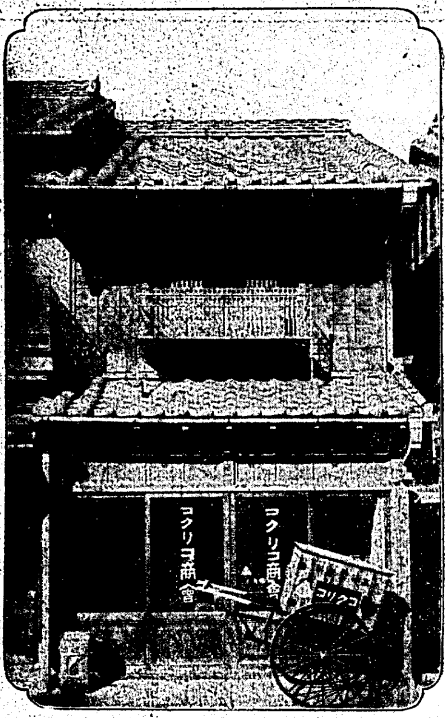
本料は一面の中にA洗髮液と細香油の二種になつて居ります。下記の御用法に依りて二種合せお召しを願ふので、一種許りでは効めが薄うございませぬ、それと云ふのも、ちやんと學理に適ふやう調へてある、所謂、欺しのない眞實な品である。

せとなりませぬ。硬い毛の方は程しくお氣の召すやうになつて居ります。軟らかな方は、お思ひ遊ばすとほり、おつからとこしもつきお立派な美髮料が能きます。

赤い毛の方などは、一度でそれはそれは黒い黒い光澤が出て鳥の濡羽色はあらか雲の紫のやうにかなりです。そして、佛國お氣のまゝの美しい型が出来ます。

謹 迎 新 年

昨年中は格別の御愛顧を蒙り日増に盛大に赴き候段有難御禮申上候尙本年も不相變御引立の程奉願上候



會商コリクコ 元賣發
三十ノ二町山横區橋本日本京東

まするやう藥學士の方々が壹箇年餘の苦心をいたされ材料を選み、新發見の高貴の品を配合いたし、それに、最も高尚な香精を加へて、商賈でなく只管貴婦人紳士様方の御爲めを計りたい一心で調へました品でございます。すから一度御召し下さいませば、必然、只今迄のお美しいお髪も尙一層、天然の美を發揮しお立派なお姿になることは、固く保證して申し上げて置ま

意匠登録

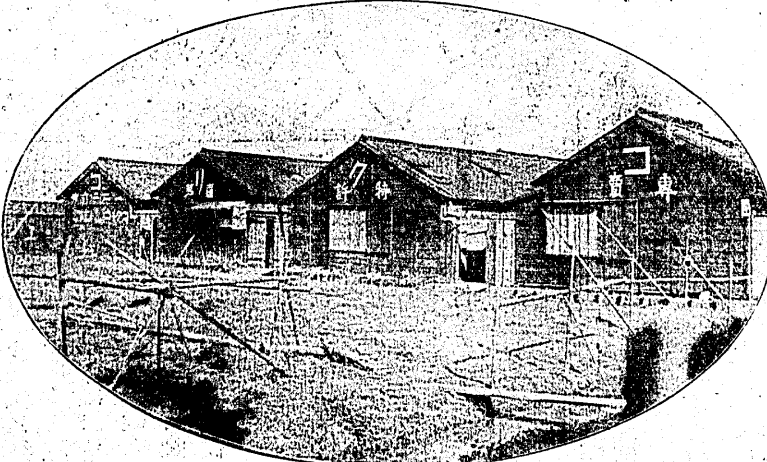


號五七〇三第可認應視警
號六二二一第願出許特賣專

るからでございます。あくせやお硬い毛の方やお軟かすぎる方で御心配になつた方が御在ませうが、此のCOQUERICOをお召し遊ばせば、もう大丈夫御安心なもので。あくせの方は、すーっとお氣持のよいほとお目の前で治り、然る其時許りでなく長い五十時間以上、保つて居ります。そして、平素お召用となされれば、ツマリ恐らく、美しいお氣のまゝの美しい、

の香料會社と特約してとりませぬ香料の良いたこと、お洗ひのとき、お髪結ひ、朝夕のお手入れのときなどお顔に染る奥床しい香がいたし、宛然、百花の園に逍遙遊ばしたやうに、何なにお心持が宜くおなりませう。そして、長時間保ちますしお髪解きの節にも、なほ、好い残り香がいたし、他人様へは、勿論、御自分でも

▲餘り能く効くと申しても、決してお髪やお顔を害すやうな事はありませぬ、その證據に警視廳の嚴密な御試験の上最良品であるといふ、お認めが、あるのみならず、既に朝野の御賞讃を頂戴して居ります。是非一度多少に拘らず御用命の程を願上



場工造製品粧化平三
田新村砂郡葛南府京東

諒闇中に付

年賀欽禮仕候

改曆に際し謹みて年來の御厚情を拜謝し

併せて各位の御清福を祈ると共に尙將來

一層の御眷顧御引立伏て奉懇願候 敬白

東京市日本橋區馬喰町四丁目

金銀製小間物裝飾品
アルミ製小間物裝飾品
セルロイド束髮用品
蒔畫 櫛 笄 類

卸商

宮本庄七商店

電話特浪花一七一九番
振替口座東京一〇〇三二番



改名謹告

肅啓 酷寒之砌各位愈々御隆昌
奉賀上候陳者毎々格別之御愛顧
御引立を蒙り候段厚く御禮申上
候扱て私儀今般都合に依り祖先
の名儀を繼承し昌三と改名仕り
益々奮勵平素の御眷顧に酬ひ度
茲に以紙上改名御披露仕候敬白

民藏改ノ

高津昌三

東京淺草西島越
電下 二九五二番
振東一五八〇六番

相變らず

東京形
ニコニコ形
時好形

御引立を

特約店

若松屋支店
浅井本一四七番
振東六四七番

特約店

近源商店
高知市藤屋町
福島屋小間物店
電話六三三五番

東京製物化粧品會報

御園白粉

御園白粉及御園化粧品は御料に召させ玉ふ本邦唯一完全高貴御化粧品にして専ら實質本位の製法に苦心を重ね取分け皮膚の衛生に留意し容器及體裁を飾らず一切の冗費を白粉其物に集中し弘く化粧品界に貢獻せん事を期せり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば完全此上なく永久の保存と陽氣の變遷に堪へ効能の變る事無く濃淡自在乗りよく伸びよく斑點なく附き肌を透して自然の生彩を現はす事化粧品界の記録を破りたる模範品なり。

- ねり家 御園白粉
- 水白粉 御園の月
- 粉白粉 御園の花
- 清うらみ粉 御園なでしこ
- 濃厚化粧水 御四季の花
- 高貴化粧下 御園の露
- 濃化粧粉下 御園の蕾
- 洋風化粧下 御園のム
- 芳き清香水 御園の香精
- 御化粧香水 御園の橘
- 芳き清水油 御園香油
- 芳き清はみき 御園齒磨

店商屋見丸元賣發 園蝶胡東伊 舖本造製

青任を重んずる安藤井筒堂製晶



特約店

小問物化粧品卸商各店



尙本年も

不相變

御引立を乞ふ



原香 料水 オリヂナル

一滴用香水の元祖

最日 本 高モメント齒磨

時代の要求に應じたる

シカゴ みやげ 象印齒磨

陸海軍御用品



恭しく大正の
新春を迎ふ



本舖(東京) 安藤井筒堂

恭迎大正新春

油、漬、酒

東京本舖 井善

第三次桂内閣

彼といひ此といひ、人物の境界を...

東京府會の活氣

東京府會が監視院に對する...

て、喜悅たらしむるならば、獨り公...

購讀料領收

足らぬとせらるるの恐れを試みた...

改元の第一新春を迎へて愈活躍の好機到るを
顧客各位の祝福と一層の御愛顧とを奉祈候
大正二年一月 ツバメ化粧品 本舖 矢野芳香園

Table with columns for names and amounts (e.g., 金壹圓, 金五拾錢). Includes names like 神田, 泉, 徳藏君, etc.

第九回紙上餘興

賞字採し當選
賞金五十圓宛五名

第十回紙上餘興

賞字採し課題
賞金五十圓宛五名

右は例月末發行の紙上に於ける...

自 然 美 容 之 現 在
優 秀 之 以 來 界 之 震 駭 者



ホーカール液

美 顔 白 味 液

評 判 愈 々 高 々
賣 札 行 き 益 々 盛 々 なる

本 鋪 堀 越 二 八 堂 電 話 浪 花 一 八 七 番

東 京 市 本 橋 區 馬 喰 町 四 丁 目 二 十 三 番 地

感謝

大正第一の新春を

迎ふるに際し

我がクラブ本店一同は

齋戒沐浴謹んで

天恩の鴻大を謝し奉り

併せて
同業各位の萬福と
倍舊の御眷顧を祈り奉る

中山太陽堂
同業各位の萬福と
倍舊の御眷顧を祈り奉る

宣言

弊店ハ取引ノ公正ト製品ノ精良トヲ以テ廣ク江湖ノ大ナル御同情ヲ希フシ、
年々豫想以上ノ大發展ヲ遂ゲテ茲ニ大正第一ノ新春ヲ迎フルヲ得タルハ各位ニ
感謝シ此ノ際更ニ一層ノ奮勵努力ヲ加ヘテ以テ同業者各位並ニ愛用者各位ノ深
厚ナル御同情ニ背カザランコトヲ期シ候

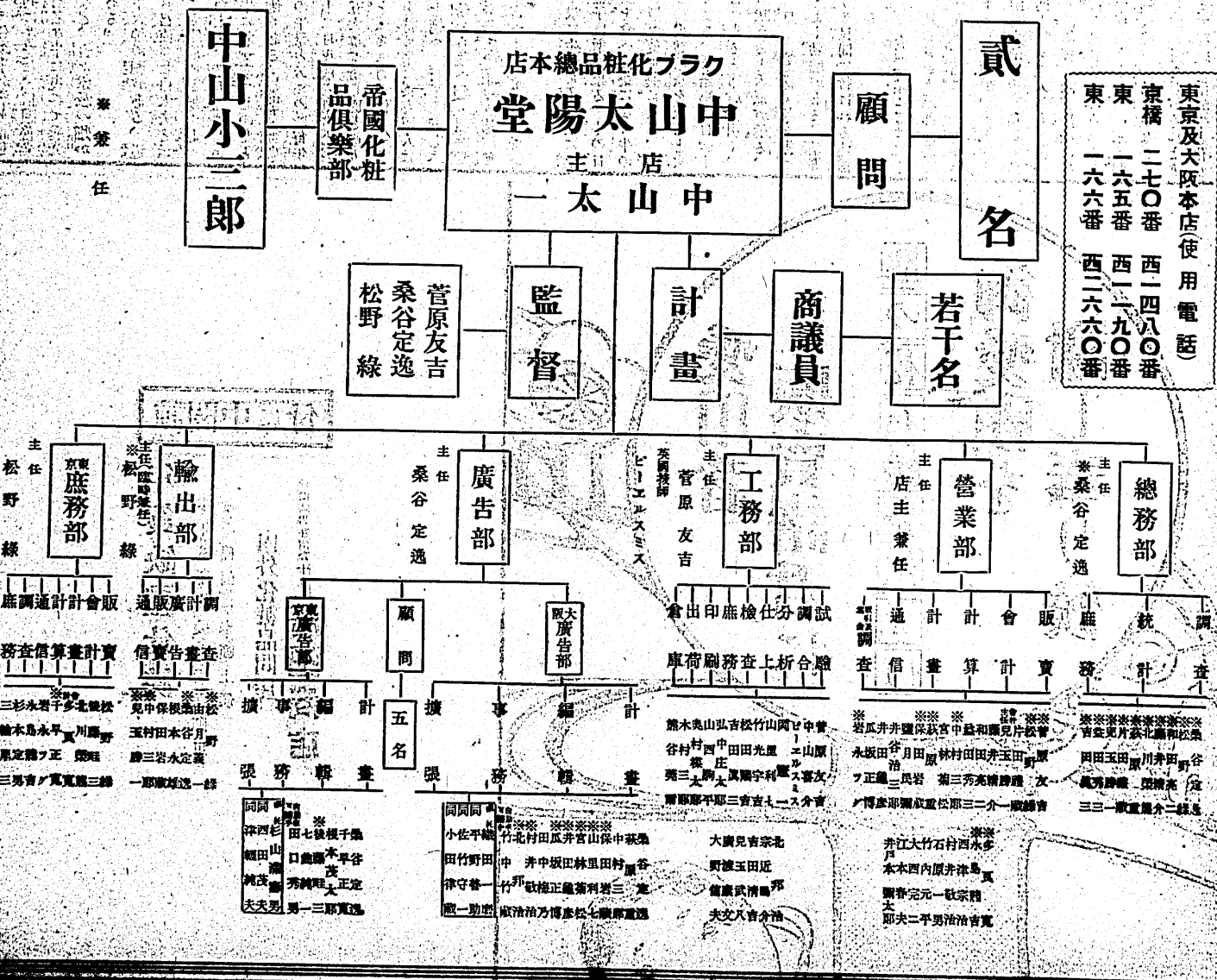
弊店ハ創業以來ノ大方針ニ從ヒテ誠心誠意責任ヲ重ンシ商德義ヲ守リ我ガ化粧
品界ノ積弊ニ對シテハ率先之レガ廓清ヲ圖ルコトヲ同時ニ吾人ト志シテ同シクセラ
ル堅實ナル代理店各位ニ對シテハ常ニ滿腔ノ敬意ト感謝トヲ捧グ同心協力以テ
相互ノ福利ヲ増進センコトヲ期シ候

會多年經營ナル關係、下ニ多大ノ御助力ヲ賜ヘ、商取引ノ健全ニシテ弊店ノ最も價廉スル代
理店各位若シテ年々各地方ニ於テ選定ノ相互ノ利益ヲ増進スベキ或ル新方法ヲ設クテ多年御眷
顧ノ萬一ニ酬フコトヲ計畫中ニ候、運グトモ本年下半季ニハ各地代理店ノ改正ヲ斷行スベキ業
定ニ有之候間、時ニ之ヲ發表可仕候

弊店ハ本年度ニ於テ内部ノ組織ニ一、大刷新ヲ加ヘ以テ事業ノ基礎ニ一層ノ鞏固
ヲ加フルコトヲ同時ニ製品ノ改善ニ付イテハ最新科學ノ精髄ヲ盡シ以テ本邦第一ノ
化粧品タル盛名ニ背カザランコトヲ期シ候

右ハ弊店ガ本年ノ劈頭ニ於テ赤誠ヲ披瀝シテ宣言スル所ニ候、希クハ倍舊ノ
御援助ヲ賜ラン事ヲ

東京及大阪本店(使用電話)
東京 二七〇番 西二四八〇番
東 一六五番 西一九〇番
東 一六六番 西二六六〇番



寒心す可き政治

民力を休養し國力を充實する事及び軍備を充實して國防の完成を期する事は現今我が國に於ける二大政見にして共に幾多の勢力を有し常に時局變遷の動機を作り従つて一般に及ぼす影響も甚だしく故に爲政の任に當るものは其の急務を究め其何れを可とするも定めたる處に依り終始忠實に實行を計り國民をして適從する處を知らしめざるべからざるに近き政治を見るに前内閣の政見は後継者多く之を防禦し政見主義の如何に立派なるに拘らず升は一箇の人氣看板を過ぎずして實行に際しは略ぼ同一也換言すれば前後内閣の施政は何れも對然るに政見に左したる變化なく政局に廣風轉變を見るは國家に誠實を映ける一部爲政者が各種の陰謀を以て政權を爭奪するに因るものにして斯く自己の功名心を目的とする官僚政客の争闘の結果は所謂鯨の争漁夫の利に墜ちずして國民は獨り待望を喰ひ常に適從する處を失ひて損失を蒙る處からざるべし去れば國民も遂に爲政者の背信に憤激し自ら起つて國政に干渉するに到るや必然也彼の英國民が自ら民權を主張し國憲法制定を餘儀なくせしと同様我國民も直接國法の制定に當る時權到來せざるを望み難し而して英國の夫と異り國家により定められたる我祖傳なる憲法に活動する事もならざる當の爲政者何れを以て天下に其罪を謝せんとするかも國民の威力一度爲政者を壓迫する事あらんか國民は押れて事毎に自力を發揮して國政を運用せんと努むるや明かし斯くして一國の施設は常に爲政者と國民との争闘により圓滑を失し國家は

べらく寶子花の上紙年新



賀子の君治保名川目丁三町濱區橋本市京東
子なは 子きゆ 君那一 子かま 子づしりよ右

制度整理効果

遂に不安の中に彷徨せざるべからざるに到らん予望の深望する所以なりと一實業家は慨嘆せり

前内閣に於ける制度整理の内容に就き前時局力者の懸念の如し

△一般會計に於て
 一、千七百二十萬餘圓
 二、千二百七十萬餘圓
 三、千二百八十萬餘圓

豫定なりしが現に大正二年度に於て行はれたる整理より生ずべき歳出削減額又は歳入を増加し得べき金額は三千七百五十八萬八千六百餘圓にして内既に確定せるものは

△一般會計に於て
 一、千七百二十萬餘圓
 二、千二百七十萬餘圓
 三、千二百八十萬餘圓

を行ふべしと聲明しつつあるが此事を桂内閣の創見にあらざるのみならず其實行は決して難事ならずと思はせらるる即ち此場合に於て前内閣が其重要政綱として熱心に計畫したりし制度整理事業の内容を述べて行ふべき業は實に大正二年度に於て行ふべきのみならず引續き大正三年度に於ては之が調査を爲し其完成を期すべき

△特別會計(附特別會計分)

合計 二千八百七十二萬餘圓

にして右の外未だ確定の運びに至らざるは臺灣總督府及其他殖民地特別會計に於ては百八十六萬二千餘圓を削減し得べき見込を立て總額三千七百五十八萬餘圓を得べき豫定なりしなり而も陸軍省所管本年度豫算額は經常部七百六十七萬九千餘圓にして

内補充費其他削減し得べからざる費途に屬する千三百八十八萬餘圓を控除したる殘額は六千二百九十餘萬圓なるが故に假りに一割の整理を行ふとせば六百二十九萬圓(各省の整理率は海軍費の一割五分減を以て居り最小限度のもの約九分を行ひ居る)の節約となるのみ右經常費節約の外同省所管總額削減の額延額三百五十萬餘圓を有するに於て大正二年度に於る天災の形勢を受け一般會計に繰入れらるべき金額減少し居れるも三年度には約四百萬圓の繰入増加を見るべき筈なるが故に其總額の五十萬圓以上上達し得べきことの決して難事ならざるを理解し得らるべし之を要するに前内閣は制度整理事業を斷行するに以て大に誠意を行ふと共に國論の要求せる海軍充實案を實行し日産業發達に關する諸般の施設を經營し進んで財政を鞏固ならしむべき計畫を樹て以て帝國の進運に資せんことを企圖したるものにして其企圖の達せられんとするに際し更迭の已なきに至りしものなり

新内閣の政綱

桂内閣の新政綱なるもの、要領左の如くなるべし

一、陸軍省所管本年度豫算額を削減し得べき見込を立て總額三千七百五十八萬餘圓を得べき豫定なりしなり而も陸軍省所管本年度豫算額は經常部七百六十七萬九千餘圓にして

二、陸軍省所管本年度豫算額は經常部七百六十七萬九千餘圓にして

三、陸軍省所管本年度豫算額は經常部七百六十七萬九千餘圓にして

悪い香油はぬれ主五の大商店が熱中せる

へ給み試を打一度一非是はれな極の愚もす記に茲を質品かひ番るな何如 油香バナハ

谷下電話 店商田内 元京發 堂眞盛田脇 店商下柳 店商源近 堂王花中田 店支號井松

りあいつし賣販に丸盛てに屋問の處る到屋古名都京くなもぞます申は屋問粧化阪大

共香芳質品 際光の上買許賜 の外想豫 のも賜き良 油香バナハ は績成好

新年初の頭の流行

御紹介申上候

の彦諸屋問西東 らせ迎歡く厚用信

は品飾頭製田内 半堅美優に備 る時を新斬

町越鳥元區草淺市京東 製トイロルセ 商卸造製品飾頭

店商田内

〇二八三管下長電

諒闇中なれば 年賀の辭を廢し

酒向山版部製版
電話本局九百七十九番

カシメ

カシメ

カシメ

カシメ

カシメ

カシメ

謹迎新年

新年中は格別の御愛顧を蒙り難く御禮申上候
本年も不相變御引立の程願上候

美術造花材料卸商

内必要
切手

大に顧客各位に御便益有之候

東京市淺草區駒形町十四番地
三國屋 關口商店

電話 下谷 四一〇五
電話 東京 一六四二番

諒闇中ニ付キ新年之詞御遠慮申シ斯ニ紙上ヲ以テ厚ク客歲中ノ御厚情御引立ヲ謝シ尙當年モ不相變御愛顧之程奉希上候

大正二年一月元旦

菱屋

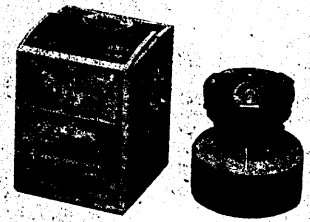
池田藤兵衛

東京日本橋區通油町十三番地

電話 浪花 九百四十三番
電話 銀座 東京 一三六九番



專賣 特許 計
ワフ オイ ツレ ト煉製
封 檢 器 櫃 詰
壽 美 禮 美 飾
いろいろ



封檢器櫃詰 第貳百七十六號 發賣廣告
特許 壽美禮 おしろい (封檢器)
●發賣のすみれおしろいは、最も新鮮なる原料と新式なる製法とに寄リ品質の佳良なるは勿論即座の化粧に適し使用最も便にして濃くも淡くも自由に於て多量の花精を含み潤滑なる芳香を放ち、瓶上り等に用いて爽快な覺えは益々艶を發揮すべし
●封檢器は最近考案せる封檢器輸入なり、使用上開封封檢共に輕便にして一度開後直ちに又た以前の如く封檢する事を有するを以て其封檢するや流動物の洩る事無く日常使用と旅行用とを問はず携帯取扱至極便なり

カシメ

香水 井に 石鹼



●香水大瓶中瓶小瓶ポケット用

●石鹼大形中形小形

米國紐育市コルゲート會社

大瓶全形

製 造 本 舖
(東京兩元町) (兩國橋際)
壽 美 禮 堂
電話本所四百拾番
東京 西側 代理 大 阪 博 功 町 支 店
小 間 物 化 粧 品 各 店 支 店



桂内閣と財政

▲嗚呼せらるゝ勿れ
 桂公の新政内閣は如何なる財政政策を取らんとするか世間特に實業社會が知らんと欲する所は第二次桂内閣が手品の種子に供したる

▲公債政策を今次の内閣に於ても依然採用すべきや否やに在り
 第二次桂内閣の公債政策は一方に於て五千萬圓の還債を爲すと同時に他方に於ては非募債主義を標榜したるに在り而して五千萬圓の還債は桂公の特に重きを置きたる所にして第二次西園寺内閣が或は之れを變更すること無きかに就き非常の神経を極ましたる位なれば来るべき第三次桂内閣に於ても必ず之れを採用するに相違なからん、但し

▲非募債主義に就いては第二次桂内閣の態度既に購取を極めたり蓋し(一)第二次桂内閣は表面に於てこそ非募債主義を標榜したれ内實は預金部を借入し各種資金を濫用し政府証券の濫發等に依り公債募集と同様の措置を取り實際上非募債主義を破壊したるのみならず(二)財政整理を看板として立ちたる第二次桂内閣は日時の経過と共に其の假面を落し其の晩年に方しては盛に放漫なる財政政策を立て、財政案の端々を露し或は朝鮮事業公債を始め各種の借金事業を計畫し極端なる大募債主義を取らんとする所也、此事實より見れば亦らんとする第三次桂内閣は或は非募債主義を標榜せざるやも知るべからず否ん第三次桂内閣は其の職員に好んで大風扇を扇ぐる後藤男あり好んで事を企つる仲小路氏あり巧みに浮腫なる人心に迎合して林屋を喜ばしむる若槻氏あり等購買の購買

新紙の上の花子寶



寶子の君作藤上井町磯大縣川奈神
 男治光男二 子いあ女二 子さあ女長 子うて女三 君一左男長

▲四分利標準の政策を如何にすべきか四分公債は第二次桂内閣が誇りて以て其の功績の一となしたることを、之れをして終始あらしむるは桂公の大責任たらざるべからず當専桂

らざるべからざる理由無しと主張し時に四分利政策の先容を爲しつゝあり、雖も桂公が斯かる事に藉口するは斷じて許容すること能はず蓋し四分利公債借換當時の宣言に依れば四分利政策は一時的のものにあらず我國の金利を永久に四分標準となれば也桂公にして苟くも責任を知るの政治家ならんば又苟くも記憶力の健全なる人ならば恐らくは四分利政策を抛棄せざるならん桂公今後の措置は舉國民の興味を以て見んとする所なり官債系の漏したる所によりれば第三次桂内閣は西園寺内閣の

▲減稅政策を抛棄し制度整理を踏襲する計畫なりと云ふ、制度整理は舉國一致の希望にして今日最善の政策たるに於て第三次桂内閣は之れを踏襲するは必然の事たらざるべからず但し制度整理と共に舉國民の希望たる減稅計畫を抛棄せんとするは何の意たるかを解する能はず官債派は頗る今日には減稅を爲すべき場合にあらざり主として併し作らるるの負荷は國民の久しく苦痛としたる所加ふるに租稅の重課は物價騰貴の原因となりて二重に國民を苦しむるに於て租稅の輕減は最先最急の施設たらざるべからず西園寺内閣が一千二百五十餘萬圓の減稅を企てたる一柱に見る所ありたれば也、然るに桂内閣減稅を以て不急の施設と爲し減稅計畫を抛棄せんとす知らず彼等は國民の苦痛を以て問題と爲すに足らずと爲すか將た國民を納稅の標視し重稅に苦しむるを以て國民當然の義務なり、爲すか此一事また以て官債派の眼中國民無きを知るべからずや

無脂肪 酸 油 香ノボケア

時勢は正に斯かる
 純粹椿製毛髮料
 アケボノ香油を
 要求せらる



頭髮に最も有害なる有機酸を脱したる天下の絶品なれば無脂肪酸と命名し廣く海外までも盛んに輸出す
 特約店 市内化粧品問屋各店

園花榮田北 京東 元賣發

謹迎新

東洋製糖株式會社
電話 四六四六番

賞牌受領茶筒

宇田龜太郎

電話 四六四六番

謹迎新

本品は姿見兼用優美看板なるが故に他の諸看板より益愛用せらる



浅草藏前通
鏡間屋 萬屋年松
電話 下谷九五八

謹迎新

舊年中は格別の御愛顧を蒙り難有御禮申上候向本年も不相變御引立の程奉懇願候

風鈴附屬一切一商卸
硝子玩具一切一商卸

探見 電燈發賣元
懷中 電燈發賣元

東京日本橋區馬場町一丁目川岸
電話 東京六六四九番

屠蘇と雑煮

屠蘇を飲むのに、年少者から始める事は支那の風俗であつて、和訓栞に「幼者は年を得れば先だちて飲み、老人は年を失へば後れて飲む由、屠蘇新書に見え、屠蘇は歳始に不運を救ふるに似たりといひて、自家には長者より飲み初むるとある、雑煮の事も屠蘇に見えて居るが、餅に大根は年を延びし、餅を固むるの義なりとある、固固の具は、大根一杯、餅申則二杯、押鮎一杯、煮鹽一杯、猪突一杯(これは田島を以て代ふる)といつてある、すべて年の始めを祝して、一年の幸を祈る意を含んで居るのである。

新紙年の上の花子實



山形縣鮎海郡松崎町三浦屋商店の子實

右列より女子三女、女子二女、女子一女、男子七歳、男子一歳、男子五歳、男子六歳、男子七歳、男子八歳、男子九歳、男子十歳、男子十一歳、男子十二歳、男子十三歳、男子十四歳、男子十五歳、男子十六歳、男子十七歳、男子十八歳、男子十九歳、男子二十歳、男子二十一歳、男子二十二歳、男子二十三歳、男子二十四歳、男子二十五歳、男子二十六歳、男子二十七歳、男子二十八歳、男子二十九歳、男子三十歳、男子三十一歳、男子三十二歳、男子三十三歳、男子三十四歳、男子三十五歳、男子三十六歳、男子三十七歳、男子三十八歳、男子三十九歳、男子四十歳、男子四十一歳、男子四十二歳、男子四十三歳、男子四十四歳、男子四十五歳、男子四十六歳、男子四十七歳、男子四十八歳、男子四十九歳、男子五十歳、男子五十一歳、男子五十二歳、男子五十三歳、男子五十四歳、男子五十五歳、男子五十六歳、男子五十七歳、男子五十八歳、男子五十九歳、男子六十歳、男子六十一歳、男子六十二歳、男子六十三歳、男子六十四歳、男子六十五歳、男子六十六歳、男子六十七歳、男子六十八歳、男子六十九歳、男子七十歳、男子七十一歳、男子七十二歳、男子七十三歳、男子七十四歳、男子七十五歳、男子七十六歳、男子七十七歳、男子七十八歳、男子七十九歳、男子八十歳、男子八十一歳、男子八十二歳、男子八十三歳、男子八十四歳、男子八十五歳、男子八十六歳、男子八十七歳、男子八十八歳、男子八十九歳、男子九十歳、男子九十一歳、男子九十二歳、男子九十三歳、男子九十四歳、男子九十五歳、男子九十六歳、男子九十七歳、男子九十八歳、男子九十九歳、男子百歳

大統領年金

▲カネキの財閥の創設
▲カネキの年終身五萬圓
▲カネキの遺志に基きて創設せられたるカネキ財團は十一月二十一日の晩、今日以前の遺囑、大統領及び大統領の死せし者は其未亡人にして再婚せざる者及び今日以後に再婚せざる者、大統領の死後は其再婚せざる未亡人に終身年金一人宛二萬五千圓即ち我が五萬圓宛を米國政府が遺囑大統領及び其の夫人に對しての年金を可決し其の支出を承認する迄毎年同額の支拂を生計上に金の累なく其の在職年間に得たる公共知識を一國の利益の爲め盡し得しむる事を可決し之と同時に此の年金は之を受くべき者の申込みを待たずして財團より進んで送附すべき事を議決したり抑附すべき事を議決したり抑抑此の遺囑カネキ氏が從來多額の金を投じて國家社會に善を布くの原因は實に彼の「富の福音」中に散見する「人は狼りに富を積み得たりとて満足して以て富たりと爲す可からず彼等は山の如く積み得たる富も一朝死の手に勝はれては持ち行かざるものならず然るに彼が其富を自由に扱ふ權利と自由を有したる日に有益に用ひされば死して人の財りを受くべし、されば心に銘じて生るる中に勤めを盡し世の爲め身の爲め眠らざらむべし」との意を以て座右の銘とし居れるに據れるなりと而して今回の發表に依り此年金を受くる者は前大統領の未亡人としてハンツァミンハリソン氏未亡人ガラツア、イクリングランド氏未亡人なるが目下プリンストンに居るクイグランド未亡人は先日再婚の意ある事を宣言したる事あれば果して此年金を受るや否は未定なるが本年三月退職に決し居るサイアム、タフト氏はその退職後直に此五萬圓を受くる筈なり

謹迎新

○肌や顔のアレを防ぎ
○色を白くキメを細かに
○自然の美想を俄に現す

美粧料 錦粧水

相變らず御用命の程伏て希願ふ

製造 合資會社 錦粧堂 堀田商店
東京本所區香妻橋際
電話 本所三六八七番 東京三二〇九番

歐米に於て盛んに流行しつつある
頭飾品は今や東京に
大正巻 の名稱を附して顯る

其特長とする處
多くして田保止
の必要更になし
只大正巻頭飾品
にて事足る流行
經濟向の珍品なり

※加工にて星鏡及ダイヤ新にて製ドトルセ



商卸類物飾頭花造生富
三町喰馬區橋本日京東
店商郎三卯上井

謹迎新

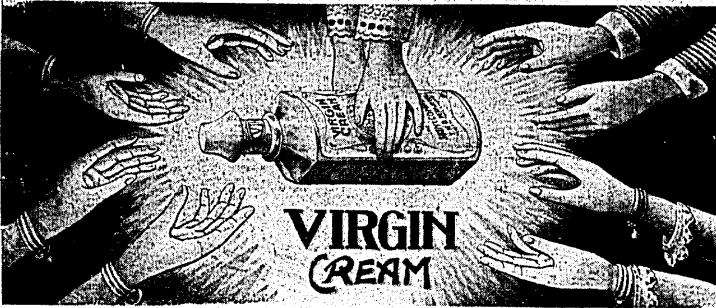


代運店 柳下商店

代運店 田中花王堂

ヴァージン クリーム

皮膚の蟲 日焼等
皮膚に對する凡ての
攻撃に勝つ
凡ての場合に於て皮膚
を優美にするべく最も



著しき効果あり
最優の材料を用ひ最新
の良法に依りて製せら
る
之等の事實に於て「ヴァ
ージン・クリーム」は東
西に於て「ナラビ」なき
價値を有す

日本一販賣

東京銀座

尾幸商店

國の色

國の色は其の歴史の
第一に在りて居る
白く清潔に用ひ
國々あつて其の國色
を赤とすれば支那は黄である
人は清純を喜ぶ佛人は明色を好
ひ、而して日本は何かと云つたら
人は白だといひ或人は緑だといふた
▲日本の國旗は白地であるが、自
變り易いと言つて好まぬ者が多
い、日の丸は赤だが赤は風がは
好みである、日
本には「草主の
好な赤烏帽子」
といふ俚語があ
るではないか。
▲緑を好むのは
最近の日本人で
ある、しかし衣
裳まで 緑を用
ふる程度に此色
を愛して居るも
のではない、其
から言へば眞色
は最も好き不
好きのない色であ
る。
▲娘の兒が眞色
の切れ地を好む
のは日本ばかり
だといふ、其の
實西洋から始め
て日本に來ると眞色が一番
多く目を刺さるさうである。
▲故に英米人などは、日本の眞色と
言つて褒めて居る、實に日本はと
眞色をよく染め出すに上手な國民は
ないと言ふ。
▲然るにこのグレイはライト、明と
セド、暗と、中間である、故にオ
ブスキューノチー(曖昧、不明)のこ
とをグレイネスと言ふさうだ、す
るし例の「ジャパニクス・グレイ」も
暗色又は不得要な日本といふ意
味に聯想されるのか、眞色にされ

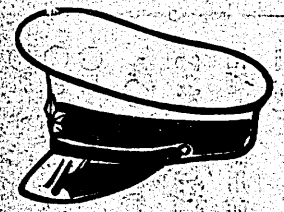
新紙年花の寶子



青森市大町北谷龜七の寶子
正實 正雄 正雄 正雄 正雄 正雄 正雄 正雄 正雄 正雄

この分らぬ、實にグレイ千重と
此つてやうたい。
▲昔の希臘人は或る時期に於てグ
レイの状態からライト、セドの列然
たる状態に分れた、此の時期が國民
の人格の覺醒期であつた、一例を
あげると、藝術である、其以前は希臘
人は藝術に對して無關心(インデフ
エレンス、即ちグレイ)であつたの
が此期になつて根に好惡の強烈な
感覺を生じたのであつた。
▲中世紀にすら此の意味の覺醒はあ
る事には外ならぬ。
●巴爾シヤンターク
▲妙花の如き娘軍人
▲向ふ所に敵はなし
今同バルカンの列國が協力して土耳
其老帝國に當る事に至つたにつ
中にもセルビア國民は土耳其に對
て五百年來の深き仇を報いテカン王
の靈魂を慰めるは此機を握りて他
求むべからずとなし、極端なる敵愾
心を起し、土耳其征伐を絶叫する状
向ひ給ひ進退の命令を發せられたの
で士氣は彌が上にも奮起した。
▲萬國連中の紅一點 此のウスタフ
攻撃軍中に、多數の士卒の間に交つ
て眉目清秀の一兵卒があつた、それ
も其の道理、軍裝に其身を堅めては
居るもの、元來女子であつて、ま
だ十八歳のうら若き花の盛りである
これが麗武者の中に居るのであるか
ら、實に萬國連中の紅一點で誰の目
にもつく此武裝美人其名をソフィヤ
父の臨終の枕
頭に侍して何
時かは軍隊の
人となつて、
土國に報復を
試みようと誓
ひをかけた事
がある、其誓
ひを實行する
爲めに今同の
開戦を機會に
軍隊に、身を
投じた次第と
分つた。
▲破格の光榮
に浴す 處が
不思議と云は
ば不思議此の
ソフィヤが加
はつた軍隊の
向ふ所には土
軍の守備隊は一たまりもなく潰走す
るので、誰云ふとなく、此のソフィ
ヤをシヤンタークと呼んで尊敬する
やうになつた、かくて萬國連の向
所風靡してウスタフの軍地は脆くも
陥落した。ソフィヤの不思議なる勇
力は一兵卒の身分ながら皇太子アレ
キサンデル親王殿下の爲めに認めら
れて、破格の光榮に浴した、戦後ウ
スタフの市街を散らすに土耳其住
民亦この名譽を聞き傳へて、行會
婦人も小兒も皆之に敬意を表すと云
ふ有様だといふ。

謹 迎 新 年



軍帽被服二式並に附屬原料
金銀徽章 ボタン 眉庇 顯紐
スベリ皮革毛織物類
東京市日本橋區村松町
三十一番地
山達商店
電話 三三二〇
電話 三三二〇

謹 迎 新 年

尚 併 祈 乞 各 位 之 御 萬 福
併 乞 倍 舊 御 引 立

美 術 小 間 物 卸 商

東京市神田區橋本町一丁目
三浦屋商店
横濱市長者町
三浦屋商店

自赤貴備
三種あり
羊印チツク
は芳香佳良にして品質純良なるが故
流るゝ愛ひなく心身爽快を覺ゆ
關東代理店
東京市日本橋區橋本町三丁目
内外化粧品
柳下藤五郎商店

諒閣中へ付新年之祝詞御遠慮
申上候 惟而舊年中は格別御厚情を蒙り難有奉深謝候
尙本年も不相變御引立之程奉願上候
東京市日本橋區橋本町三丁目
金銀品製作
煙管卸商 千代村伊三郎
電話 東京一四二五七
電話 東京一四二五七

日本一品質本位
本月分卸定額表

品名 完備價 標準價

甲 櫻見廿八 九 八 九
乙 同廿五 九 八 八
丙 同廿二 九 八 八
丁 同十八 九 八 八
戊 同十四 九 八 八
己 同十 九 八 八
庚 同六 九 八 八
辛 同二 九 八 八

東京電氣商會
電話東京二一八五
電話東京四七六

恭迎新年

新又石
良大穴林小
目丁四町石本京東

向本年も不相變御引立奉願上候

生活細君難

早大の田中博士は十九日青年會館の東京市講演會に於て都市の生活難の救済の一策として掛渡制度の停止、市立小賣市場の建設等を説き私經濟に於ける主婦の任務に及ぶ類の切切なる講演を試みた。博士曰く収入の多きを努めることは必要であるけれども消費の方法其の宜しきを得るといふは一層必要である、主人公が汗をたらして働いて得た給料を細君が何とも思はずになんぞか消費すると云ふ状態ではいけません、主婦の任務は何であるか、大抵極や魚の相場を知らず主婦の任務を盡すと云ふ出来ぬか、細君は飾り物ではない、ノラやマダメの現はれ出る前に支出經濟の宜しきを得る婦人が現はればならぬ。▲自分の良人をして後顧の憂ひなく社會に働かしむるは主婦の任務である。▲其の責任を以て一家の支出經濟の管理に當らねばならぬ。此點に於て女子の細心なると保守的なることには其任に適して居る。然るに一家の支出經濟を引受けながら徒に之を衣服せしむる多くの細君は適材でないものが其場所を占めて居る。不經濟なること此上もない。▲女學校では家政學なるものを授けて居るが夫れが將來機師の功能があるか、甚だ疑問、家政學で最も肝要なのは支出經濟の宜しきを得る所の適材を養ふのであるが其點に就いては今日の家政學は甚だ不完全である。

べらく寶子花の上紙年新

△細君達は一家の私經濟は國民經濟に影響を及ぼすものであるを知らず一層の注意を加へて貰ひたい。▲掛渡制度を廢して細君達が買物に出掛けようとすると今日の日本の家屋の造り方では不安心で永く外出することが出来ない、西洋では外出の際には入口のドアの鍵を掛けておいた方がいいのであるが日本では雨戸を締めておけばならぬと云つては外出が甚だ大層になる。▲俄に日本の家屋が...

ては今日の家政學は甚だ不完全である。▲細君達は一家の私經濟は國民經濟に影響を及ぼすものであるを知らず一層の注意を加へて貰ひたい。▲掛渡制度を廢して細君達が買物に出掛けようとすると今日の日本の家屋の造り方では不安心で永く外出することが出来ない、西洋では外出の際には入口のドアの鍵を掛けておいた方がいいのであるが日本では雨戸を締めておけばならぬと云つては外出が甚だ大層になる。▲俄に日本の家屋が...

昨入超額奈何

昨年に於ける海外貿易は一月以降去月中旬迄の輸出にあつては總計五億を超過することは出来なかつたから、輸入は増加した。▲昨年の輸入は例年よりも増加した。▲昨年の輸出は例年よりも減少した。▲昨年の貿易は例年よりも増加した。▲昨年の貿易は例年よりも減少した。



▲昨年の貿易は例年よりも増加した。▲昨年の貿易は例年よりも減少した。▲昨年の貿易は例年よりも増加した。▲昨年の貿易は例年よりも減少した。

政治次第

▲昨年の貿易は例年よりも増加した。▲昨年の貿易は例年よりも減少した。▲昨年の貿易は例年よりも増加した。▲昨年の貿易は例年よりも減少した。

▲昨年の貿易は例年よりも増加した。▲昨年の貿易は例年よりも減少した。▲昨年の貿易は例年よりも増加した。▲昨年の貿易は例年よりも減少した。

▲昨年の貿易は例年よりも増加した。▲昨年の貿易は例年よりも減少した。▲昨年の貿易は例年よりも増加した。▲昨年の貿易は例年よりも減少した。

賀子の君次恒野小町東市澤米

子よち女三 子いで女長 君青銀男二 子なは女二 君銀恒男長

一、佛國ロンドンを以て
一、佛國ロンドンを以て
一、佛國ロンドンを以て

謹迎新年

荒雜各石櫃
物貨險品
屋問卸

上田屋嘉兵衛

電話東京二〇四六

謹迎新年

問屋

強勉利薄

恭迎新年

海渡商店

電話東京二〇四六

謹迎新年

眼鏡卸 尾張屋商店

電話東京二〇四六

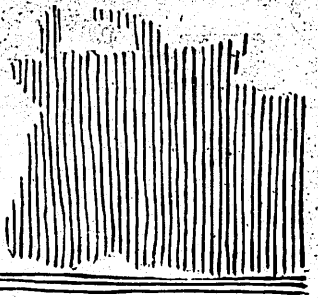
謹迎新年

鋼毛ピン 各種

電話東京二〇四六



御料洗粉 好評いよよく 高まり行き 愛好ますます 廣まり行く... 伊藤仁壽堂分店 大島勘藏



むかし譚

駱駝と粉挽き... 市へ出かけたことがあつた。で、家畜を買つてつから家路へ歸る準備をしたが、恰度その時ファンと呼ぶ一疋の犬が子持だつたので、これは知人に預つて貰ふことにした。知人はファンを自分の室に居處を造つて養つて置いた。

新紙年の上の女子の寶



前園古川町後藤商店の女子

犬と帽子... ところが三週間経てから例の如く脚を遣に來て見ると、何うしたとか、ファンも居ないし小犬もなな。自分の帽子を捜して見るとそれも見えない。や、これは空賊にやられたわいな、とこの男は思つてきた。いさぐく捜索して見たがその甲斐もなく、小犬も親も己の帽子も皆目撃しなかつた。仕方なしにこの事情をス

對塔庵更隱云匠選... 初買のしと賑し駿河町... 初買や聞し人の主... 遠廻り甲斐の梅の花... 初買の梅や二月... 梅の花の後のさくら...

次回課題... 雪解 爲柳 (一月初一日) 一應五年... 雪解 爲柳 (一月初一日) 一應五年... 雪解 爲柳 (一月初一日) 一應五年...

謹迎新年

舊年中は多大の御助援に預り難有御厚禮申上候... 大島勘藏 日本橋石輪本舖 電話浪花三五六五番

謹迎新年 袋物御商 美濃部商店 東京市日本橋區橋町四丁目五番地 電話浪花三八九七番

謹而御年始申上候 舊年中は御厚情を蒙り奉拜謝候尙本年も不相變御引立の程希上候 大正二年元旦 東京市日本橋區馬喰町貳丁目 星印名刺用紙製造元 櫻井大二郎

謹迎新年 本年も不相變御引立願上候 内外石輪化粧品問屋 加藤朝之助 紅綠堂 神田區入右衛門町一番地

謹迎新新年

本銀、洋白、鋼簪
指環、根掛類
髮飾、附屬品

屋問

東京日本橋區本町四丁目
村上伊太郎

謹迎新新年

純良紙製
強力非凡品質
優等價格低廉

結元

金銀左巻各種水引
紅白青白各種水引
製造發賣元

柏屋商店
東京日本橋區本町四丁目
電話口番四百五十二番

大勉強廣告

羽織類、計類、前掛類、眞田類、毛類、男類、三味線類、月類、絲類、絲類、絲類、絲類、絲類、絲類

絲物問屋
東京日本橋區本町四丁目
合資會社 三絲紐商會
電話口番三三三二番
振替貯金三三六二番

新年のことではございますが、福祿壽といふ三つを祈りまして、朝暮は口口口口、今日、次郎連記

新紙の上の花子へらく

新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の

福祿壽

朝暮は口口口口、今日、次郎連記

新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の



新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の

新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の

新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の

新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の、新年の

化粧品界空前之逸品

明證析分士學山横◎案考士博ノモロサ

ムーリク氏ノモロサ

大正二年ノ幕明
ト共ニ發賣セリ

一本品は未だ世に化粧料として現れたる事なき不思議の化粧液にして「水クリム」の如く、なれども市中に販賣せる品とは甚だ相違せり

一本品は二種あり曰く白粉の代用する濃厚水白粉の如き白味の卵乳クリムにして専ら西洋婦人の愛用する物を改造して「ボワイトクリム」として共ニ發賣せり

輸入發賣元 **刀根商店**
東京日本橋區本町四丁目
電話口番三三三二番

上海代理店 **米城洋行**
上海米路界乍浦路

特約店 **御園商店**
東京日本橋區本町四丁目

北進海代理店 **加藤商店**
函館區米坂町

有名なる各化粧品問屋には既に本品の準備整頓せり、續々御注文を乞ふ

販賣家ハ迎春早々
嶄新ノ品ヲ準備セヨ

五日明
先島月
印印
打影と林



工場
明



地質
塩水石鹼



本店 三寶堂
東京日本橋區本町三丁目三十一番地

謹迎新
芳香原料商
堀池賢路
東京日本橋區本町三丁目

謹迎新
米國製トランプ直輸入
天狗屋關東代理店
東京日本橋區本町三丁目

製造商
和洋
商標



東博開設準備
東京博覽會は府會に於て滿場一
致を以て可決し大正三年度を以て開
催することに決したる故府會
局長は明春早々の之れが準備
に着手する筈にて會場敷地
の上野公園は過般來數次阿部
知事より股野博覽館長に内交
渉を遂げ館長も大に賛成し居
る次第なれば今度更めて正式
の交渉を開始し敷地借受けを
なす都合なり會場は博覽會の
規模に應じて博覽館、動物園
附近及び不忍池畔一面を使用
するに至れども阿部知事の經
營方針に依れば從來の施設と異
なり奇抜なる趣向を凝し趣
味と實益とを兼ね陳列其他の
方法も所謂工場的となさず
して雄大なものとし出品者
の特別關係あるもの例へば國
家的事業若は輸出入重要品に
して單獨に別陳列をなし度
き向きに對しては之れを許可
する由にして博覽會の補助機
關なる協賛會は東京商業會
議所中心となりて組織するこ
とに略々調りたれば大博覽會
の進捗に伴ひて活動する計畫
なりといふ

實所六福しきやアナイアありま
せんかシヨリムア、床の上で一
すゝく……

新紙年の上花子實らへ

米最近商況
各地の米商況は目下消費力に於
ては内地より外國へ傾きたる注目を蒙
りて内地の外國米類は依然として
居り又各種製造品の消費は依然と
して多量に持続し製造業者は依然と
して製造力も充分と見せ居る

大統領日支人
大統領日支人は特別救護にて
大博覽會内に設くべき合衆國の使用
人控所建設費の支出を議會に報告せ

如くに其の商工業の直接に買
べき者の見解此の如くなれば之に連
れ附的の工業例へば家庭建築の如
き類の繁昌を呈し隨つて材木類の賣
買も按ず大に活潑となり居り輸出
は獲て甚だ盛大にして各種の物價も
頗る手堅き模様也食料品は各地に
於ける貯藏の減少せる爲め價格大に

其一項に於て大統領は同博覽會
に於ける外國の諸館に使用する外國
人に對しては成るべく不快の感をも
へざる方針を探り平常の制限を墨守
せず寛大に入國を取扱ふべきことと
も報告せり此外國人とは主として日
支人を指す者と思はる



殺伐なる今年
▲世界の千里眼の豫言
一昨年十二月早くも今回の巴爾幹戰
争を豫言し又合衆國に三政治家必
死の勢をまく中原に塵を揚げて入
亂れ馳逐つての混戦中、ルーズベ
ルトはかゝる毒なことを進言當選は
東洋の、エンと澄してさて何ん

全記者大會計
▲一月中旬東京に開會
東京各新聞雜誌の有志記者二十
四名は二十二日午後五時より日
比谷公園本樓に集會して時局
に關し所見を交換の未開政治
打破の目的を以て全國各新聞雜
誌の有志記者大會を一月中旬
東京に於て開催し具體的に其方
法を協議する事となり直に宣言
書起草委員として石川安次郎、
淺田孝一、中村錦三氏を挙げ
又左の準備委員五名を挙げて該
會したるが該準備委員は二十三
日に集會の上記者大會の期日
其他を協定したり

往復切符
▲準備委員 村松恒一 新報員
▲準備委員 曾本實重 工業員
▲準備委員 曾本實重 工業員

謹迎新
花子香本舖
棚橋長次郎

粧化の品粧化
場子硝飾裝
板看の中板看
板告廣璃玻
人を楽しめるは化粧品が必要である其化粧品と
化粧する裝飾硝子場を御試用あれ
廣告は美麗で目立つ事が肝要である、此要件
に合ふ看板中の看板は玻璃廣告板あるのみ
東京市日本橋區本町三丁目
二 電話本局二六五五番
一 振替東京一八〇七七番
杉田商店

謹迎新
候仕來出山澤形新の行流新蕨
荒井亮吉

謹迎新
伊藤共盛堂
花子香本舖
棚橋長次郎

二十則

一、石炭と水とは、日下一度、頭上
 二、足に至るまで清めんが爲めに、何
 人もこれを調進し得べし。かくて皮
 膚上に出されたる排泄物は除かれ、
 其の氣孔は必要に應じて開き居る
 四、食事の前には、何時も石炭と水
 にて手を洗へ、かくすれば、不潔病
 として、消化管を通過して身中に宿
 る所の諸の病を防ぐことを得るも
 のなり。
 五、毎日齒を磨くべし、床に就く前
 に然らずば早朝に、善く咀嚼器を
 保たねば、善く磨きたる黒ハンを
 規則正しく食すること殊に効あり
 六、食物及び飲料は、餘り熱きも餘
 り冷たきも用ふべからず、然らずん
 ば齒並びに胃を害せん。身の熱した
 る時に、餘り冷たき飲料を取るは殊
 に有害なり。
 七、あれたく、おびたく、飲
 むこと勿れ。食物はよく咀嚼せよ、
 善く消化される爲には、食物をよく
 細かにされて、胃腸中の消化液に渡
 るれ左ことを要す。此の消化液の分
 泌は、十分咀嚼すること由て操め
 促されるものなるが、餘り多量の液
 體にて薄めることにより、その正當
 の作用を妨げざるやうせざる可らず
 八、不要の食物に消化器を煩はすこ
 と勿れ、これをこまめに棄す所の方
 は、正當の動にて無益に亡せ去なり
 九、もはや不用となれる殘渣を毎日
 規則正しく排泄するやうに腸を慣
 せ、長く糞便の滯るは不健康のこ
 として、種々の不快を來し、永く全身
 の害となる。大抵の人は、朝空腹に
 新鮮の水を一口飲めば腸の動を勵
 まし得るものなり。
 十、人間は空氣中の生物にて、空氣
 は缺べからざる生命の要素なること
 を忘るべからず、故に仕事室にても
 居室にても、荷も汝の住居する所は
 風通の良からんことを氣をつけよ。
 空氣の代謝となるべく完全にする爲
 に、戸外の仕事の往復には途中にて
 屢々深く呼吸する習慣をつけよ、呼
 吸は常に口を閉りて鼻よりすべし。
 さすれば嗅覚は、避くべき臭に對し
 て警戒を與ふるものなり。(未完)

謹迎新年

本年も不相變御愛顧御用命の程願上候

宮家石鹼本舗

淺草區福井町一

三木櫻花堂

諒闇中に付年始缺禮仕候

尙本年も不相變御引立奉希上候



登錄商標 (S) セリン化粧液本舗

松花園 志村民藏

東京市日本橋區本石町四丁目十九番地



御注文の節は直印大略
 御申越願度多少に不拘
 代金引換にて發送仕候
 竹原紙に佳紙、和紙、洋紙、
 各種用紙、外紙、皮、
 第一、二種、外紙、皮、
 東京日本橋區馬場
 町三丁目四番地

標商錄登
 東京銀座三丁目
 御藥
 大坂屋
 松澤八右衛門
 小まご

謹迎新年

ヘイヤロール

日本髪前髪立

舶来スナ毛

シヤクマ原料

東京市神田區豐島町十七番地
 發賣元 田中金三郎
 振替東京一八一八番
 電話東京一八一八番

春回

舊年中は不方御愛顧を蒙り
 追々盛業に赴き候段奉謝候
 尙本年も一層御引立を蒙り度
 益々奮勵高意に可報候
 大正二年一月元旦

化粧品雜貨
木屋芳兵衛
 東京市日本橋區美町十七
 番地電話本局一八九九
 電報掛本局一八九九
 (モリス)

平野の電燈、電池

弊店販賣の品は近時他店にて安價に販賣致し居るが如き粗製品に非ず御比較の上倍舊の御用命奉願上候

品名	定額	備註
大探見電燈	六拾六圓	六拾六圓
中探見電燈	拾六圓	拾六圓
小探見電燈	拾六圓	拾六圓
大探見電燈	拾六圓	拾六圓
中探見電燈	拾六圓	拾六圓
小探見電燈	拾六圓	拾六圓
大探見電燈	拾六圓	拾六圓
中探見電燈	拾六圓	拾六圓
小探見電燈	拾六圓	拾六圓
大探見電燈	拾六圓	拾六圓
中探見電燈	拾六圓	拾六圓
小探見電燈	拾六圓	拾六圓
大探見電燈	拾六圓	拾六圓
中探見電燈	拾六圓	拾六圓
小探見電燈	拾六圓	拾六圓
大探見電燈	拾六圓	拾六圓
中探見電燈	拾六圓	拾六圓
小探見電燈	拾六圓	拾六圓
大探見電燈	拾六圓	拾六圓
中探見電燈	拾六圓	拾六圓
小探見電燈	拾六圓	拾六圓

物品増加廣告

品名	定額	備註
大頭式漆塗時付電燈	五拾圓	五拾圓
中頭式漆塗時付電燈	四拾圓	四拾圓
大探見漆塗時付電燈	拾圓	拾圓
中探見漆塗時付電燈	拾圓	拾圓
小探見漆塗時付電燈	拾圓	拾圓
大探見漆塗時付電燈	拾圓	拾圓
中探見漆塗時付電燈	拾圓	拾圓
小探見漆塗時付電燈	拾圓	拾圓
大探見漆塗時付電燈	拾圓	拾圓
中探見漆塗時付電燈	拾圓	拾圓
小探見漆塗時付電燈	拾圓	拾圓
大探見漆塗時付電燈	拾圓	拾圓
中探見漆塗時付電燈	拾圓	拾圓
小探見漆塗時付電燈	拾圓	拾圓

注意
 懷中探見新案
 特許電燈
 並ニ電球及
 各ニ下線
 呼鈴販賣

商標 (H) 御商 平野周吉

謹迎新年

日本橋區馬場町貳丁目

金城堂商店

謹迎新年

舊年中は格別の御引立に預り難有厚く御禮申上候尙本年も不相變倍舊御引立の程願上候

内外化粧品問屋

巴商店 左近司義弘

謹迎新年

昨年中は格別の御愛顧御用命を給はり難有御厚禮申上候尙本年は一層勉強仕候へば倍舊の御引立を願上候

内外化粧品問屋

後藤清太郎商店 東京日本橋區馬場町四丁目

諒闇中に付年始缺禮仕候

尙本年も不相變御引立奉希上候
 且元年二正大

東京小間物化粧品商報社 (スは原)

梅野政吉 尾崎卯吉 田中次郎 武廣和雄 並木潤三 野田玉川 佐野秀納 宮城野 溝口末之 樋口爲三 鈴木久七 杉村助一郎

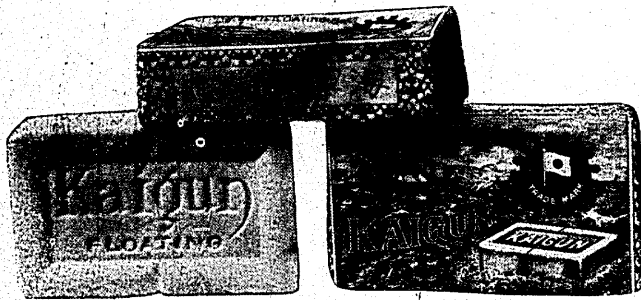
謹 迎 新 年

舊年中は多大の御援助に
 預り日に月に發展に趣き
 候段難有奉深謝候尚本年
 も不相變倍舊御引立の程
 奉懇願候



鹼石浮ンリカ

浴々たる浮石鹼界に嶄然頭角を現はし同
 業界に異彩を放つものは弊舎製品浮輪
 カリン、海軍の三大浮石鹼にして各々品
 質精良、價格低廉、經濟無比等何れも比
 類なき特徴を有し眞に賣り易き逸品なり
 とは衆口一致天下の定評なり



鹼石浮軍海

京東
 安永舎



鹼石ワキウ

大 正 二 年 於 於 之

佐 々 木 商 店 之 計 畫

謹んで新年の御挨拶を申上
 且つは舊年中の御愛顧御引
 立を謝し尙ほ本年も一層の
 御同情御引立を奉願上候

昨年度に於ける弊店の如何に業界に活躍致し候かは各
 位の御熟知せらるゝ所に候へば爰に繰返すの要無之事
 と存じ候來るべき本年度には一層の努力を弊店發賣品
 たる濃厚化粧液ラベル、ポンピアン、マツサージ、クリ
 ーム、ポンピアン、マツサージ石鹼及び其他の製品の
 品質改善、販路の擴張等に傾注可仕覺悟に有之候
 就ては各位に於かせられても舊に倍するの御庇護御引
 立を賜り弊店發賣諸品の發展に御協力被遊度爰に謹ん
 で懇願致すものに有之候

佐 々 木 商 店 發 賣 品 要 目

濃 厚 化 粧 液 **ラベル**

ロイヤル石鹼、**ロイヤル白粉**

ロイヤル齒磨、**ロイヤル水**

ポンピアン

マツサージクリーム
マツサージ石鹼

ビノリヤ浮石鹼 つやふきん

つやふきん本舗

佐 々 木 商 店

東 京 銀 座
電 話 京 橋 四 七 二 四 七 三



東京新聞特刊 化粧品商報

行發日曜日週每	定	價	料告廣
一月	一	一	一
三月	三	三	三
半年	六	六	六
一年	十二	十二	十二

東京新聞社 印刷部



最高等美髮料
三三三香水
 日本東京 エニシール商會

許特許專

東京 柳下藤五郎
 神戶 田中花王堂
 大阪 松井號支店
 京都 天野源七
 名古屋 佐々木支店
 東京 上州屋分店
 廣田商店

ライオン歯磨



小袋入値上げ謹告

値上げは單に小袋入に限り
 僅に壹個——五厘上げ
 として本日より實行仕候
 其他は一切従前通りの値段に据置候

右値上げは本月十九日より實行の事に致候間卸建値の儀も同日より從來の
四打入壹箱 金七拾六錢と
改正仕候此儀特に御承引被下度奉願上候

肅啓弊店製造販賣のライオン歯磨の儀 夙に江湖各位の博なる賞讃を辱うし 年來の經驗と絶えざる新科學の進歩を應
 用して改善に改善を施し今や品質の優良世界に冠たるの信用を收め幸に今日の盛況を呈し候段深く奉感謝候然るに頻年
 國運の進展と共に諸式の昂騰を來し従てライオン歯磨の原料工賃等亦之が影響を免かれざるに至り殊に製品中最も久し
 き御愛用の小袋入は又最も多く其打撃を蒙り到底當初の値段にては製造し難き場合に臨み既に今日までに其値上げ實
 行を企て候事實に一再ならず然も一たび江湖各位の御厚恩を思つては容易に決行するに忍びず躊躇に躊躇を重ね今日茲
 に漸く値上げの儀を發表仕候もの寔に難耐一大恨事に御座候乍去此際弊店に取りては萬不得止事情に有之候間偏に寛厚
 なる諸彦の御賢察にすがり申度伏て奉願願候 敬具

大正二年一月十九日

ライオン歯磨本舖

支舖 小 林 富 次 郎
 東京市神田區柳原川岸
 大坂市東區博勞町二丁目
 名古屋市西區馬場町四丁目
 支那天津漢口上海

内外化粧品問屋
協田盛眞堂
 東京 山手町
 新花王白粉
 振東四四七七
 電浪四二番

今更多ク
 一打毎に端書一枚宛挿入あり
 御試用には御便宜上小分け販賣仕候

許特許專
 實用新案 定鑑
 商標 代及
 頭 籾木繁太郎
 東京市本町九丁目
 電話新橋二七〇

入輸直 商料原香芳
 部料香澤松
 西門石本島橋本日本東京東
 日丁三町神田區區南市阪大

大正元年十二月十五日發行
 の本紙掲載の三木櫻花堂發
 賣宮家石驗特賣景品附廣告
 中壹號宮家石驗壹打金壹圓
 五拾錢とありしは金貳圓五
 拾錢、宮家石驗價格金參圓
 を一口としとありしは價格
 金五圓を一口の何れも誤り
 に付茲に訂正す

内外化粧品問屋
 杉山商店

代金引替小包還付に關する警告
 荷爲換付商品還付に關する警告
 近時取引の頻繁に伴ひ注文主に於て代金引替小包
 郵便又は荷爲換付商品を理由なく濫りに還付して
 其引受を肯せず出荷主を以て意圖の損失を蒙らし
 むること往々有之本組合員等の迷惑不撈右の場合
 に於て本組合は定款の定むる所に従ひ其者と組合
 員の商取引を停止し及其旨商報紙上に公告可致候
 條御注意相成度此段警告候也
 追て右取引停止に關しては東京、大坂、京都、名古屋の各同
 業組合團體と同盟取引停止の聯絡契約有之候

東京小間物卸商同業組合

スミレ香水

大景品附特賣廣告



肅啓 嚴寒の御愈御臨
 昌奉賀候陳者弊店發賣
スミレ香水
 の儀御座を以て社會の
 各方面に歡迎され常に
 嘖々の賞讃
 を賜し一年販路擴張
 需用増大を來たし候は
各位の厚さ
 御奉遇に因る所と深く
 銘肝罷在候就ては今回
品質大改良
 を爲し歐米流行の粹を
 抽出して製造致候へば
芳香の優秀
 なる殊更茲に歐々を要
 せざる所は御座候隨て
賣れ行き大
 に見るへきもの可有之
 此機會に於て尙一層の
發展を冀圖
 し併せて平素各位の深
 厚なる御同情に酬ひ度
下記の規定
 に據り總數七百五拾圓
三重大量品
 を附し御店小賣店の全
 般に亘り有利の特賣網
發賣致し候
 間賣切れとならざる前
 速かに御注文成し被下
大盛況の下
 に本特賣を終了せしめ
 られ候様奉恤願候敬白

●特賣總數 七百五拾圓

壹圓の内容
 スミレ香水 小拾打
 スミレ香水 中壹打

●景品は之を甲乙丙の三種に別ち甲は壹圓に付番號記入の景品券七枚
 乙は壹圓に付番號記入の景品券壹枚
 丙は五圓毎に番號記入の景品券壹枚宛を添付し各別に抽籤する
 ものにして景品種目左の如し

- 甲景品**
- ▲壹等金參圓 (商品切手拾五口)
 - ▲貳等金貳圓 (商品切手參拾口)
 - ▲參等金壹圓 (商品切手五拾口)
 - ▲四等金五拾錢 (商品切手壹百口)
 - ▲五等金五錢 (商品切手五千五拾五口)
- 合計 五千貳百五十口 一口もはづれなし

- 乙景品**
- ▲壹等蓄音機 (價格八圓) 貳口
 - ▲貳等乃木將軍 (價格五圓) 拾五口
 - ▲參等金五圓 (商品切手) 拾五口
 - ▲四等金參圓 (商品切手) 拾五口
 - ▲五等金五拾錢 (商品切手) 七百參口
- 合計 七百五拾口 一口もはづれなし

- 丙景品**
- ▲壹等青銅馬置物 (價格百圓) 參口
 - ▲貳等懷中銀時計 (價格五圓) 五口
 - ▲參等金貳圓 (商品切手) 百四拾貳口
- 合計 壹百五拾口 一口もはづれなし

▲荷物發送

來る三月一日より御注文順に依り發送可致候
 但し御希望により二月二十日より御届可仕候

▲抽籤方法

大正二年八月二十日東京小間物化粧品卸商同業
 組合事務所に於て特約店諸氏並に同業機關新聞
 社員の立會を乞ひ新式廻轉抽籤機を以て嚴正に
 執行す

▲當籤發表

大正二年八月下旬發行の東京小間物化粧品商報
 紙上に發表す

▲景品引換

當籤發表の日より十月三十一迄以後無効のこと
 以上

東京市日本橋區横山町三ノ五
 本舖
發賣元
 平尾銚也商店
 電話浪花二〇〇番
 振替東京三三四番

東京市日本橋區横山町三丁目
柳下藤五郎
 電話浪花三〇〇番
 振替東京四八九番

東京市日本橋區横山町三丁目
田中花王堂
 電話浪花三三三番
 振替東京三三四番

東京市日本橋區横山町一丁目
天野源七
 電話浪花八六三番
 振替東京五九三番

東京
平尾贊平
 東京電話六五一番六五二番

特約代理店

告護賣特附品景大回参第驗石浮大正



謹啓 凡に日用品卓絶価格低廉經濟無比を以て一般家庭に噴々の好評を博し候唯當賣浮石ソープ、アイランド、マツプ、ネルソン、儀御座るを以て販路の普及需用の廣汎を來たし紛々たる我が浮石驗界に想然として新起元を測し需用は常に供給に倍過するの大盛況を呈し候事幸々御同業各位の深甚なる御寄遇に因る所と銘肝羅在候就ては此際尙一府の擴賣を期し且つは平素の御愛顧に酬ひ度く本年は更に無類御用向イヌワ浮石驗を加へ大膽ながら各位の御同情を方とし發賣總額總額を倍加して一萬圓と下記の方法に據り極めて有利の大景品附相發賣仕 候間 何卒倍舊の御援助を以て例に依り大盛況の下に本特賣を結了せしめられんことを冀望の至りに不堪只管奉聞願候御白

實益と趣味ある大景品附特賣!!!

景品目次	
壹等	金貳拾圓 商品切手 壹
貳等	金拾圓 同 五
參等	金五圓 同 拾
四等	金貳圓 同 拾
五等	金壹圓 同 拾
外金	五拾錢 同 八百貳拾四口
計	壹千口 但し壹口もはづれなし

◎甲 號

壹圓毎に添附する請求券拾枚毎に本券壹枚を呈す

景品目次	
壹等	金拾圓 商品切手 貳拾
貳等	金五圓 同 四拾
參等	金壹圓 同 貳百
四等	金五拾錢 同 六千
五等	金貳拾錢 郵便切手 貳千
外金	拾錢 同 七千四百拾口
計	壹萬口 但し壹口もはづれなし

◎乙 號

右各壹圓毎に添付する番號記載の景品券

内 譯	
ブイ大形	百個入 壹千
同小形	貳百個入 貳百
アイランド	百個入 參千
マツプ	百個入 壹千
ネルソン	百個入 千五百
イヌワ	百個入 參千參百
計	壹萬個 但し壹個もはづれなし

特賣總數 合取 壹萬個

浮石驗御注文絶好のチャンス!!!

●抽籤方法

上記の等級は市内特約店諸氏及同業機關新聞社員の御立會を乞ひ最も公平なる抽籤法により相定め可申候
但し景品券御所有の方は御立會御隨意の事

●抽籤期日

大正三年一月

●抽籤場所

東京市日本橋區馬喰町三丁目東京小間物化粧品卸商同業組合事務所

●當籤發表

大正三年一月末發行の東京小間物化粧品商報紙上に發表す

●景品引換

右發表當日より大正三年三月三十日限りとす
但し右期限經過後は一切無効の事

●荷物發送

御注文順に依り直に發送可致候

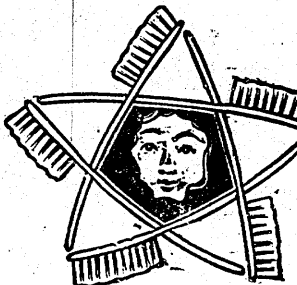
以上

御即位大禮

今上陛下御即位大禮の儀は六日桂宮相續進宮相合儀の上上奉じたる結果大正三年十一月京都に於て御即位式及び大嘗祭を擧げさせらるゝ事になり...

大禮使官制が出来て

其決定に依つて豫算を作り又御式場や御調度の準備を進行するだけでも大變な日時を要する...



齒ブラシ専門

拜禮中天皇は玉音朗々勅語を宣ひ給ふ...

天皇陛下御拜あり

御告文を奏せしるる兩陛下下入御の後諸員禮拝あり、更に皇靈殿御奉告の儀ありて紫宸殿の高御座に昇らせ給ふ...

大禮準備委員

- 大禮準備委員長 近衛 久 大禮準備委員 近衛 久 大禮準備委員 近衛 久...

第十回紙上餘興

本紙毎月末最終発行の紙上廣告中の字探し第十回の課題は...

次回休刊!

本紙次回即ち来る二十一日発行の分は吉例により休刊仕候。

御園化粧品賞品券

本報官報第一頁の数字は千八百八十八字

御園化粧品賞品券 八の字で終つた 御園獎券一號は本月四日(二二三日は休刊)官報第一頁の字數千八百八十八字を起點として規程に従ひ十を増減した番號が當籤と定められた即ち御所持の獎券一號が...

御園化粧品賞品券 御園化粧品各種一函毎に獎券券を貼付し左の方法により景品を分呈す...

表發號番籤當鹼石浮ンリカ

謹啓時下嚴寒の礪各位益々
御清榮奉賀上候陳者弊店儀
襪にカリン浮石鹼景品附荷
物發賣仕候處各位の御引立
御盡力に依り忽ち豫定棚數
を賣盡し大盛況の下に結了



仕候段奉深謝候就は規定に
基き去る十一日所定の立會
員諸氏の臨場を乞ひ嚴正に
抽籤執行の結果下記の通當
籤確定候間御引合せの上景
品引替方御請求被下度候也

舍 永 安 町 崎 戸 區 川 石 小 京 東

◎甲種參打券

壹等壹圓(商品)參拾本

111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110

貳等五拾錢(商品)四拾本

111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110

參等參拾錢(商品)五拾本

111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110

四等拾錢(商品)貳百本

111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	102	103	104	105	106	107	108	109	110

五等參錢(商品)

參千六百八拾本
以上各等に當籤せざる残り番號
全部

◎乙種拾打券

壹等參圓(商品)五本

貳等貳圓(商品)七本

參等五拾錢(商品)貳拾本

四等參拾錢(商品)四拾本

五等拾錢(商品)

千貳拾八本
以上各等に當籤せざる残り番號
全部



カルネギー氏の傳言

第二十二回啓成會に於て 神學博士 井深梶之助君

さういふやうな大富豪であるけれども、十二歳の時分には工場に往つて僅に一週間に一兆二千餘圓、買つた所の丁推であつた、さういふ人が一代の間に於て幾億萬圓といふやうな財産を有つたばかりではない、或は世界の平和の爲めに、人道の爲めにさういふやうな山金の金を寄附することが出来、又之を喜んで寄附する所の人物とまでなつたといふことは實に偉いことではありませぬか、世の中にも色々な方面に於て傑出があらりますが、斯の如き人は實に世に稀なる所の人物であり、其人からの傳言であります、之を翻譯して見ますと斯ういふことです、時は千九百八年の十二月十五日であります日本東京の井深梶之助といふ名前であります、あれは日本の青年の爲めに何か一言葉を贈つて呉れといふことの御依頼であります、茲に私が幾度か正道を守ることに於て助となつた一言があります、それはどういふことであるかといふと、只汝自らの徳を恐れよといふのであります、ちよつと説明をせぬと分らぬと思ひますが、それは人には各々良心といふものがある、人が見て居らぬでも誰でも良心といふものがある自分では善い、是は悪いといふことは知つて居る、人が見て居るから斯うしてはならない、人が見て居らぬから斯うしやうといふ考を有つた自分の良心に照らして見て悪いと思つたことならば誰が見て居らぬでも決してしてはならないといふに依つて自分は幾度か正しきを守ることが出来た、私は此言葉を總ての人に勸めるといふ、極く簡単な言葉です、今申します所の大富豪、大慈善

自家獨特 萬髮掛卸商

意正考案

カネ根掛

寺澤常吉

電話南一八五二 振替九六六二

私は外國などに時々参りましたが、残念に思ひますことは日本の商業道德の信用が甚だ薄いと云ふことであつて、日本には武士道といふものがあつてなかく偉い人が出るといふことは言ひますけれども、うち日本の商賣人といふ者は信用が出来兼ねるといふ場合が多いといふことを聞くのです、果してさうであるならば存せぬべし、兎に角外國の心ある所の人々がさういふことを親しく言つた所のものもあり、新聞や雑誌に於て度々さういふことを見る、歐米から来る漫遊家、視察家などが日本のことを書いた本なども度々さういふことが出て居る、日本の銀行會社の水道課には支那人を雇はうといふことですが、

日本人には信用するやうな人が居らぬから支那人を雇つて居る、馬鹿々々しい話ですが、西洋人はさういふ風に考へて居るけれども、何が原因であるか、支那で西洋人が物を買ひます時分に、是は幾らといふことをいふと、それを直ぐ買つて袋に入れます、所が日本ではさうはいかぬ、ちやんと實物を見ない中では受取らぬといふことがある、さういふ點に付ては甚だ遺憾なことであり、日本の商業道德が缺けて居る所かも知れませぬ、之を思ひますとカルネギー氏の言ふ所の「只己れの徳を恐れよ」といふ一語、即ち己れの良心に對して假初めにも不正といふことをするなといふ此教訓は決して無益のことではなからうと思ひます、

志を立て、日本にも斯ういふ人物が出たといふことであらう、其の間に愉快なことでありませう、其の人に取つてどんなに幸であらうか、どんなに愉快なことであらうか、假令カルネギー氏と同じやうにならぬでも、つと小さくても構はぬ、もつと大きくなれば倍は幸である、日本にもアンドリウカルネギー氏のやうな人物があるといふことが日本の歴史にあるやうにしたいものであります。(拍手) (おはし)

●衛生二十則(續)

十一、毎朝裸衣を全裸にして、全身を空気に浴せしめよ。出来得べくは窓を開けて行へ、裸の人を氣づかば、通氣よき窓掛の後にへ行へし、空気が浴せしめよ。全身の血を循環し、皮膚に善く血を循環し、全身の血を善くするには空気が浴に勝るものなし、身頃のせぬ前、やめ、それより稍々寒き時節には、腹に衣服を着て走り或は働かべし。

十二、風呂或は濯水浴等の設けあらざれば汗の出る仕事の後にはなるべく、毎日これを利用して、少くとも一週一回はこれを用ひよ。長き濯水は身心を締め、短き濯水は興奮せしむ、冬は此濯水を乾かし置くべし。

十三、もし會館内の水泳浴場、更に善きは戸外の水泳浴場、又清潔なる池、湖水或は河等に水泳浴場あらば、努めてこれを利用して、浴中水を嚙下ぬやう用心せよ。空気が浴と水泳浴とを併用せよ、但しその後疲労と寒氣とを覚えず、却て爽快にして、快く温かに感ずるやうに。

十四、日光浴は、空気が浴よりも注意して行はるべからず。一週二回多くとも三回以上は行ふべからず。二十分長くと三十分以上は決して行ふべからず。(おはし)

大正二年度スルクス香水品景發賣

景品付 一ムスク香水 五百梱

大瓶は壹捆(六打入)
中瓶は壹捆(十二打入)
小瓶は壹捆(三十打入)

大正二年壹月拾壹日より二月卅日迄と決定に満つる時は期間内と雖も、(本年は景品附此の意同限り)は各壹捆毎に第壹種景品券壹枚宛添付し特別景品として五捆一時に纏めて御注文に限り第貳種景品券壹枚宛呈上す

壹等 (商品切手)	金二十圓券	五本
貳等 (商品切手)	金五圓券	三十本
參等 (商品切手)	金貳圓券	百本
四等 (商品切手)	金壹圓券	三百本
壹等 (商品切手)	金五十圓券	壹本
貳等 (商品切手)	金拾圓券	貳本
參等 (商品切手)	金貳圓券	三十本
四等 (商品切手)	金壹圓券	六十本

一發表及引換
右景品の外「大瓶參本」「中瓶半打」「小瓶壹打」毎に販賣獎勵券壹枚宛本年封入し左の割合を以て引換をなす

一獎勵券五枚二付	金拾五錢也
一獎勵券十枚二付	金四拾錢也
一獎勵券二十枚二付	金壹圓也
一獎勵券五十枚二付	金參圓也
一獎勵券百枚二付	金七圓也

本券五枚未滿は壹枚に付郵便はがき壹枚を呈す

右之通り發賣仕り候間續々御用命仰付被下度奉希上候

發賣本舖 松澤常吉商店
東京市日本橋區本石町四丁目
電話本局一四五番三三七番

ドンライア

プツマ

イフ

ンソルネ

表發號番籤當品景大賣特驗石浮大

引續き五大浮石驗第三回
大景品附特賣柄發賣仕候
詳細本紙第四頁

景品引換
景品引換所發賣元
東京日本橋區馬喰町三丁目
中外化粧品問屋
田中花玉堂
電話三三三三番
振替東三三三番

景品引換

本日より来る六月三十日限
但し期限後は一切無効の事

謹啓 寒冷の砌り各位彌々
御清福之段大慶此事に奉存
候陳者弊當發賣四大浮石驗
大景品附荷物の儀御蔭を以
て規定の五千柄を賣盡し尙
續々御注文に接するの光榮
を擔ひ候は畢竟品質純良に
して衛生經濟に適し一般家
庭に歡迎せらるゝに因るも
御同業各位の深甚なる御援
助の賜に外ならずと銘肝茲
に満腔の謝意を表し候就て
は規定の如く本月十五日東
京小間物化粧品卸商同業組
合事務所に於て市内特約店
並に景品券所持の各位及び
機關新聞社員諸氏立會の下
に嚴正に抽籤執行候結果下
記の通り當籤相成候間速か
に景品引換方御請求被成下
度此段御報告申上候也
大正二年一月十九日

前掲残り番號全部

▲等 外 金 拾 錢 (郵便切手)

Table with multiple columns of numbers for exchange rates, including categories like '▲五等' and '▲四等'.

▲五等 金貳拾錢 (郵便切手)

Table with multiple columns of numbers for exchange rates, including categories like '▲四等' and '▲三等'.

▲四等 金五拾錢 (商品切手)

Table with multiple columns of numbers for exchange rates, including categories like '▲三等' and '▲貳等'.

▲貳等 金壹圓 (商品切手)

Table with multiple columns of numbers for exchange rates, including categories like '▲壹等' and '▲甲號'.

前掲残り番號全部

▲等 外 金五拾錢 四百拾六口

Table with multiple columns of numbers for exchange rates, including categories like '▲五等' and '▲四等'.

▲五等 金壹圓 五拾口

Table with multiple columns of numbers for exchange rates, including categories like '▲四等' and '▲三等'.

▲四等 金貳圓 貳拾口

Table with multiple columns of numbers for exchange rates, including categories like '▲三等' and '▲貳等'.

▲參等 金拾圓 參口

Table with multiple columns of numbers for exchange rates, including categories like '▲貳等' and '▲壹等'.

▲壹等 金貳拾圓 壹口

Table with multiple columns of numbers for exchange rates, including categories like '▲甲號' and '▲拾圓券'.

海外通信

米國より 吉田 公重
○流行の始め。流行にも色々ある、衣服の流行、帽子の流行、下駄、靴の流行、併し其種々なる品物の流行するに至る始めは誰れが作るかと云ふ問題になると、一寸答に困るが、如才無い商人は、何時の間にか自ら流行を作つて、としく商品を買ひ出す、或は高貴な人が好みで作つたものが流行の始めとなることもある、又は一世の美人が着用したものが流行の魁となす云ふこともある併しそれを着、それを作るに至る動機と云ふものがどこにあるものか今米國あたりで、先頃一寸流行の付いた流行の基礎とも云ふ可き、動機は機會とも云ふ可きものを、一寸述べて見やう。それは今頃は日本でも相當に人氣物となつて居るだらうと思ふ、米國々務卿ノックス氏だ。米國に於ても相當の人氣者、相當の人物として持擧されて居ることも事實だ、將來大總統たる可きものとして、衆人の矚目する所である、これは近頃此の人の好みとあつては、米國にはノックス卿と云ふものがばつゝ流行して居る。米國や獨逸などには、かゝることは、間々ある様である。ちよいと氣の付く所でも、彼のマッキンレー形の靴と云ふものが流行した事があつた、日本などでも大部流行して、今日でも猶多少用ゐられて居る。米國に於ても固よりである、それと同じ様なものであらう、今回の帽子の流行なども、されば、日本などでも、東郷帽子とか伊藤帽子とか、桂石松とか云ふものが流行して然る可き事だと思ふ。流行の動機と云はうか、原因、基と云はうか此れを英雄豪傑の好みに探るなどは、伸々好い事であると思ふ。英雄豪傑にあやかるの基ともなう、美人や遊技師にあやかるよりもよすではあるまいかと思ふ。

廣告

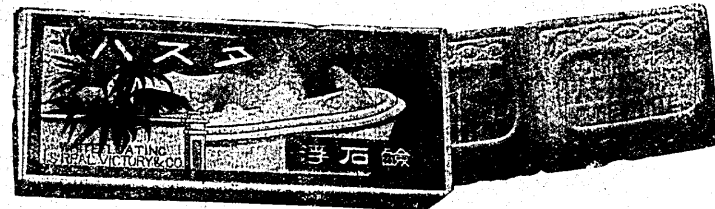
東京小間物化粧部同業組合録事
○夜臘より本年に亘り共進會展覧會等の出品物誘依頼ありたるもの左の如し
一第三回東京物産展覧會
野公園不忍池畔東京物産協同會陳列館に於て開設せらるるものにして右は從來の主旨を越し美術及工藝の進歩を促し製作工業の發展を助長せしめんとするに外ならず三年度に於ては其筋に於て第二回勸業博覽會開設の議を決せられ大

東京小間物化粧部同業組合録事
○夜臘より本年に亘り共進會展覧會等の出品物誘依頼ありたるもの左の如し
一第三回東京物産展覧會
野公園不忍池畔東京物産協同會陳列館に於て開設せらるるものにして右は從來の主旨を越し美術及工藝の進歩を促し製作工業の發展を助長せしめんとするに外ならず三年度に於ては其筋に於て第二回勸業博覽會開設の議を決せられ大

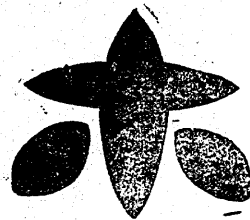
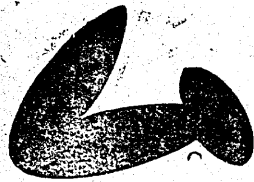
來る四月一日より三十五日間尾ノ道市に於て帝國實業協會主催の下に開設するものなり
○同日 組合員神田區豊島町二番地海井歌吉君令聞さだ子殿去る八日死去本日葬儀執行に付き左の弔詞に編一對を贈る
東京小間物化粧部同業組合は組合員海井歌吉君令聞さだ子殿の長逝を追悼し恭く弔詞を呈す
大正二年一月十日
東京小間物化粧部同業組合
組長 淺井 碩 成

○同日 東京小間物化粧部同業組合は組合員海井歌吉君令聞さだ子殿の長逝を追悼し恭く弔詞を呈す
大正二年一月十日
東京小間物化粧部同業組合
組長 淺井 碩 成
○同日 東京小間物化粧部同業組合は組合員海井歌吉君令聞さだ子殿の長逝を追悼し恭く弔詞を呈す
大正二年一月十日
東京小間物化粧部同業組合
組長 淺井 碩 成

ハスタ浮石鹼賣切れ御禮
有名なる化粧品は如何なる品でも漏なく積んで山の如く信用を重んじ御注文有り次第確實迅速に出荷するは大勉強を以て名高き神田橋本町の
松井號支店
弊社儀囊にハスタ浮石鹼大景品附荷物發賣仕候處各位の深厚なる御盡力に依り豫想外の盛況を以て豫定梱數全部賣切れ申候間茲に謹で御厚禮申上候猶御注文後れの各位は各特約店へ御問合せ被下候はゞ未だ多少の殘荷有之事と存候 敬具
井村整興社



浮石 驗



第七回報酬券當籤番號發表

夙に各位御眷顧の厚きを辱うし實用經濟を主として江湖の御好愛を博し候ホム浮石驗に對し聊か報酬の微意を表して發賣仕候第七回報酬券附荷物(三千組)抽籤の儀規定の如く去八日組合事務所に於て特約店并に商報社員諸氏立會の下に嚴正に執行致候結果下記通り御當籤確定仕候間御引合せの上景品引換方御請求被成下度候也

大正二年一月十九日

東京馬喰町二丁目

長瀬商會

大坂安土町四丁目

大崎組商會

賣發

大坂博愛町二丁目

仁壽堂分店

景品引換

大正二年四月三十日迄に東京馬喰町長瀬商會に於て引換仕るべく期限後は一切引換に應じ不申候

報酬券當籤番號

(各壹欄毎に所定の枚数を添附したるもの)

△壹等 金五圓 (全國通用商品切手) 貳拾本

△貳等 金貳圓 (全國通用商品切手) 參拾本

△參等 金壹圓 (全國通用商品切手) 五拾本

△四等 金貳拾錢 (全國通用商品切手) 四百本

△五等 金拾錢 (全國通用商品切手) 五百本

△外等 金壹錢 商品切手 残り番號全部

Table with multiple columns of numbers representing lottery results for various denominations.

特別報酬券當籤番號

(拾組毎に添附したるもの)

△壹等 金貳拾圓 切商品 壹本

△貳等 金拾圓 切商品 五本

△參等 金五圓 切商品 拾本

△四等 金壹圓 切商品 貳拾本

△五等 金五拾錢 切商品 參拾本

△六等 金貳拾錢 切商品 百本

△七等 金拾錢 切商品 残り番號全部

Table with multiple columns of numbers representing special lottery results.

花王石鹼

第九回報酬配當券當籤番號發表

謹啓 時下嚴寒の砌り
愈御隆昌奉賀上候陳者
各位の深厚なる御愛顧
と多大の御同情を以て
販路の普及需要の廣汎
を致し候平素の御眷遇
に酬い度く發賣仕候花
王石鹼第九回報酬配當
券抽籤の儀去る八日東
京小間物化粧品御商同
業組合事務所に於て特
約店并に商報社員立會
の下に厳正に執行の結
果下記の通り當籤相成
候間此段御報告申上候
也

大正二年一月十九日

東京市日本橋區馬喰町二丁目
本舖 長瀬商會
大阪市東區安土町四丁目
代理店 大崎組商會

◎景品引替

一月十九日より四月三
十日迄東京馬喰町長瀬
商會に於て引換仕るべ
く期限後は無効の事と
御承知願上候

◎壹等 金五圓 (全國通用商品切手) 參拾本

95 309
567
944
1311
1424
1581
1817
2344
2433
2878
2994
3163
3567
4146
5256
5847
5856
6005
6998
7420
7610
7879
7938
8267
8602
8860
9350
9780
9850

◎貳等 金貳圓 (全國通用商品切手) 七拾本

33 66
211 600
223 722
255 895
524 961
582 1006
856 1018
874 1107
990 1128
1045 1252
1171 1439
1323 1984
1430 1985
1490 2452
1571 2517
1650 2518
1725 2640
1752 2713
1781 2894
1869 2933
1942 3093
2326 3066
2369 3116
2375 3132
3024 3256
3505 3367
3870 3592
4310 3595
4687 3656
4738 3746
5030 3758
5213 3804
5297 3886
5300 3987
5543 4004
5593 4041
5982 4149
6083 4156
6085 4406
6135 4495
6149 4530
6224 4649
6440 4710
6460 4817
6601 4926
6752 4989
6774 5135
6904 5137
7057 5287
7062 5330
7191 5334
7343 5449
7786 5500
7810 5514
7847 5552
7852 5566
8483 5716
8673 5979
8663 6079
8720 6195
8742 6278
8951 6373
9254 6465
9263 6525
9500 6719
9762 6808
9798 6849
9816 6850
9971 7165
7292
7421
7440
7539
7551

◎參等 金壹圓 (全國通用商品切手) 百本

7664 35
7679 347
7813 600
8097 722
8108 895
8181 961
8185 1006
8327 1018
8350 1107
8395 1128
8417 1252
8587 1439
8618 1984
8665 1985
8784 2452
8824 2517
8963 2518
9034 2640
9140 2713
9253 2894
9398 2933
9662 3093
9698 3066
9805 3116
9914 3132
3256
3367
3592
3595
3656
3746
3758
3804
3886
3987
4004
4041
4149
4156
4406
4495
4530
4649
4710
4817
4926
4989
5135
5137
5287
5330
5334
5449
5500
5514
5552
5566
5716
5979
6079
6195
6278
6373
6465
6525
6719
6808
6849
6850
7165
7292
7421
7440
7539
7551

◎四等 金五拾錢 (全國通用商品切手) 參百本

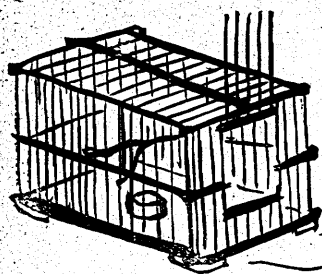
20 77
77 78
221 99
221 221
262 259
275 275
277 277
338 338
343 343
356 356
376 376
415 415
430 430
443 443
451 451
465 465
503 503
510 510
517 517
595 595
646 646
678 678
750 750
754 754
815 815
841 841
843 843
846 846
906 906
939 939
947 947
1061 1061
1106 1106
1116 1116
1124 1124
1144 1144
1165 1165
1188 1188
1294 1294
1313 1313
1373 1373
1409 1409
1422 1422
1448 1448
1468 1468
1873 1873
1949 1949
1947 1947
1778 1778
1787 1787
1792 1792
1794 1794
1944 1944
1947 1947
1949 1949
2040 2040
2048 2048
2080 2080
2092 2092
2116 2116
2127 2127
2154 2154
2179 2179
2259 2259
2274 2274
2283 2283
2312 2312

◎五等 金參拾錢 (全國通用商品切手) 五百本

7601 4771
7645 4803
7729 4813
7744 4826
7764 4841
7770 4866
7812 4933
7851 4970
7858 5009
7931 5091
8002 5092
8031 5122
8045 5200
8048 5320
8061 5518
8101 5521
8125 5525
8139 5529
8142 5588
8277 5628
8326 5635
8335 5677
8374 5678
8394 5696
8400 5719
8408 5720
8510 5769
8520 5814
8521 5831
8592 5844
8620 5962
8654 5993
8659 6020
8687 6058
8706 6075
8753 6117
8771 6118
8841 6137
8862 6155
8876 6166
8897 6226
8922 6231
8946 6295
8973 6307
8993 6315
9002 6333
9039 6345
9110 6389
9114 6404
9108 6483
9207 6507
9292 6540
9341 6629
9365 6634
9492 6661
9537 6680
9547 6723
9616 6831
9621 6861
9630 6938
9638 6962
9646 7194
9652 7221
9704 7224
9802 7244
9881 7251
9897 7258
9909 7270
9919 7335
9928 7350
9943 7363
9951 7372
9968 7453
9981 7454
9993 7464

◎等 外 以上の各等に當籤せざる配當券壹枚に對し金壹錢の商品切手を贈呈す

8990 7629
8994 7635
9021 7690
9022 7707
9050 7710
6068 7718
9085 7729
9086 7735
9118 7761
9122 7762
9125 7798
9126 7798
9132 7854
9160 7895
9212 7901
9223 7913
9258 7954
9278 7960
9288 7961
9299 7972
9320 8016
9382 8017
9394 8043
9395 8098
9405 8118
9411 8155
9413 8163
9425 8193
9441 8212
9448 8218
9518 8224
9522 8231
9524 8329
9566 8341
9575 8347
9595 8351
9609 8380
9634 8391
9684 8397
9699 8424
9719 8440
9726 8449
9729 8470
9743 8475
9751 8483
9774 8527
9783 8538
9806 8542
9826 8570
9906 8586
8603 7134
8644 7141
8662 7142
8676 7181
8684 7187
8701 7252
8739 7261
8759 7272
8767 7294
8769 7314
8780 7329
8788 7365
8804 7386
8807 7401
8816 7410
8851 7477
8857 7496
8859 7503
8863 7528
8874 7537
8875 7541
8919 7559
8982 7569
8984 7577
8985 7584



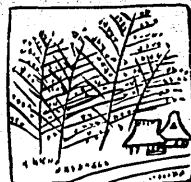
東洋
天路橋七

一式

髪飾品
時給物

并に

婦人
小写もの
化粧箱



髪を洗ふにも、身置を洗ふにも必ず
タレモスク洗髮料
髪のためにも、皮膚のためにも必ず

日本一薄利多賣



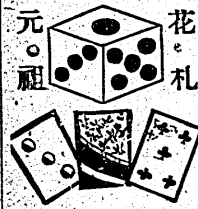
日本電氣商會
電話東京一四七六
電話東京一四七六
電話東京一四七六



日本一品質本位



料髮毛
京東製并武油香らば



花札
花かるた。トランプ。めくり
花札遊び仕込箱(道具製造)
道具一式
東京市人形町通住吉町上方屋片岡
電車停留場前
電話花一九一六番東京六〇六七番

何時でも若々しい
お姿で居られます

さへお用ひになれば
お顔は何時でも艶々
手先や肌は玉のやうに
思ふ儘のお化粧できて

EMERALD
エメラルド化粧水
美顔術實驗有効!!

然し御安心下さい

どなたに伺つても
顔が荒れてこまる
手先がガサくする
白粉が附らない
色艶が悪くなる
色艶が美しくなる
色艶が美しくなる

鱈石ダクラ



製品本位のラクダ石鹸なり
本舖 東京本町三 井上太兵衛

完全なる品質と優秀なる香気と
相和して使ひ心地よく経済的として
一般の家庭に愛用せらるゝは

候甲へ揃取々種物節期

屋問物間小萬

番六三九二一花浪話電

店支本森町山橋京東

○發賣期日 大正元年十二月一日より

○景品

壹等	金五圓券	貳拾	本
貳等	金參圓券	參拾	本
參等	金貳圓券	四拾	本
四等	金壹圓券	六拾	本
五等	金五拾錢券	貳百五拾	本
六等	金參拾錢券	六百	本

○發賣捆數及方法

ミヤコ石 十五打入 貳百捆

タリヤ石 十五打入 貳百捆

鳳凰ムスク石 大形二十四打入 貳百捆
小形二十四打入 貳百捆
大形十二打入 貳百捆
小形十二打入 貳百捆

○抽籤期日 大正二年五月二十五日東京市日本橋區山町三丁目三番地
○當籤發表 大正二年六月一日發行東京小間物化粧品商會
○景品引換期間 大正二年六月一日より同月三十一日迄期限後は無効のものとする

柳下藤五郎商店

電話花三〇番一六〇番
電話東京四九八番

巡同還債二口生

地方出張社員と初編紙上へ御披露に及んで、とす悪い新橋停車場を後にしたは春明け早々の二日午後三時五十分車中詰るべき珍事と疑問として考ふる者もなく天下泰半至つて平凡の内に國府津を去る前後に運送せる機關車の難道なる物凄く軋る車の音に幾度か砂路を破られ、東天稍々自ひ頭赤煙瓦の停車場大阪驛に着くクララ廣告燈は眼く我れくの目までも引き付んとして美しき光を幾度かか變色するのであつた、斯くて神戸、岡山、廣島は途立寄るべく約し宮島驛に来る、處も宜し通るかに見ゆる廣島の風景、胸はそぞろ下車せよと迫まるの想ひ押へて午後九時頃目的地たる下の關市に着けり、構外に出れば、待ち他ぐんだ旅館の客引く番頭を後目に掛けた生の物知り顔は彼等をして思はず出しかけた名刺を返戻したは田舎物と見て取つたのであらう。

客引きも見放なしたか放なされたか御宿さがしも気が利かれば、まよと飛び込む旅館、御粗末な、顔の割には丁寧に案内されたは一寸小奇麗な二番と札の掛つた一室、やがて例の女中御湯へと云ふ聲に應じて蒸ふつた顔を一洗せんと湯殿へ入れば、待つて聞くと見た事なき五右衛門風呂、あやうく蒸さるゝ處を教へられ、蓋に乗つた儘に沈んだ時の氣持の悪さは生れて以來であつた。明ければ四日愈々今日より同業者訪問すべく車を命じ走り遂に同業者の軒をそれと見れば飛び込み出候の趣意を述べ土地の情態を聞くに其多くは斯く云へり氣遣ひたる歳末も割合に好成绩を以て終る本年とて買行好く前途有望なりと他店を訪へば此處は引替へて不振を鳴らすは何か一の原因あらんと伺へ巡商状を見て某店に到れば主人、快く生を迎へて其原因起業銀行の破産にあるならんと

日、同業者は爲めに非常の失敗を招ききたりとか、是等の影響に依りて氣は沈み發展を圖らんとしたる店舗も萬事手控へ餘念なく流行品を準備せる他店に顧客は吸収さる有様なりと聞いて多忙の身なれば長居は無用と門司市に渡り同業者の如何を尋ねれば同地は同業者増加と共に盛衰の必要を生じ河村中村兩氏發起と成り組合の外に公正會なる會を組織したりと云へば同業者の發展したるは市の情況と云ひ疑ひ無く商品は下關市に同じく隔形に到るまで顧客は東京製と云へば嬉び安心して買ふの有様なれば東京と直接取引せざりし某店主は本紙に依り幾度か東京へ商品を送文したりと語り始め東京人の勝小と不便なる商ひ振りを話されたり商道に精通せざる生の飛脚的旅行に失念したる處あらんも兎も

大砲元結 其他無類品各種及水引類各種 元結問屋 市瀬伊八 振替東京一九三三

角聞きし儘を記さるに。一度の注文なら未だしも二度三度幾度か重なりての注文も總て東京商人は代金引替にて送荷なることなり尤も是れは信用如何に依りて同地同業者は是れに對し苦痛と云ふにはあらずれと返ひ注文の足は自然に遠くなり不便ならずして應揚なる變りに多少の缺點あれと氣安い商ひ振りの他地方より仕入るゝ由説き來り小生思ふに同地は一般の模様なり然れと信用ある店舗は東京小間物を一日も欠く能はず此不便を忍びて東京より直接取引しつゝある等は最も應すべく又東京同業者たるもの此期に於て益益東京小間物の眞價を發揚し信用を失墜せしめざるやう勉めたるものと深く感じ東京製品の歡迎せらるゝを嬉びたり、同市を去りて小倉市に到

若し高尾尾旅館に投宿此家は同業者平尾小林伊藤氏等の定宿なりとか女中か徳さんの話しは一夜宿りて成程親切なる旅館と思つた、兎もあれ同業者訪問を目的とする生は、翌朝車を飛ばし松田商店を訪うて快活なる主人と語り鐘を響けて若松町へ渡り各地巡回中津に到り意外なる人氣銷沈は農作の不良の結果なりと聞き歸途程近き那馬溪の奇勝を探らんとせしも既に東京にありて其壯快なる絶景を坐して知れば温泉地として名高き別府に急ぐ途中同業者を訪ふ可きガタ馬車を驅りやがて着いたる高田町、軒先に本年よりは儉約と申し合せの木札貼りあるに一笑し同業者訪うて宇佐神宮の參詣を勧められ馬車一臺買切りの氣は樂々として神宮參拜九拜、旅行中幸あれかしと祈り心急ぐ別府に着いた。

濃厚 厚濃 液粧化 ルベラ 表發籤當品景賣特念紀賣發 深甚なる各位の御同情を辱うする濃厚化粧液ラベル發賣を紀念して特賣候景品附荷物意想外の好況を以て締切候に就き之れが抽籤會の儀本月十四日東京小間物化粧品御商同業組合事務所於所定の特約店並に商報社員御立會の下に嚴正執行致し候結果下記に如く當籤確定仕候御照會の上景品引換方至急御請求相成度此段御報告申上候 此の機會を利用シラベル御引立の深厚なる御好意を感謝し一層の御援助御擴賣方悃願仕候 大正二年一月十九日 東京 銀座 座 つやふきん本舗 佐々木商店

新年のお慰み 若し福引に之が中つたら 『健康』と『幸福』を 引き當てたとして 發賣元 東京 銀座 小倉宮次郎

椿油 本島産 肥前産 壹岐産 肥後産 薩摩産 其他各種 右の外油類各種販賣仕居候間多少に不拘何卒御用命仰付られ度奉願上候 蠟油商 松澤孫八商店 電話長本局 百五十四番 振替口座東京四六五五番

Table with columns for lottery numbers and prizes. Includes sections for '一 梱券' (1 ticket), '五 梱券' (5 tickets), and '右残り番號全部' (all remaining numbers). Prizes listed include gold and silver amounts.

製煉酸肪脂式新最國逸獨

鯨石番五十七百花のケーケ

候仕賣發々愈テシ熟機

東京市日本橋區馬喰町四丁目
金アーク香水輸入元
内外石鹼御商

龜岡龜王堂

電話長浪三六〇二
振替東京三六五七

有名化粧品取合口擴張紀念品當籤報告

謹啓時下盛衰の初り各位益々御座
奉賀上候者弊店業務擴張の爲め
天取の特等品を以て發賣仕候名
品取合口各位の厚なる御情
に依り直に全部買切と相成候
御禮申上候是れ本月拾日東京
御禮申上候是れ本月拾日東京
左記諸氏御立會の通り當選相
行の結請氏御立會の通り當選相
段謹告候也

壹口券

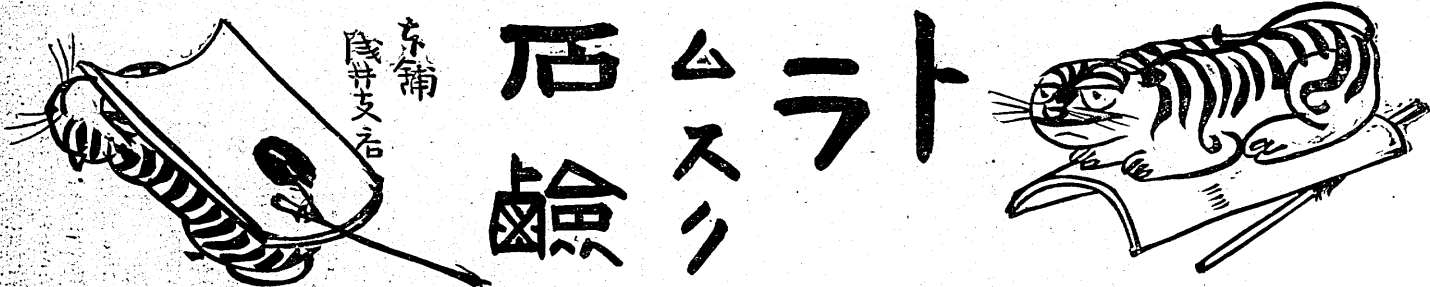
壹等五圓(切手) 壹本	貳等參圓(同) 壹本	參等貳圓(同) 拾本	肆等壹圓(同) 貳拾本	伍等五拾錢(同) 七拾本	陸等拾五錢(同) 百九拾貳本
右残り番號全部	拾口券	壹等拾圓(切手) 壹本	貳等五圓(同) 壹本	參等貳圓(同) 拾本	肆等壹圓(同) 拾本
等外五拾錢(同) 拾參本	右残り番號全部	拾口券	壹等拾圓(切手) 壹本	貳等五圓(同) 壹本	參等貳圓(同) 拾本

以上
景品引換来る五月二十日限り
以後一切無効の事

東京市日本橋區馬喰町十二日十五番地
日の出屋號

井上鐵五郎

電話長浪二五二五番
振替東京二二九七九



大學化粧品品の粧は

高尚に婉麗なるを以て

上流界に賞揚を擅まにし

瀟洒に優美なるを以て

花柳界に愛用を専らにす

大學化粧品品の粧ひあつて

始めて美容の尊さを知る

大學クリーム

大學化粧水の

必要なる

時季は來

れり!



信用を博する道は

確實に精良品を提供し

愛好續用して變る事なく

上流に花柳界に評判の

客足を引くに足るを要す

店頭に大學化粧品あつて

始めて信用を博し得べし

美術柱掛木看板進呈
一般に限り御注文金額壹圓貳拾圓以上の分
に對し看板一枚進呈す
但し送料は御店持の事
特に看板御入用の方は實費
金壹圓參拾錢にてお預りす



品質本位

割引表御入用の
方は無料にて進
呈す

加藤式
回轉式電池製造元
東京市藏前須賀町十八番地

博信堂電気商會

府下荏原郡大井町立會
同製造工場

今!!! スゲ電報!!!

電話手紙何でもすぐ注文せられよ
頗る好評にして……男女間に愛用せらる

白味劑
美顏料
色を白くキメを細かにし
アレを防ぎヒビ、シモヤケによく
白粉のノリ、ノビをよくし
ニキビ、ソバカス、吹出物に効あり
常用すれば美顏となりませす

初荷御注文確定以上の多大の處へ當春に至
り追加御注文被下是が爲め出荷順次延引仕
り候段御詫申上候、最早何程多大の御注文
にても應し可申續々御注文被下度願上候

感謝

特約店 前二柳下 堀越 二一八堂

本舖 東京市日本橋區馬喰町 堀越 二一八堂

購讀料領收

Table listing names and amounts for subscription fees, including names like 金壹圓, 金拾圓, 金貳圓, etc.



白毛

Text describing the 'White Hair' product, mentioning its benefits and availability at various locations.

Table listing names and amounts for various items or services, including names like 金壹圓, 金拾圓, etc.

懸賞意匠廣告當選報告 (Prize-winning advertisement report) listing names and amounts of prizes.

Advertisement for 'Hatsuba' (花中田) featuring a coupon exchange system. Includes text like '景品引換券' and '花中田'.

Advertisement for 'Hatsuba' (HATSUBAI) featuring a trademark logo and text about product quality and trademarks.

高香等油 **手洗油** **煉香油**

社會の進歩
につれて常に
改善を怠り
改良の香油

赤い毛 ちり毛
ぬけ毛 ふけ等に
特効あり

御愛顧
あらん事を
乞ふ益々

東京日本橋區本町二ノ十一
高橋初次郎
電話 三三九〇
同區本町四二二三番



電話 花浪 一五八
振替 東京 五五二

手拭巻
封筒
式紙間小
屋問

東京日本橋區本町二ノ十一
電話 三三九〇
同區本町四二二三番

社會資合谷平

小金融機關

東國上海 渡邊茂七支店

○金額○振出地○支拂月日○支拂場所○振出人○受取人○裏書人○申込人○住所○氏名

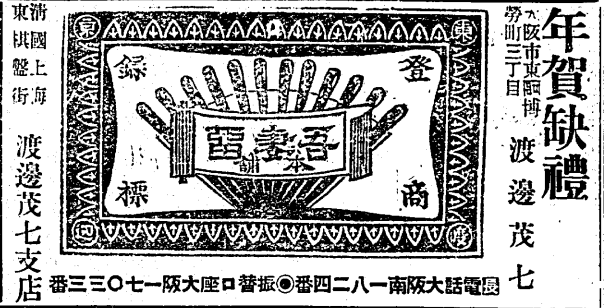
電話 三三九〇
同區本町四二二三番

年賀缺禮

東京日本橋區本町二ノ十一
電話 三三九〇
同區本町四二二三番

渡邊茂七

電話 三三〇七 大阪大塚口 振替 〇番四二八 大阪大塚口 電話 〇番三三〇七



純良純白に精製したる

ヘリカン 浮石鹼

BELIKAN SOAP

Seawater Soap

水品白粉 發賣元
東京日本橋區通町

大和屋商店
電話 花浪 一八〇七
振替 東京 二一〇四

花も實も共に得らる、

クラブ石鹼

東京日本橋區本町二ノ十一
電話 三三九〇
同區本町四二二三番

東京日本橋區本町二ノ十一
電話 三三九〇
同區本町四二二三番

東京日本橋區本町二ノ十一
電話 三三九〇
同區本町四二二三番

東京日本橋區本町二ノ十一
電話 三三九〇
同區本町四二二三番

謹告

日本リーパーラザリス株式会社製造

純白アーク浮石鹼の義

從來弊店に於て一手販賣致居候處今般協
議の上本年一月より左記山岸商店にて特
約販賣致候事に相成候間自今同店へ向け
御注文仰付被下度此段謹告仕候

東京市神田區柳原川岸
ライオン齒磨本舗 小林富次郎
東京市日本橋區馬喰町四丁目
アーク石鹼特約店 山岸三之助

敷島スルクス發賣十週年紀念品附發御披露

發賣額數及方法

一敷島スルクス石鹼 五百梱

但し壹梱の打數は左の通り

大形は 二十四打入
小形は 四十八打入
大形諸合は 大形十二打入
小形二十四打入

○景品

大形 半打に對し 郵便葉書 壹 枚
小形 壹打に對し 同 壹 枚
即ち壹梱に對し 同 四十八枚
右の外壹梱毎に

景品引換抽籤番號券 貳 枚

右抽籤番號券は抽籤の結果により左の景品を贈呈可仕候

第一等	金拾圓券商品切手壹枚宛	五〇口
第二等	金七圓券	拾口
第三等	金五圓券	拾口
第四等	金三圓券	拾口
第五等	金一圓券	四十口
第六等	金二十五錢券	九十口

抽籤期日 大正二年五月二十五日
東京市日本橋區馬喰町
東京小間物化粧品卸商
同業組合事務所にて於て
抽籤す

抽籤場所 大正二年六月一日發行
の東京小間物化粧品商
報にて發表す

當籤發表 大正二年六月一日より
同月三十日まで期限後
は無効とす

景品引換期限 大正二年六月一日より
同月三十日まで期限後
は無効とす

發賣期日 大正元年十二月十日より

東京市京橋區新富町七丁目六番地
相馬帝國社
電話 東京 八九七番
振替 口座 東京 三三六番



鶴の卵

石鹼



オシロイ香油

本舗 井上太兵衛

東京本石町三

香油なり

(一本金廿五錢)

おしどり

品質の確實なるを以て誇り
優良なる花精の香料及び
御使用後は艶々しき頭髮となり
すべて一般の貴婦人紳士間に
愛用賞賛せらるゝは
それこゝにあるこの



三河屋勇三郎
千歳元結本舗
東京市青山
電話三二五〇番
電信略号(515)



化粧品製造業 香花園
東京市本所區小泉町六番地
國技館前

懐中 良薬 消化

ぜみ主能
飲酒宿酔
食過宿飽
頭痛嘔吐
腹痛泄瀉
嘔吐胃痛
時効あり

香口 中 錠

◎真正花精ニテ謹製シタル

カシミア

香水 石鹼 井に



形全瓶大

米國紐育市コルゲート會社

人々の 経済に

アルボース

命の經濟

洗滌の如き徳用品は
決して他に求め
病の第一に傳染
の預防劑とし

とらりて第二化粧
入浴洗濯手洗用と
して他の石鹼を買
はずにする第三に
使ひかすの洗れ
水で下水其他の
臭氣止めとなる

芳原 香料

直輸入 井上太兵衛

東京日本橋區本町三丁目八十番地
電話本局一三三七番
電話支店二八四四番



賞花香水

萬小間物問屋



台山口喜太郎商店

電話浪花千六百九十九番
振替口座東京一九四四〇番

謹迎新年
本年も不相變御引立
御用命の程願上候
コム櫛笄類製造販賣

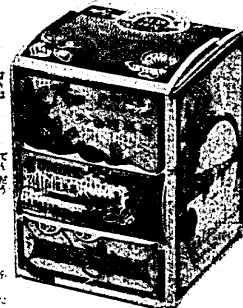
東京市日本橋區馬喰町二丁目

プレスト洗粉

大正新年に際し新提供

特許 壽美禮白粉封栓器壘詰發賣

●美麗なる紙函入(二十)



●御化粧に際し最も簡便に濃淡何れも自由にして半襟等を汚す憂もなく又汗の爲めに斑を生ずる事なく即座の御化粧に最も適す

●容器は最近考案なる封栓器壘詰なり

●用法は頗る簡便にして御化粧後以前の如く封栓すれば誤つて顛倒するも栓蓋の弛み或は脱出す等の事なく正味の洩るゝ憂もなし日常御使用と旅行用とを問はず携帶に取扱に最も理想的な容器なり

●體裁は美麗なる紙函個入なり四季の御贈答品として最も好適す



最新式便利なる封栓器壘詰



壽美禮白粉報酬券附發賣

壽美禮煉白粉 壽美禮水白粉
 壽美禮粉白粉 壽美禮打化粧
 壽美禮打白粉 壽美禮玉白粉
 壽美禮製二礫石礬 壽美禮洗粉

白粉煉製大壘 壹打二付貳枚
 白粉煉製小壘 壹打二付壹枚

謹啓改元第一の新年に際し各位益々御盛榮の段奉賀候陳者弊堂發賣の壽美禮白粉の儀逐年隆盛に相成販路の普及擴大するに立ち至り候は偏に各位の御盡力の賜に外ならずと深く感銘在罷候就ては今回聊か平素の御厚恩に報ゆる爲め益々品質に注意を加へ

大正二年一月二日より當分の内報酬券を添付致し發賣仕候間何卒間接直接を問はず多大の御註文被仰付度奉願上候 敬具

景品進呈の規定

壽美禮報酬券 拾枚 = 付 切手金 五錢也
 壽美禮報酬券 貳拾枚 = 付 同 金 十錢也
 壽美禮報酬券 參拾枚 = 付 同 金 十五錢也
 壽美禮報酬券 五拾枚 = 付 同 金 廿五錢也
 壽美禮報酬券 壹百枚 = 付 同 金 五十錢也
 壽美禮報酬券 貳百枚 = 付 同 金 一百錢也
 壽美禮報酬券 貳百五十枚 = 付 同 金 一百五十錢也

右之通り 但し(送料は御自費) (送料以下は御自費)

壽美禮堂

東京市東兩國元町(兩國橋際)
 電話本所四百一十一番

景品券及報酬券發賣中

人造貯金入
 一、西洋
 二、西洋

乙女えま

製造元東京清水
 發賣元東京田中花王堂

田中花王堂



松澤木サニ石

本品は明治二十五年創製して東京帝國医科大学模範薬局の用品として色白艶と出ずは本品の特色とす近來類似品多かりは仕入の際には洋名義に注意を乞ふ

定價 小箱 金三十五錢
 大箱 金六十五錢

發賣 東京 本所
 鋪 東京 本所
 吉常澤松

海には精銳の新造霧島艦生れ
 陸には理想的新製キリシマ石鹼生る

是非御愛用願上候
 消毒兼備 アリストル 石鹼
 品質 保險 附

東京市深川區船場
 政木 正太郎
 電話本所三五二五番
 振替口座三六八三番

高等美髮料 コリクコ

發賣元 特約店

第一 三〇七五號可
 東京市日本橋區横山町
 第二 二丁目十三番地
 東京市日本橋區馬場町
 第三 三丁目二十番地

最も進歩せる 學理的の
 くせ毛 直
 ちぢれ毛 直
 毫も毛髪を害する事なし

コクリコ商會
 横堀 浦吉

東京市東區深川區
 地番八丁目二町盤常區川深市京東

油香田代千

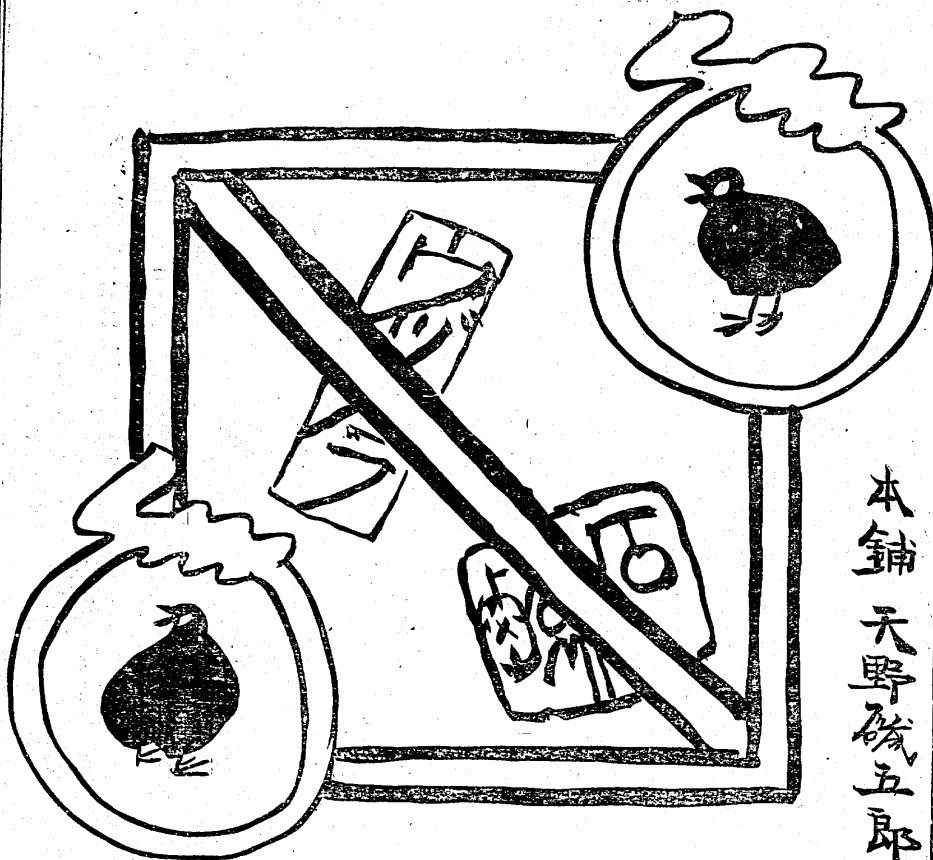
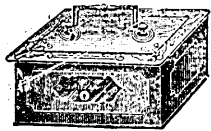
今が一番
髪の手入に注意する時、美髪を望む方へ
毛髮料の千代田を御勧め願ひます
スワン石 大塚 山岸三之助
輸入元



本鋪 天野源七郎

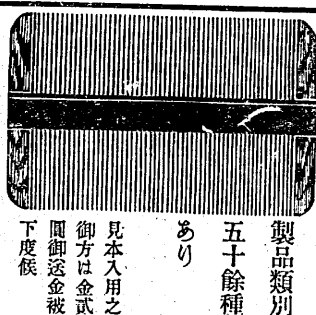
オイヤム多石 水井商店

注意 手借金庫
益々多ク発行
増ス今回製造部
大新設シ破格ノ
大減價ヲ以テ發
賣物見本入用ノ
方三號付アラバ
印三號付一個ラ
錢三號付一個ラ
式價表送ハ郵券
支那馬喰町三坪内廣喜堂
電話花二〇八八番
振替東京二六五九番



髪を洗ふにも、身體を洗ふにも必ず
タレモスク洗髮料
髪のためにも、皮膚のためにも必ず

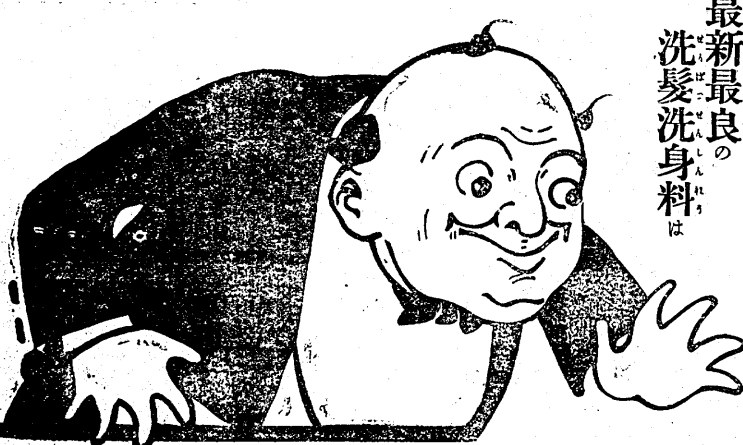
名古屋市中區末廣町一丁目
村上庄造商店
電話千二百三十三番
振替口座四百八十五番



第五回内閣勳章
勳章博覽會
名古屋會 二等賞銀牌受領
共進會 一等賞銀牌受領
東京勳業會 二等賞銀牌受領
博覽會

關東特約一手販賣
東京日本橋區橫山町一丁目
天野源七

玉つばき香油
三三三花露水
白ひやし
さし
まろ
まろ
橘油



誰もお好みな
お正月が來ました
タレモスク
髮洗料が出来ました
毛髮を美しく毛を損めずに
綺麗に汚れを落して
艶々しき黒い毛にする
タレモスク 洗髮料!
毛髮を洗つても、身體を洗つても
美しくはするが少しも損める事のない
最新最良の
洗髮洗身料は

仕入れて顧客に感心させ彼の
店へ行けば良品ばかり賣るよと
誰れも好く化粧品店には
タレモスク 洗髮料!
發賣元 東京日本實業商會
日本橋區馬喰町三
田中花王堂
日本橋區橫山町三
柳下商店
京橋區銀座一
佐々木商店
日本橋區橫山町一
近源商店

